

平成31年裾野市議会3月定例会  
予算決算委員会 厚生文教分科会（予算審査）

平成31年3月8日（金）、11日（月）、12日（火）

3月 8日（金）	教育部	鈴木図書館	・・・・・・・・	3
		生涯学習課	・・・・・・・・	20
		教育総務課	・・・・・・・・	42
		学校給食センター	・・・・	60
3月11日（月）	教育部	学校教育課	・・・・・・・・	71
	健康福祉部	健康推進課	・・・・・・・・	97
		介護保険課	・・・・・・・・	114
		国保年金課	・・・・・・・・	125
3月12日（火）	健康福祉部	保育課	・・・・・・・・	140
		子育て支援課	・・・・・・・・	157
		社会福祉課	・・・・・・・・	169
		障がい福祉課	・・・・・・・・	187
		自由討議	・・・・・・・・	193

裾野市議会予算決算委員会 厚生文教分科会 平成31年3月8日（金）

9時00分 開会

○委員長（杉山茂規） ただいまから本日の会議を開きます。

本日の日程はお手元に配布のとおりであります。

これより予算決算委員会に付託され、厚生文教分科会に割り振られました第1号議案 平成31年度裾野市一般会計予算のうちの関係部分、第2号議案 平成31年度裾野市国民健康保険特別会計予算、第3号議案 平成31年度裾野市後期高齢者医療事業特別会計予算、第4号議案 平成31年度裾野市介護保険特別会計予算の審査を行います。

審査の方法は、各課単位で行い、それぞれ当局の説明を求めてから、質疑に入りたいと思います。質疑の後意見を伺います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） ご異議ありませんので、そのようにいたします。

ここで、各委員に申し上げます。質疑は一問一答方式で、要点を明確に簡潔な質疑をお願いいたします。意見につきましても、要点を明確に簡潔をお願いいたします。

次に、分科会外委員の発言の許否についてお諮りいたします。質疑、意見について、分科会外委員からの発言の申し出があった場合には、委員長がその発言の許否を定めたいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） ご異議ありませんので、そのようにいたします。

なお、分科会外委員の発言は、本委員の発言終了後といたします。また、発言の際には録音の関係上、必ずマイクをご使用願います。

暫時休憩いたします。

9時01分 休憩

9時02分 再開

教育部

教育長、教育部長

鈴木図書館

- 委員長（杉山茂規） 説明は終わりました。質疑に入ります。  
質疑はありませんか。  
浅田委員。
- 委員（浅田基行） 説明があったかもしれませんが、確認という意味  
でお願いいたします。東西公民館の夜間管理委託ですけれども、昨年より3  
万ほど上がっているということで、これは実績ベースということでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 こちらにつきましては、シルバーの委託のほうですけれども、  
賃金等の見直しもありまして、シルバーからの見積もり等で委託料が上がっ  
ているという状況になっております。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） 同じくなのですけれども、東西公民館の受け付け管理委  
託というところも同じでしょうか。実績ベースでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 こちらも夜間委託と同様に、賃金等の見直しによる上昇とい  
う形になっております。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） とりあえず以上で。済みません。
- 委員長（杉山茂規） ほかにありますでしょうか。  
勝又委員。
- 委員（勝又 豊） お願いします。182ページ、ファーストブック事業と、あ  
とセカンドブック事業とありますけれども、この辺のちょっと説明をお願い  
します。
- 委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 ファーストブック事業ですけれども、こちらにつきましては  
生後6カ月の子どもさんにこちらのほうからお葉書でご連絡を差し上げて、  
絵本を2冊プレゼントするという形の事業となっております。それと、セカ  
ンドブックですけれども、こちらにつきましては県費補助で平成29年度から  
10月ですか、こちらのほうから実施しております。こちらは、2歳児に対し  
て絵本のほうを5冊用意いたしまして、こちらのほうからお好きなものを1  
冊選んでいただき、プレゼントをするという事業になっておりまして、就学  
時まで切れ目ないような形でということで取り組んでいる事業になります。
- 委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） もう一つ、親子読書推進子育て支援事業とありますけれども、その内容をちょっとお願いします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

9時42分 休憩

9時43分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 親子読書推進子育て支援事業ですけれども、月3回、親子ふれあいデーという形で図書館の2階の展示室を自由な形で、子どもさん連れの方に使っていただく。あるいは、昨年から取り組んできましたナイトライブラリーとか夜のお話会とか、こういうような形で子育て支援の部分と読書、こちらを推進するような形で事業のほうを実施しております。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） 今の2点というのは、子育て世代を対象とした内容かなと思うのですが、その辺の支援する市としての意図というか、こういう狙いがあるとか、そういったところはあるでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 図書館自体も子育て支援の中で直接かかわっているというところではないと思うのですが、居場所づくりとか、そういう形でバックアップしていくというような、そういうことを目指している部分もあります。あとは、基本的には子どもから読書に親しむというところの大切さもあるものですから、そちらの推進も兼ねて事業のほうに取り組んでいるところでございます。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） 図書の購入に対しての181ページ、購入図書電算化対応委託とありますけれども、これはどういった内容なのでしょう。

○委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 こちらは、購入した図書にマークとあって、図書館システムの中で取り組むマーク代、こちらの部分と、あとは図書館のバーコード、装備品という形、この2つの形のものの委託費となっております。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） そうすると、今回購入する購入費900万円、この購入する本に対して使われるという考えでよろしいでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 1点は、900万円の新規購入の部分に対しての装備とマーク代

ということになっています。

- 委員長（杉山茂規） 勝又委員。
- 委員（勝又 豊） そうすると、今までの貯蔵している本ということは、もう全てそのような対応になっているという考えでよろしいでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 そのとおりでございます。
- 委員長（杉山茂規） 勝又委員。
- 委員（勝又 豊） 毎年本は購入されていくかと思うのですが、貯蔵される本というのはだんだん増えていって、保管というか、その辺はどうしているのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 除籍という形で基準のほうを設けているのですが、ある程度古くなった本とか、そういうものに関しては職員の中で判断して、除籍という形で廃棄の部分もあります。
- 委員長（杉山茂規） 勝又委員。
- 委員（勝又 豊） 廃棄ということは、お金をかけて処分してもらおうというようなことで、ほかの小学校とか中学校に差し上げたりとか、市民の方に差し上げたりとか、そういうことはしていないのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 費用のほうはかかっておりません、除籍に関して、廃棄に関しては。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

9時48分 休憩

9時48分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開します。  
鈴木図書館副参事。
- 鈴木図書館副参事 今のところ除籍をしている資料が、内容的に10年前のとか15年前とか古いものになっているので、学校等への利用は特にしていません。古紙として処分をしております。
- 委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。  
土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 176ページ、公民館管理費の講座の講師料121万2,000円ですか、これは何講座で、トータルで何回の講師料になるのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 通年講座としては14講座、あとは特別講座として4講座、こ

ちらに対する講師料という形になっております。

- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） その講座を受講する際の受講料60万円がその他の財源の中に入っていますということですがけれども、この60万円の受講料の内訳は、先ほどの講座、これは新年度ですけれども、の中で、今までの経過からすると、特定の講座に非常に人気があるというようなことはあるのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 ここ何年かは、講座自体が余り変わっていないという部分もあるのですがけれども、通年講座の部分に関しましては定員に対してほぼ70%か80%の募集がありまして、受講はあるよという形です。あと、リピート率としては高い講座もあるということで確認しております。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 4講座が特別講座、通年でないというものを今度設定するということですがけれども、4つの講座の内容というのはどのようなものをされる予定ですか。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

9時51分 休憩

9時52分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開します。  
鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 昨年度から取り組みました裾野市の歴史探訪講座、あとは夏休みの子ども科学遊び講座、あとは子どもたち夏休みの将棋教室、こんなような形で単発での講座を今現段階では予定しております。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 31年度は今のような特別講座ですがけれども、それは毎年そのときに合わせたようなものを特別にやられているということですか。
- 委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 対象を子どもに絞った部分では、夏休みの科学遊び講座等は毎年同様な時期で実施しております。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 別などところに行きます。181ページの図書館管理費の関係ですがけれども、文化センターは指定管理で行っている中に、要するに今ある図書室の部分も、鈴木図書館からは離して今やっているのですがけれども、その図書室の蔵書と鈴木図書館との関連をちょっとお話し願えますか。
- 委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。

- 鈴木図書館長 文化センターの蔵書に関しましては、今までもそうだったのですが、選書自体は本館のほうで全部実施しております。文化センターでリクエスト等があった場合にも、それは本館のほうに連絡していただいて、その中で選書も含めて対応しているという状況になっております。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 181ページが一番上段に賃金がありまして、先ほどの説明の中で3人のうち2人は富岡支所、須山支所の図書室の臨時さんということですが、それぞれの支所の図書は、やっぱり鈴木図書館との入れかえのようなものがあるのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 定期的に入れかえのほうは実施しております。週に1度の勤務ですが、要望等あればそれに対応するような形で図書の入れかえは行っております。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） それぞれの室の図書室の利用状況というのはいかがなのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 29年度ですけれども……
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

9時55分 休憩

9時55分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開します。  
鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 まず、須山のコミセンのほうですけれども、年間で29年実績では約600冊ぐらい、貸し出し人数は260人ぐらいです。富岡のほうですけれども、こちらは300冊、対象は150人ぐらいの貸し出し冊数となっております。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 182ページに図書購入費900万円がありますけれども、この900万円の内容について少しご説明ください。
- 委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 図書購入ですけれども、まずこの31年度が900万ですけれども、それを分野別に予算を振り分けます。一般書、児童書、ほかの分野という形で、あと文化センターの部分も含めてです。あと、リクエストに対応するためにその部分も含めて予算割をします。これに対して、各分野で担当がいますので、毎週新刊の案内が来ますので、こちらから選書して購入して

いくという形で対応しております。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 分野別の担当者がいらっしゃるということで、そこで図書を選定するのですけれども、それに対して別に知識のある人がアドバイスするような、そういうようなのはあるのでしょうか。暫時休憩をお願いします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

9時57分 休憩

9時58分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 2カ月に1遍ぐらいのペースですけれども、各担当と館長、これによる選書会議を開催いたしまして、本の購入の方針等をその都度決めているというところもあります。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 図書館事業費の中にふじのくに地域少子化突破戦略応援事業というのが入っている。歳出で69万2,000円が組まれているということですが、その財源として県のほうから34万6,000円が入ると、2分の1が入るのかなと思いますけれども、この事業の内容はどんなことなのか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

9時59分 休憩

9時59分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 29年度からの事業になるのですけれども、基本的には子育て支援ということですが、図書館としては子育てライブラリーということで、本を核として子育てをする取り組みということで、1つはセカンドブック事業がこれに当たります。あとは、子育ての関連ブックトレードということで、絵本の交換とか、このときにあわせて子育て講座ということで、講師のほうを招いて実際子育てをしているお母さんたちの悩み等々も聞きつつ、本の読み聞かせをやったりとか、そういうストレス解消ではないですけれども、そういう場所を提供していると。あとは、昼間図書館に来られない方、いわゆるお父さんなんかもそうだと思うのですけれども、そういう方にぜひ図書館のほうを利用させていただきたいということでナイトライブラリー

とか夜のお話会、こんな事業を実施しているところでございます。

- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 内容を聞くと非常にいいなと思いますけれども、これはいわゆる親御さんにはどんな形で周知されているのですか。
- 委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 セカンドブック事業につきましては、対象者にダイレクトメールという形でお知らせする。あとは、ほかの事業につきましては、ほかの事業と同じように広報、あとはホームページ等々を利用してお知らせのほうをしているということです。
- 委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょう。  
三富委員。
- 委員（三富美代子） 同じく182ページの18節のところの図書購入費に関してです。  
先ほどの質疑の中で2カ月に1回ペースの選書をされるというお話を伺いましたが、そうしますとこの900万円の購入費用は、1年間を通して段階を経て執行していくといたしますか、費用を使っていくというようなことの進め方ですか。
- 委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 そのとおりでございます。
- 委員長（杉山茂規） 三富委員。
- 委員（三富美代子） 30年度の当初予算の中では、特に小学生の読書に力を入れたい旨のお話がありまして、たしか50万円ほど増額をされたというお話を伺ったのですけれども、今回減額をされておりますが、その辺の取り組みは何か変化があるのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 事業自体は継続して実施していくという形になっております。今年度予算、そこの部分で学級文庫パックという事業を始めたのですけれども、それに対しての図書の購入はある程度そろえて購入したというところでは、財政との話の中で購入費は31年は900万という形になっております。
- 委員長（杉山茂規） 三富委員。
- 委員（三富美代子） 今の件はわかりました。  
180ページです。1節の報酬のところなのですけれども、30年度と比べますと半分ぐらいの減額になっているということなので、会議の開催が4回から2回に減る予定であるということの捉え方でよろしいですか。
- 委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。

- 鈴木図書館長 そのとおりでございます。本年度は読書活動の推進計画策定年度になりまして、その分委員の方に集まっていたいただいて協議したということで、本年度は4回分、来年度は2回ということになっております。
- 委員長（杉山茂規） 三富委員。
- 委員（三富美代子） そうしますと、31年度予定をされている会議においてのテーマ、特にはテーマなんかは今のところ特に決まっていますか。
- 委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 31年度の事業計画についてとか、あとは当然利用者とか貸し出し冊数、そのような状況を踏まえて、今後どのような形で図書館の運営のほうを進めていったらいいとか、そういう部分での協議のほうをいただいたり、意見のほうをいただいたりということで、特別なテーマはあるという部分ではないのですけれども。
- 委員長（杉山茂規） 三富委員。
- 委員（三富美代子） 次です。181ページの需用費の中の一般消耗品費に入ると思うのですけれども、雑誌の購入もここからというお話で、31年度として雑誌スポンサー制度の取り組みをどのように考えていらっしゃいますか。
- 委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 雑誌スポンサー制度につきましては、現在4社5誌、これでご協力のほうをいただいているところでございます。引き続きご協力いただけるような形で、こちらのほうも進めていきたいと考えております。
- 委員長（杉山茂規） 三富委員。
- 委員（三富美代子） その効果が大きく効果が出るような形に対しての取り組みというのは何か、31年度考えていることはありますか。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時06分 休憩

10時07分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開します。  
鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 現在ご協力いただいている各社には、引き続きご協力のほうをお願いするということと、また新しく協力いただける方、こちらについてのちょっとアプローチというか、そういうのを続けていきたいなと思っております。
- 委員長（杉山茂規） 三富委員。
- 委員（三富美代子） では、よろしくお願ひいたします。  
あと、済みません。176ページです。19節の負補交の中の先ほどもご説明い

ただいたのですけれども、県公連ですか、公民館連絡会が開催したということで、新しく県内の市、町、生涯学習連絡会負担金というのが入っていますが、これ今まであったものとやることはほとんど変わらないということですか。

○委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 こちらにつきましては、もう少し今までよりもコンパクトではないですけれども、各市、町の担当者レベルでの現状の課題とか、どんな活動をしているのかというのを協議していこうというものであります。まだ細かいどういう形で進めていくかというのは、現在のところ決まっていない状況です。ただ、うちとしては公民館なのですけれども、最近では生涯学習という形で公民館の担当課自体が各市、町によっていろいろ変わっているものですから、それによってまた事業も違ったりするものですから、そういうところで少し広くそういう部分を協議していくというか、お互いに実施しているところを勉強していくという意味合いも含めてやっていこうではないかという部分で聞いております。

○委員長（杉山茂規） 三富委員。

○委員（三富美代子） そうしますと、県内の各市、町のいろんな情報交換なり、同じ課題に向かっている意見交換なりということが主流ということによろしいですか。

○委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 現在のところ、そういうような方向で進めていくということでもあります。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） 182ページになると思います。伺います。

子育て支援ということで、図書館でも随分力を入れていろいろなイベントや子育てライブラリーということでされているということなのですが、昨年伺ったときにほかの課との連携は特に検討はしていないということでしたが、31年度に向けて、これだけいろいろなことをして、PRなんかもしていく必要があると思うのですが、他課との連携ということは考えられましたでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時10分 休憩

10時10分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

鈴木図書館副参事。

○鈴木図書館副参事 子育てに関する事業の中で、全部ではないのですが、セカンドブックについてはできるだけ2歳になる早い段階から周知をしたいということで、健康推進課の1歳6カ月等の健康診査のときに事業のPRをしてもらうようにチラシの配布をお願いしているということで、少し取り組み始めています。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） セカンドブックについては取り組みを初めていらっしゃるということで、ほかの事業、子育て講座なんかも、それから絵本を交換する、そういう事業についても積極的に取り組みをしていただけるとありがたいと思うのですけれども、その辺はどうでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 鈴木図書館副参事。

○鈴木図書館副参事 子育て講座については、生涯学習課のほうに所属している講師の派遣を依頼したり、あとはNPOのメープルさん等に参加を呼びかける等の、そういうお願いをしたりということはしております。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） やはり子育ての全課を通していろいろPRをしていくとか、連携をしていくということは、これからますます必要になってくると思いますので、その辺はぜひ積極的に取り組みをお願いしたいと思います。

176ページで伺います。8節報償費のところだと思うのですが、去年の段階で公民館の利用が大幅に減少しているというお話がありました。その中で31年度に向けて講座などの取り組みがされていくと思うのですけれども、利用は30年度上がりましてでしょうか。

（「決算」の声あり）

○副委員長（岩井良枝） ごめんなさい。31年度の取り組みの中で、利用を拡大させていくという取り組みについては、何か考えていらっしゃいますか。

○委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 まず、定期講座を見直しが必要かなという部分が1点あります。

それと、ちょっと今やり始めたのですけれども、サークル等で活動している方、そのサークルの紹介なんかもやっていこうかなということで考えております。できるだけ多くの方が公民館を使っていただくような形をとってきたいなと思っております。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 委員の質疑を終わります。

次に、分科会外委員の質疑をお受けいたします。

佐野委員。

- 分科会外委員（佐野利安） 181ページ、委託料です。エレベーター保守点検委託106万7,000円ですか、これは入札で行うのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 随契での契約となります。
- 委員長（杉山茂規） 佐野委員。
- 分科会外委員（佐野利安） ~~これ間違っていたらあれなのですが、随契はたしか50万以下ではないかなと思うのですけれども、いかがでしょう。~~
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時15分 休憩

10時16分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開します。
- 分科会外委員（佐野利安） 取り消します。
- 委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。  
賀茂委員。
- 分科会外委員（賀茂博美） 図書館でいろんな事業をしていただいて、皆さんが行きやすいような環境になっているかなというふうに思っています。来年の開館時間についてなのですが、現在は木、金だけ夜7時までやっています。来年度、どういった開館時間を考えていらっしゃいますか。
- 委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 基本的な部分は、今のところ変更する予定のほうはないのですけれども、昨年、今年もそうなのですけれども、夏休み等、夜間延長の時間をもっと増やしたり、月曜の特別開館等を実施してきたところでございます。また、31年度につきましても、そういう形での実施、対応のほうは考えているところではございます。
- 委員長（杉山茂規） 賀茂委員。
- 分科会外委員（賀茂博美） ぜひお願いします。  
そして、文化センターのほうの図書室なのですが、これは指定管理に出すときに文化センター自体の指定管理とあわせて、図書室のほうは時間の延長ができるというようなお話がありましたが、現在は今の図書館と同じ開館時間だと思うのですが、31年度は特にそちらの文化センターのほうの図書室の開館時間についてはどのようにされていくのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 指定管理になって、今まで夜間の延長はなかったのですけれ

ども、木、金が本館と同様に延長という形で対応をすることができております。新しく時間の変更という部分につきましては、現段階では考えてはいないということです。

(「ちょっとだけ休憩してください」の声あり)

○委員長(杉山茂規) 暫時休憩します。

10時18分 休憩

10時18分 再開

○委員長(杉山茂規) 再開します。

ほかはいかがでしょうか。

増田委員。

○分科会外委員(増田祐二) 済みません。お願いします。教育長、教育部長の総括の説明の中で、ICTに関する話が幾つか出ておりますが、図書館として31年度予算の中でICTに対しての取り組み、ハード面かソフト面か、どちらでもいいのですけれども、予定があるかどうか、教えてください。

○委員長(杉山茂規) 暫時休憩します。

10時19分 休憩

10時19分 再開

○委員長(杉山茂規) 再開します。

教育部長。

○教育部長 図書館においては、具体的なICTに関して、ハードの部分で新たに何か設備を増やすとかという考えは、今のところ予定はございません。ただ、よく情報発信力について、まだまだ工夫が足りないよということ言われています。今図書館のホームページですとか市のホームページを通して、いろんな事業等を展開していますけれども、今若い方々、お母さん方というSNSですか、そういう部分での情報入手が多いものですから、図書館としてもそういう分野で情報発信ができればいいなということで、そういう部分を今検討を始めているところでございます。

○委員長(杉山茂規) 増田委員。

○分科会外委員(増田祐二) ぜひそのようにお願いしまして、ICTに関して子どもたちの教育に入ってくる部分が多くなってくると思いますので、それに対して図書館だけということではないのですけれども、教育に関すること全体で取り組むような形で対応していただければと思いますので、よろしくお願いします。

終わります。

- 委員長（杉山茂規） 二ノ宮委員。
- 分科会外委員（二ノ宮善明） 済みません。聞き漏らしていたら申しわけありません。182ページの視聴覚ライブラリー費のところでございます。63万2,000円の2事業がありますが、33万2,000円の図書館映画会等開催事業の回数はどのくらいを予定しておりますか。
- 委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 読書週間等にあわせて、5回か6回を予定しております。
- 委員長（杉山茂規） 二ノ宮委員。
- 分科会外委員（二ノ宮善明） そして、180ページの最下段です。非常勤職員の報酬のところ、先ほど三富委員からのご質問もございましたが、7万2,000円に2回になるというところで、図書館協議会委員さんはこの報酬の対象が6名で、あとの4名に学校の先生が入っているというのは変わらないですか。
- 委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 変更はありません。
- 委員長（杉山茂規） 二ノ宮委員。
- 分科会外委員（二ノ宮善明） そうしますと、図書館協議会の会合というのはいつ行われるのですか。
- 委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 年度当初5月、あとは2月ぐらいにもう一回という形で予定しています。
- 委員長（杉山茂規） 二ノ宮委員。
- 分科会外委員（二ノ宮善明） 済みません。私の聞き方が悪かったです。日中なさるとか、土、日ですとか、そういうようなことを聞きたいと思います。
- 委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 平日昼間の開催を予定しています。
- 委員長（杉山茂規） 二ノ宮委員。
- 分科会外委員（二ノ宮善明） 済みません。そうすると、4名の学校の先生方は参加できるのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 行事等の予定を見ながら開催日を決めていくということで、出席のほうはいただいているということです。
- 委員長（杉山茂規） 二ノ宮委員。
- 分科会外委員（二ノ宮善明） そうしますと、普通旅費がありますが、協議会委員さんが研修に行ったりとかというようなときに、学校の先生も行くというようなことがあるのはここを使います。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時23分 休憩

10時23分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 済みません。図書館協議会の委員としての出張のほうはありません。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○分科会外委員（土屋主久） 二、三お伺いさせていただきます。

図書の購入費が75万5,000円減って、900万ということなのですが、図書館を利用する方はすごくハイレベルというか、何と云っていいかわからないのですが、結構頻繁に利用する方と、あと全然利用しない方ははっきり二分されると思うのです。やっぱり利用する方にとっては、蔵書というのはすごく魅力的なものがあって、図書館側からするとかなえてあげたいというのはすごくあると思うのです。そういう中でちょっと1点お聞きしたいのが、多分やっていると思うのですが、他市との連携というか、お互いに持っている蔵書のやりとり、そんな形のものを実施しているかどうか、お伺いしたいのですが。

○委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 相互貸借という制度がありまして、本館でない場合、県内の市、町でどちらの館が保管していれば、そちらからの借りもできるという形での対応はしているところでございます。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○分科会外委員（土屋主久） その辺は、利用者の皆さんにPRというか、そういうのは行き届いていますでしょうか。利用されない皆さんに対してもです。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時25分 休憩

10時25分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 図書館のホームページのほうには、相互貸借制度のほうの掲載はしております。あとは、窓口、図書館内でのそういうポスターですとか、そういう形でのご案内のほうはしているということです。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○分科会外委員（土屋主久） 先ほど購入する本の決め方についてはよく理解させていただきました。その上で、~~多分購入するものは大きく分けて本と音楽のCDと、あと映像、DVDになるのかなと思うのですけれども、その辺の利用者が減っているところ、増えているとかとか、その辺はわかりますでしょうか。~~

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時26分 休憩

10時27分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

○分科会外委員（土屋主久） 今のは取り消します。 次の質問をさせていただきます。

先ほど須山と富岡の貸し出し冊数と、あと利用者というのがあったのですけれども、利用者の年代層はつかんでいないですね。例えば須山の場合、小学生が利用しているのか、青年なのかとか、その辺をちょっとわかったら教えてもらいたいのですけれども。

○委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 各学校でお迎えなんかの待ち時間で利用するという部分では、お子さんが一番多いかなと。あとは、地区の高齢者の方なんかが借りられるというところですが、やはり子どもの割合が多いという形になります。

○委員長（杉山茂規） 小林委員。

○分科会外委員（小林 俊） 済みません。さっき図書館の開館時間の話がありましたけれども、この時期中学生、高校生の利用は状況はどうなのでしょう。勉強に来るとかいうのは。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時28分 休憩

10時29分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 受験シーズンですから、ここ年が明けてからやっぱり利用率はかなりあると。あとは、夏休みなんかの稼働率は本当に多いというところがあります。

○委員長（杉山茂規） 小林委員。

○分科会外委員（小林 俊） スペース的には需要を満たしているのですか。

それとも、使えなくて困るような状況になっているのでしょうか。

- 委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 学習閲覧室に加えて、あと一般の開架席とか、2階にもある閲覧室等も使えるという形になっていますので、そちらのほうも使っていたきながら対応しているということで。
- 委員長（杉山茂規） 小林委員。
- 分科会外委員（小林 俊） 時間に関してもうちちょっと開いてほしいみたいな要求は出ていない、要請は出ていないですか。
- 委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 現在も実施しているのですけれども、延長開館につきましては夜の7時まで、ただしその後も使いたいという学生に対しては、3階の公民館の会議室のほうを開放いたしまして、夜8時半まで使っていただくということを実施しております。
- 委員長（杉山茂規） 小林委員。
- 分科会外委員（小林 俊） 利用状況はどうですか、それで。ちょっと面倒くさいですね、学生にしてみれば。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時30分 休憩

10時31分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開します。  
鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 7時以降、3階を使われる学生さんというのは、ニーズ的にはそんなに多くはないということです。
- 委員長（杉山茂規） 小林委員。
- 分科会外委員（小林 俊） そうすると、スペースを31年度に増やしていく必要は今のところない、充足しているというふうに捉えているのですか。
- 委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 今のところはそういうふうな形で考えております。
- 委員長（杉山茂規） 以上で分科会外委員の質疑を終わります。  
以上で第1号議案のうちの関係部分に関する質疑を終わります。  
これより第1号議案のうちの関係部分について意見を伺います。賛否に関する意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

- 委員長（杉山茂規） 分科会外委員の意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 以上で第1号議案のうちの関係部分に関する意見を終わります。

以上で鈴木図書館の質疑を終わります。

休憩いたします。

10時31分 休憩

10時39分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

## 生涯学習課

○委員長（杉山茂規） 説明は終わりました。質疑に入ります。

質疑はありませんか。

勝又委員。

○委員（勝又 豊） ちょっと場所があれなのですけれども、キャンプ場が廃止されるということで、建物の解体ということが今年度なされるということなのですけれども、その後の土地に関してどうされるかということをお聞きしたいのですけれども。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 土地に関しましては、須山振興会のほうとの契約が平成31年度末で終了となります。土地につきましては、須山振興会のほうに返還という形になります。

以上です。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） 市としてそれをまた有効活用していこうという考えはないでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 市としましてはございません。休憩よろしいですか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時01分 休憩

11時02分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

勝又委員。

○委員（勝又 豊） 文化センターのトイレ洋式化工事ということで行われるのですけれども、その間の運用の影響等、その辺はどうでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 その間は休館という形になります。指定管理者のほうでもそこは調整しております。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） 期間はいつからいつというのはもう決まっているのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 ちょっと休憩をお願いします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時03分 休憩

11時03分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開します。  
生涯学習課長。
- 生涯学習課長 11月中旬から2月までを予定しております。  
休憩でよろしいでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時03分 休憩

11時04分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開します。  
生涯学習課長。
- 生涯学習課長 訂正をさせていただいていいですか。先ほど、済みません、全館休館と言いましたが、訂正させてください。大ホールと多目的ホール、それぞれの工事期間で休館いたします。
- 委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。  
土屋委員。
- 委員（土屋秀明） まず、キャンプ場の関係ですけれども、年度既に併用しているのですけれども、解体工事ですけれども、解体工事をして返却するには、どういう状態で土地を返すということなのですか。
- 委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。
- 生涯学習課長 契約上は、更地で返すことになっております。休憩を。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時05分 休憩

11時06分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開します。  
土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 面積も面積なものですから、単なる更地だけにした場合に、あの地形的に傾斜地のところですから、今までキャンプ場等使っていない隣接の低いほうに土砂が流れる危険性もありますから、その辺は配慮して工事をしてください。  
174ページ、青少年教育事業ですけれども、この中に子ども会の補助金110万円ありますけれども、対象は単位子ども会は何団体なのでしょう。あるいは、もしわかれば全体で子どもの数が何人かというようなこと。
- 委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 恐れ入ります。今数字は持ち合わせておりません。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時07分 休憩

11時07分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

生涯学習課長。

○生涯学習課長 平成30年度の実績でいいますと、単位子ども会2件出しております。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時07分 休憩

11時10分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

生涯学習課長。

○生涯学習課長 数は私どものほうは控えております。ただ、今日は済みません。持ち合わせておりません。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 子ども会の組織化がだんだん今弱体化していて、会に入っていない子どもも多くなっているということですが、状況はどのように捉えていますか。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 済みません。休憩でよろしいですか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時10分 休憩

11時11分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

生涯学習課長。

○生涯学習課長 子ども会の組織率が低くなっているというところは、私どもも承知しております。そこを今のところ我々が予算をつぎ込んでいる事業としましては、この補助金というところなのですが、ちょっと長くなってしまうそうです。ちょっと1回休憩。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時12分 休憩

11時12分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開します。  
生涯学習課長。
- 生涯学習課長 組織率は低くなっております。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 同じところの非常勤職員の報酬、青少年教育問題協議会の委員さんへの報酬ということですが、この協議会の中ではこの事業の捉え方、要するにどのような市は活動事業をしていくべきだというような、何かこう委員さんから出ていないのでしょうか。委員さんというか、委員会から。
- 委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。
- 生涯学習課長 こちら今年、平成30年度、1回今開き終わっているのですが、こちら裾野市に誇りを持てる子どもたちを育てていこうというふうなテーマで話をしてもらっております。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） この教育事業費という事業ですが、この予算の中身を見ると、基本的に市が補助金出していることで、市そのものはどのような事業を行って、どういう事業効果を得ようかというところがちょっと不明に見えるのです。ですから、これはこの辺でいいのですけれども、もっと違う事業内容にしてほしいと思います。  
次に行きます。175ページですが、婦人会の関係があります。ちょっと休憩。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時14分 休憩

11時14分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開します。  
土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 婦人会の補助金100万円ありますけれども、市の各種事業にかなりの部分で参画、応援をされているのですけれども、今の婦人会の数が少なくなっている、あるいは高齢化ということで、これから先のことが非常に心配をされていますけれども、市そのものは今の状況をどういうふうにお考えなのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。
- 生涯学習課長 ちょっと休憩を。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時15分 休憩

11時15分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開します。  
生涯学習課長。
- 生涯学習課長 補助金以外にも私ども婦人会さんのほうと連携しまして、常にサポートしながら事業を進めていっていただけるような形をとっていきたいと思っています。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 177ページの文化財保護費の委託料で2万円、須山浅間神社の境内管理清掃委託というのが2万円ありますけれども、これは委託は内容として何回、あるいはどこに委託をするのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。
- 生涯学習課長 休憩よろしいですか。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時16分 休憩

11時16分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開します。  
生涯学習課長。
- 生涯学習課長 年間一括で委託しておりますので、回数までは恐れ入ります、把握しておりません。委託先は浅間神社になります。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） その浅間神社なのですけれども、世界遺産の構成資産になることによって、非常に見えられる人が多くなって、トイレの使用で水道料がすごくて、その水道料を何とか補助してくれないかということがあるのですけれども、いかがでしょうか。補助金を補助できないでしょうかということですから、できないならできないで。
- 委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。
- 生涯学習課長 こちらの委託料には、その部分は想定しておりません。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 委託内容や清掃のことはわかっていますから、水道の補助金は予算に入っていないのはわかっていますから、その補助金が予算化できないのでしょうかということですから、できませんならできませんとはつきり言ってください。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時18分 休憩

11時18分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

生涯学習課長。

○生涯学習課長 所管が産業振興課の部分になるかと思imasるので、そちらのほうにも打診をさせていただければと思います。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

浅田委員。

○委員（浅田基行） よろしくお願ひします。183ページ、社会体育振興費の中のちょっと簡単なところから確認させてください。

30年度県外、小さいお金ですけれども、3,000円という旅費を見積もっていたと思うのですが、これが廃止になったというのは、何か出張的な内容が変わったということでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時19分 休憩

11時19分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

生涯学習課長。

○生涯学習課長 こちら東海4県のスポーツ推進研究大会、これが今年度は県外で行われましたが、31年度につきましては県内で行われることによります。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） わかりました。

では、次のページで19節の負担金、補助金及び交付金のところで、昨年です。単年で割りますけれども、東日本の軟式野球大会の補助金があったと。今年度はないということでしたけれども、それは昨年度だけの大会ですか、これ。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 こちらは、今年度は静岡県でこちらの大会が開かれたことによりまして補助金のほうを支出しました。来年度は、こちらの大会が裾野市内で開かれることがないものですから、予定していないというところがございます。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） これはどういう持ち回り。持ち回りの大会ですね。どういふ。暫時休憩お願ひします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時20分 休憩

11時21分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

生涯学習課長。

○生涯学習課長 持ち回りの大会ではございません。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 誘致という大会ということで、ほかいろんな大会がある  
と思いますけれども、これから誘致するというような計画はございますか。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 県の野球協会さんが誘致されてきたものでございますので、  
市として誘致というところの考えは現在のところございません。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 暫時休憩をお願いします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時22分 休憩

11時22分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

浅田委員。

○委員（浅田基行） 市の協会と、恐らく県とあると思うのですけれども、そ  
の連携というのは協力なりとりながらというので、計画というのは進める予  
定ありますか。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 市として今のところは想定しておりません。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） わかりました。

では、済みません。その次、185ページの体育施設管理費の中の13節委託料  
でございます。スポーツ施設の指定管理委託でございますが、8,602万円と。  
昨年と比べると上がっているかと思えますけれども、その理由は何でしょう  
か。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 主に増税となった場合の消費税分を見込んでおります。

（「消費税」の声あり）

○生涯学習課長 消費税分の増税分が多いです。

- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） ここで聞けばいいのか、ちょっとわからないのですけれども、陸上競技場とかの今3種を持っているという話の中で、恐らく2年先ですか、更新時期というか、点検があるかと思うのです。その辺のところ、そろそろ何か実施計画が、何か計画というものが必要になってくるかなと思っているのですけれども、31年度の予算というのはこのところで組まれているのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時24分 休憩

11時24分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。  
生涯学習課長。
- 生涯学習課長 その件につきましては、今現在内部で調整中でございます。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） 予算は組まれていない。この当初予算には組まれていないということですね。
- 委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。
- 生涯学習課長 組まれておりません。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） もう一つ、微量ポリ塩化ビフェニル廃棄物収集運搬処理委託というところは、これは新しく委託業務になっていきますけれども、どのような内容でしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。
- 生涯学習課長 こちらは、平成27年、28年の体育館リニューアルの際に出てきたものでございます。休憩をお願いします。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時25分 休憩

11時26分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開します。  
生涯学習課長。
- 生涯学習課長 平成27年、28年の体育館リニューアル時に出てきたものを処理するものでございます。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） わかりました。

- 委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。  
三富委員。
- 委員（三富美代子） 184ページの19節負補交の中のスポーツ選手大会出場奨励金のことなのですけれども、これ30年度当初予算と同じなのですが、31年度、この額を増やすというようなご検討はされたでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。
- 生涯学習課長 していません。
- 委員長（杉山茂規） 三富委員。
- 委員（三富美代子） 30年度、大変中学生の方たちが全国大会に行かれてというようなこともありましたので、お聞きしたのですけれども、そういった対応は十分であるというお考えですか、この70万円の予算で。
- 委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。
- 生涯学習課長 30年度につきましては、何とか予算内でおさまりそうだといいところがございます。
- 委員長（杉山茂規） 三富委員。
- 委員（三富美代子） では、暫時休憩してください。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時28分 休憩

11時28分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開します。  
三富委員。
- 委員（三富美代子） この辺もやはり中学生の方たちが部活なり頑張っているという状況を踏まえて、今後に検討をお願いしたいと思います。  
173ページのほうでちょっと確認ですけれども、30年度当初予算に8節報償費があったのですけれども、これたしか社会教育施設運営委員会委員の報償費、こちらはどこに含まれたのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。
- 生涯学習課長 社会教育施設運営委員につきましては、生涯学習センターが指定管理に移管したことによりまして、社会教育施設運営委員会で担当している施設というのが富士山資料館のみになりました。なので、ここの委員会は廃止させていただいて、社会教育委員会でその部分も一緒にごらんいただく形になりました。
- 委員長（杉山茂規） 三富委員。
- 委員（三富美代子） 今の件はわかりました。  
その同じ173ページの12節の役務費の通信運搬費、これ30年度当初では通信

運搬費は入っていなかったというふうに記憶しているのですけれども、31年度はどういう内容ですか。

- 委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。
- 生涯学習課長 ちょっと休憩。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時30分 休憩

11時31分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開します。  
生涯学習課長。
- 生涯学習課長 こちら、同目で取りまとめさせていただいたことによって、こちらに計上されております。昨年度につきましては、生涯学習センター費のほうに含まれておりました電話料になります。
- 委員長（杉山茂規） 三富委員。
- 委員（三富美代子） 今の件はわかりました。

174ページの14節賃借料のところ、吹奏楽フェスティバル用のバストラック借り上げということなのですから、31年度予定されている開催地はどちらになるのですか。

- 委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。
- 生涯学習課長 裾野市民文化センターを予定しております。
- 委員長（杉山茂規） 三富委員。
- 委員（三富美代子） こちらも30年度当初予算になかったのですけれども、吹奏楽フェスティバルは毎年行われているものではなかったでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。
- 生涯学習課長 30年度は文化センター費のほうについておりました。こちらは、青少年教育事業費のほうにつけかえたものでございます。  
それから、毎年度行うかという部分につきましては、ライオンズさんから30年度から引き継がせていただきまして、今年度から裾野市のほうの主催で。ごめんなさい。ライオンズさんと共催で開催しているものでございます。

（「暫時休憩してください」の声あり）

- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時32分 休憩

11時32分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開します。  
三富委員。

○委員（三富美代子） 1点確認なのですけれども、次の175ページ、こちらの委託料の中の幼児をもつ母親学級の託児委託、こちらの30年度は報償費で、その前、29年度の当初はやはり同じ委託だったのですけれども、この年度ごとに計上する節が違うということに対してはいかがなのでしょう。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 毎年変更になっていて、大変申しわけございません。29年度から30年度に報償金に移った経緯につきましては、ちょっと休憩させていただきます。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時33分 休憩

11時34分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

生涯学習課長。

○生涯学習課長 今回委託料のほうに持ってくるのは託児の部分のみでございます。

○委員長（杉山茂規） 三富委員。

○委員（三富美代子） では、確認いたしますと、報償費の部分はこの上の174ページの8節報償費の中のこの金額に含まれているということによろしいですか。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 おっしゃるとおりでございます。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

勝又委員。

○委員（勝又 豊） ~~8ページ、市民水泳振興事業負担金の12万円、これはチケットの残りということなのですけれども、先ほどプールのほうが使用できない状態ということで、このチケットを払い戻すような形で市民にアピールするのか、その辺ちょっとお聞きしたいのですけれども。~~

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 1回休憩していただけますか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時36分 休憩

11時37分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

勝又委員。

○委員（勝又 豊） 先ほどの質疑は取り消します。

175ページの婦人会活動運営事業補助金と、その上に婦人会補助金と2つありますけれども、この辺の違いというか、これは婦人会には絡まない内容なのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 これ両方とも婦人会さんのほうに支出するものでございます。違いがわからないですね。だから、ちょっと休憩をよろしいでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時38分 休憩

11時40分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

生涯学習課長。

○生涯学習課長 下段から参ります。婦人活動推進事業補助金につきましては、婦人会さんの活動のうち奉仕活動、それから研修活動、地域活動のような地域に資するような活動の部分を切り分けた部分でございます。それ以外の婦人会さんの事業に対する部分が婦人会補助金100万円という形で切り分けてございます。

以上です。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） 174ページのわんぱく遊び塾補助金、これのちょっと説明をお願いします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時41分 休憩

11時42分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

生涯学習課長。

○生涯学習課長 わんぱく遊び塾につきましては、年間何度か子どもたちを集めまして、キャンプや、それからハイキング等の事業を実施しているものでございます。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） これは、対象は1事業というようなことですか。幾つかあるのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 対象は1事業でございます。

- 委員長（杉山茂規） 勝又委員。
- 委員（勝又 豊） そこに参加する年齢というのはわかるでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。
- 生涯学習課長 小学生を対象にしております。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 184ページの社会体育関係ですけれども、一番下段に市町対抗駅伝の交付金160万円ありますけれども、去年は裾野市のチームは8位に入って、市民の気持ちがかかなり活躍に感激したというか、これは昨年と同様の額ですか、交付金の額は。
- 委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。
- 生涯学習課長 同額でございます。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 増額しようという考え方はなかったですか。
- 委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。
- 生涯学習課長 ございません。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時43分 休憩

11時44分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。  
土屋委員。
- 委員（土屋秀明） オリンピックに対しては、産業部で市の中は、庁舎の中でやっているのは、それは承知しているのですけれども、いわゆるスポーツの祭典というオリンピックは昭和39年以来ですか、来て、市内をサイクリングコースになる話で、裾野市としては体育関係を所管しているところとして何かそういう機運の醸成を市民の機運醸成につながるような体育行事、あるいは補助だとか、そういうものというのは今回の予算の中に入っているのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。
- 生涯学習課長 私どものこの予算の中では入っておりません。休憩してよろしいですか。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時45分 休憩

11時45分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。

土屋委員。

○委員（土屋秀明） それは冒頭言いましたように、産業部でやっているのは承知しています。組織化もしているのですけれども、それで体育を所管している部署としてそれでいいのですかと。この中に何かそういうものが入っていないというのは、むしろオリンピックの自転車のレースとはまた別のもの盛り上げるような、何か企画をすべきではないですかと、そういうことです。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 庁内全体として進めるべきと私どもは考えておりますので、オリンピックに関しましてはオリンピックの部分の予算で持ったほうがわかりやすいかなとは思っております。私どものほうで何もしないというわけではございません。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） 185ページ、15です。工事請負費のところでは各体育施設維持補修工事というのがあるのですが、前年度は具体的な工事内容というのがもう出ていたのですけれども、この560万円についてはどこをというのはまだ全然ないということによろしいですか。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 昨年度につきましては、運動公園陸上競技場のトイレ改修というふうな大きな項目がついておりました。平成31年度につきましては、こちらがございませんので、全体として各体育施設の維持補修工事というふうな形でとらせていただいております。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） 175ページ、委託料のところでは、婦人学級を開催していくというようなお話があったのですが、これ新規だと思うのですけれども、内容についてちょっと聞かせてください。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 こちらは、女性の地位や知識の向上をテーマに、年間何回か講演会を開きたいなというふうなものでございます。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） 対象についてはどのように考えていらっしゃいますか。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 こちらは広く市民の皆様に対して受講生を募りたいというふうに考えております。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

- 副委員長（岩井良枝） 地位向上とかいろいろおっしゃっていましたがけれども、講演をやって、それを醸成させるという意図を持った講演会ということですか。
- 委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。
- 生涯学習課長 おっしゃるとおりでございます。
- 委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（杉山茂規） では、1点だけ。交代してもらっていいですか。
- 副委員長（岩井良枝） 交代します。  
杉山委員。
- 委員長（杉山茂規） 家庭教育学級補助金、175ページ、負補交ですけれども、こちらは次年度、本年度よりも減額ということであろうかと思えます。市の大きな流れの中で、生まれたときから結婚するときまでの一貫した子育て支援ということで、幼児保育とか幼児期も含めてやっているのですが、今回この次年度でその補助金が終わるといふような話を伺っておりますが、母親のネットワークづくりというものを今後どのように考えているのかということをお聞かせください。
- 副委員長（岩井良枝） 生涯学習課長。
- 生涯学習課長 こちらは、事業見直しのメニューに入っているものでございます。  
私どもとしましては、家庭教育学級をもうやめてくださいという話ではもちろんないです。もちろん続けてもらいたいです。ただ、補助金の支出としましては、今年度見直しをかけさせていただくものでございます。それで、私どものほうとしては、県費の補助が出ます家庭教育支援員という制度がございます。こちらをぜひ使っていただきたいなというふうに思っております。
- 副委員長（岩井良枝） 杉山委員。
- 委員長（杉山茂規） 家庭教育支援員ということで、その制度の普及というか、PR的なところというのは、現行やっている家庭教育学級のところにはしっかりと届くような形で考えているのでしょうか。
- 副委員長（岩井良枝） 生涯学習課長。
- 生涯学習課長 年度の終わりのときと、それから年度の初めのときに、現の委員さんと、それから新の委員さんたちに対して毎年説明会を開催しております。その席で家庭教育支援員の方に来ていただきまして、デモという形で1回講演会をやってもらいます。こんな形でできますよというふうなものをやりまして、ぜひ使ってくださいというふうな活動はさせていただいております。

- 副委員長（岩井良枝） 杉山委員。
- 委員長（杉山茂規） 県の制度メニューということで活用するということがわかりました。市として、生涯学習課として、そういったものに対してアプローチをしていくということのお考えはいかがでしょうか。
- 副委員長（岩井良枝） 生涯学習課長。
- 生涯学習課長 家庭教育支援員さんにつきましては、県のほうの補助がつかますが、市のほうももちろん市の持ち出しももちろんございます。金額の面だけではなくて、家庭教育支援員さんたちを使っていきたいというふうなところは市のほうももちろんすごくたくさんよく思っているところでございます。ちょっとそういう答えではないですね、きっと。では、暫時休憩を。
- 副委員長（岩井良枝） 暫時休憩で。

11時51分 休憩

11時54分 再開

- 副委員長（岩井良枝） 再開します。
- 生涯学習課長 母親の皆様の悩みの解消、あるいは子育てをどうしていかうかというものを共有してほしい場をつくりたいというふうに考えております。
- 副委員長（岩井良枝） 交代します。
- 委員長（杉山茂規） 岩井委員。
- 副委員長（岩井良枝） 済みません。先ほどの婦人学級委託なのですが、こちらはどこに委託をされますか。
- 委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。
- 生涯学習課長 委託先についてはこれからでございます。
- 委員長（杉山茂規） 岩井委員。
- 副委員長（岩井良枝） どのような団体になるのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。
- 生涯学習課長 1つの団体として婦人団体さんを想定はしております。
- 委員長（杉山茂規） 岩井委員。
- 副委員長（岩井良枝） 市内のということですか。
- 委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。
- 生涯学習課長 1つの団体としてはそうでございます。おっしゃるとおり、市内の団体を想定しております。
- 委員長（杉山茂規） 委員の質疑を終わります。  
分科会外委員の質疑をお受けいたします。  
中村委員。

○分科会外委員（中村純也） 行財政構造改革の中で、吹奏楽フェスティバルが計画変更となっているのですが、先ほどこれからも継続していきますというような発言もありましたけれども、何が変更になったのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時56分 休憩

11時56分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

生涯学習課長。

○生涯学習課長 変更となりましたのは、予算の市のほうの持ち出しの部分が、こちらご寄附いただいた部分を充当することになりましたので、その部分に変更となっております。

○委員長（杉山茂規） 中村委員。

○分科会外委員（中村純也） 歳入が変更になったというだけの話ですか。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 財源という意味で、おっしゃるとおりでございます。

○委員長（杉山茂規） 中村委員。

○分科会外委員（中村純也） 了解しました。もう一点だけ。ごめんなさい。

決算のときに、婦人会さんの負担軽減の依頼があって調整をしている最中ですよというような発言があったのですけれども、各部署に対して依頼をした結果、31年度はどういうふうになっているのでしょうか。負担軽減につながっていますか。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 今現在婦人会さんがお受けになっていらっしゃる委員のうち何件かは削減される予定でおります。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

小田委員。

○分科会外委員（小田圭介） 先ほどの杉山委員長の家庭教育学級の話とか、冒頭の土屋秀明委員の子ども会の話とか通ずるのですけれども、裾野市の社会教育行政をビジョンを持って主導していく担当部署はどこなのですか。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 生涯学習課になります。

○委員長（杉山茂規） 小田委員。

○分科会外委員（小田圭介） その生涯学習課に社会教育法のもと、法定で置かなければいけないとされている専門的教育職員、社会教育主事が置かれていると思いますけれども、間違いないですか。

- 委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。
- 生涯学習課長 置いております。
- 委員長（杉山茂規） 小田委員。
- 分科会外委員（小田圭介） その社会教育主事の役割というのは何なのでしょ  
うか。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時58分 休憩

12時00分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開します。  
生涯学習課長。
- 生涯学習課長 日々の業務の中、社会教育主事でもって勉強してきた内容は  
生かしてはおります。ただ、業務として社会教育主事はこれをやるという  
ところは定めておりません。
- 委員長（杉山茂規） 小田委員。
- 分科会外委員（小田圭介） それでは、社会教育委員の役割は何でしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。
- 生涯学習課長 ちょっと休憩をお願いします。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

12時01分 休憩

12時01分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。  
生涯学習課長。
- 生涯学習課長 こちらは、裾野市社会教育委員条例において、社会教育法第  
15条第1項の規定により置くことになっておりますので、そういった役割で  
ございます。

（「今答えになっています」の声あり）

- 生涯学習課長 社会教育法の中身につきましては、今現在持ち合わせており  
ませんが、そこに社会教育委員の役割が記されております。
- 委員長（杉山茂規） 小田委員。
- 分科会外委員（小田圭介） 十分です。その社会教育委員会を組織されてい  
て、当然ここも社会教育行政を指導していく立場にある。この組織から社会  
教育主事、専門的教育職員との連携の必要性について意見が上がってきてい  
ると思うのですが、これについて把握をされていますか。暫時休憩をお願い  
します。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

12時02分 休憩

12時03分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

生涯学習課長。

○生涯学習課長 詳細な報告は受けてはおりません。

○委員長（杉山茂規） 小田委員。

○分科会外委員（小田圭介） では、社会教育主事は社会教育委員会と連携がとれていますか。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 社会教育委員さんたちとの連携ということでございますね。それにつきましては、課としての業務の中での連携はとっているつもりでございます。

○委員長（杉山茂規） 小田委員。

○分科会外委員（小田圭介） ようやく31年度の話なのですけれども、社会教育委員会より社会教育主事さん、専門的教育職員さんに、要は社会教育委員会の会議に事務的な立場ではなく、社会教育行政を指導していく立場として参画をしてもらいたいという意見があるのですが、これについて31年度から取り組んでいくお考えはありますか。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 検討させてください。

○委員長（杉山茂規） 残り時間少ないもので、1人1個だけをお願いします。小林委員。

○分科会外委員（小林 俊） 184ページの社会体育振興費に係るかと思うのですが、子どもたちがいろんなスポーツをやっている。学校の部活とは別にクラブチームがありますね。そういうところには市としての支援はここから出ているのですか。どういうふうになっているのですか。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 スポーツ協会の補助金が中段に403万円というところがございます。スポーツ協会加盟の少年団体につきましては、ここからお金が流れております。

○委員長（杉山茂規） 小林委員。

○分科会外委員（小林 俊） 例えば中学生なんか、この競技をやりたいけれども、自分の区の中学校にはないようなことがありますね。そういうときにクラブチームというのは力を発揮するのだけれども、そういうものは教育委

員会だと社会教育課、そういうものに対する支援をしていこうと思ったら、誰が考える。さっきの話みたいになるけれども。

- 委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。
- 生涯学習課長 スポーツ協会さんのほうに加盟しているそれぞれの団体さんのほうでその面倒を見てくださっている部分はあるかと思うのですけれども、そういったところでスポーツ協会さんを通じて私どものほう、支援させていただいているつもりでございます。
- 委員長（杉山茂規） 小林委員。
- 分科会外委員（小林 俊） その意識が、生涯学習課が強く持っていてくれるのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。
- 生涯学習課長 持っております。
- 委員長（杉山茂規） ほかの方。  
岡本委員。
- 分科会外委員（岡本和枝） 生涯学習センターの委託費が出ていますけれども、31年度に向かっただけの予算編成の運営で、社会教育の充実という部分で指定管理者とのハードとかソフトの面における課題みたいなものというのはあったのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。
- 生涯学習課長 ちょっと休憩よろしいですか。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

12時07分 休憩

12時07分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。  
生涯学習課長。
- 生涯学習課長 特別新たな課題が出てきているというところではございません。協議はしております。
- 委員長（杉山茂規） 岡本委員。
- 分科会外委員（岡本和枝） 生涯学習課と指定管理者との協議というのは、どのような形で行われるのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。
- 生涯学習課長 システムといたしましては、月例報告、それから四半期報告、年次報告とございます。あとは、同じ建物の中にあるものですから、何かあるごとに常に連携はとっております。
- 委員長（杉山茂規） ほかは。

内藤委員。

- 分科会外委員（内藤法子）　お願いします。先ほど市民文化センターの洋式化の工事が1月にかかるのかという説明があったのですけれども、1月は成人式とか大きな行事がありますけれども、その行事とのかかわりはどのように考えていらっしゃるのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規）　暫時休憩します。

12時08分　休憩

12時08分　再開

- 委員長（杉山茂規）　再開いたします。  
生涯学習課係長。
- 生涯学習課係長　原則ホールの利用は貸し出ししないことになっていますが、利用の内容によってトイレの利用を伴わないようなことであれば、センター管理者と協議の上、貸し出しすることは可能です。1つ、成人式につきましては、どうしても大ホールでの開催になりますが、多目的ホールのトイレを案内するようなことで考えております。
- 委員長（杉山茂規）　内藤委員。
- 分科会外委員（内藤法子）　では、成人式のときの多目的ホールは、もう洋式化も終わっているということですか。
- 委員長（杉山茂規）　生涯学習課係長。
- 生涯学習課係長　多目的ホールは、先ほど申しましたように、2月からトイレ工事に入りますので、まだ工事は完成していません。
- 委員長（杉山茂規）　内藤委員。
- 分科会外委員（内藤法子）　成人式は振り袖を着るので、本当は早くしてほしかったのですけれども、これで終わります。  
1つだけちょっと確認したいのですけれども……
- 委員長（杉山茂規）　1人1個ということでお願いしておりますので。
- 分科会外委員（内藤法子）　予算書のちょっと確認だけいいですか。暫時休憩……
- 委員長（杉山茂規）　個別に聞くのはまずいですか。
- 分科会外委員（内藤法子）　184ページに市民水泳振興事業負担金というのが同じ項目が2つあるのです。これ表記間違っていないかだけちょっと。184ページ。
- 委員長（杉山茂規）　生涯学習課長。
- 生涯学習課長　債務負担行為のところでも申し上げた12万円の部分を切り分けてございます。

○委員長（杉山茂規） 分科会外委員の質疑を終わります。

以上で第1号議案のうちの関係部分に関する質疑を終わります。

これより第1号議案のうちの関係部分について意見伺います。賛否に関する意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 分科会外委員の意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 以上で第1号議案のうちの関係部分に関する意見を終わります。

以上で生涯学習課の質疑を終わります。

暫時休憩いたします。

12時10分 休憩

13時15分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

## 教育総務課

○委員長（杉山茂規） 説明は終わりました。質疑に入ります。

質疑はありませんか。

浅田委員。

○委員（浅田基行） よろしくお願ひします。歳出から行きます。152ページで、30年度当初予算と違うところから確認させてください。

152ページの2目の9節旅費です。普通旅費、県外の旅費というのが見直して、ほとんどの課が下がっているのですけれども、前年度当初予算から比べると上がっているのが確認できたのですが、何か理由はございますか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

13時32分 休憩

13時32分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

教育総務課長。

○教育総務課長 関東甲信越静の教育委員の大会が平成30年度は静岡県内で行われました。来年度は県外で行われるため、県外旅費が増えております。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 次、153ページの12節の役務費の手数料が新たに発生しているかと思うのですけれども、何の手数料でしょうか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

13時33分 休憩

13時34分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

教育総務課長。

○教育総務課長 公用車の車検代になります。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 公用車の車検代ですか。27節の自動車重量税というのも新たに、これも車検ではないですか。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 こちら2年に1回の車検時に払う重量税でございます。車検も2年に1度になりますので、平成30年度には予算は計上しておりません。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 154ページの13節委託料でございます。小中学校の教職員の専任アドバイザー委託……

○教育総務課長 済みません。こちら教育総務課の所管ではございません。学校教育課の予算のほうになります。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 済みません。パソコンのリースというので今回予算をとっているかと思うのですけれども、29年度の実績といたしますか、会計の中で、今年度リースが終わっているというのがセンターサーバーであるとか、学校間のネットワークの管理用の機器で、センターサーバーと、あと今おっしゃられた教職員のパソコン、あと図書館のシステム関係、あと向田小のパソコン室等のリースの完了時期が31年度に終わるという状況なのですけれども、その辺の予算というのは、先ほど言われた中に入っているのですか。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 この予算の中に含まれております。基本的に長期継続契約になっておりますので、一つ一つの契約についてはちょっとここには載ってきませんが。

（「ばらばらという……」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 挙手の上、お願いします。

（「暫時休憩をお願いします」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

13時37分 休憩

13時39分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

教育総務課長。

○教育総務課長 賃借料でございます。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 済みません。ちょっとページを戻って、157ページの13節委託料で、31年度の予算の中で校舎ガラスと便器清掃委託があったのが、31年度は入っていないのですけれども、これはなくなった理由といたしますか、変わる、事業として、どういうふうに変えたのか。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 小学校の校舎……

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

13時40分 休憩

13時40分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

教育総務課長。

○教育総務課長 校舎の屋上の清掃、ガラスの清掃、そしてトイレの清掃を隔年で平成30年度より実施を始めましたので、今年度トイレの清掃を実施いたしますので、平成31年度は……

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

13時40分 休憩

13時41分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

教育総務課長。

○教育総務課長 校舎のガラス、便器の清掃と屋上の清掃業務、これらにつきましては隔年で実施をまいりますので、平成31年度は屋上の清掃ということになってございます。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） ガラス清掃で隔年で、どういう規模の清掃だったのですか。

委員長、暫時休憩でお願いします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

13時41分 休憩

13時42分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

浅田委員。

○委員（浅田基行） 清掃の委託の規模というのが隔年に変わったというところが、どういう理由で隔年にしたのか、毎年から隔年にしたのかというのを教えてください。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩いたします。

13時42分 休憩

13時42分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

教育総務課長。

○教育総務課長 事業の見直しにより、この業務を隔年で実施することとなりました。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 業務の見直しでというお話なのですけれども、現状維持

できれいに、いわゆる清潔的なこと、維持ができるという判断なのでしょうか。

(「暫時休憩願います」の声あり)

○委員長(杉山茂規) 暫時休憩いたします。

13時43分 休憩

13時45分 再開

○委員長(杉山茂規) 再開いたします。

教育総務課長。

○教育総務課長 日常の子どもたちの清掃である程度の衛生は保てていると考えております。

○委員長(杉山茂規) 浅田委員。

○委員(浅田基行) この件で、恐らく先生方とか、やっぱりそういう子どもらが清掃するに当たっての管理というか、確認等であったのですけれども、先生方も承認といいますか、了解されていることでなくしてあるのでしょうか。承認をしていただいているかどうかでいいです。

○委員長(杉山茂規) 教育総務課長。

○教育総務課長 各学校には事前にお話をしてあります。

○委員長(杉山茂規) ほかはいかがでしょうか。

勝又委員。

○委員(勝又 豊) 165ページですけれども、昨年の中には特殊建築法検査170万というのがあったのですが、ことしなくなっているのですけれども、これは。

○委員長(杉山茂規) 教育総務課長。

○教育総務課長 2年に1度の実施が求められている事業でございます。

○委員長(杉山茂規) 勝又委員。

○委員(勝又 豊) ~~校舎等維持補修工事設計監理委託が昨年はあったのですけれども、それがなくなっているのは、どんな事業ですか。~~

○委員長(杉山茂規) 去年の話。

暫時休憩いたします。

13時47分 休憩

13時48分 再開

○委員長(杉山茂規) 再開いたします。

勝又委員。

○委員(勝又 豊) 先ほどの質疑は取り消します。

170ページ、聞き漏らしていたら済みません。教育振興費の20節の扶助費です。就学援助費と就学奨励費、2つ分かれているのですけれども、その辺の違いを。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 就学援助費というのは、準要保護の家庭の児童に対する助成になります。就学奨励費、こちらは特別支援学級へ通級している児童への助成、扶助費でございます。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

13時49分 休憩

13時49分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

ほかはいかがでしょうか。

土屋委員。

○委員（土屋秀明） 耐震補強の関係でお伺いをしますけれども、まず8ページに債務負担行為で深良と富岡第一の各小学校の耐震補強大規模改造の32年度の限度額が載っていますけれども、この内容を深良、富岡それぞれに中が工事費が幾らなのか、あるいは設計監理が幾らなのかという、中身をちょっと教えてください。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

13時50分 休憩

13時52分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

教育総務課長。

○教育総務課長 工事管理委託料及び工事費を見込んだ額でございます。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 休憩で結構ですから、各小学校の31年度の予算の同様の区分けの数字を教えてください。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

13時53分 休憩

13時54分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

教育総務課長。

○教育総務課長 明細につきましては回答を控えたいと思います。よろしくお

願います。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 158ページにパソコンをタブレットで使用できるものに変えるというリース料が入っていますけれども、台数は何台になるのですか。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 各学校35台、計70台を予定しております。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 同じページに汚水処理施設の負担金、千福が丘小学校がありますけれども、千福が丘小学校だけの負担金というのはどういう理由でしたか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

13時55分 休憩

13時55分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

教育総務課長。

○教育総務課長 千福が丘区の管理組合で集中浄化槽の使用についての負担金になっております。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 165ページです。中学校の学校管理費の委託料の一番最後に校舎と体育館の屋上清掃委託はありますけれども、これは具体的にどういふことなのでしょう。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

13時56分 休憩

13時57分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

教育総務課長。

○教育総務課長 平成31年度は校舎と体育館の屋上の清掃を実施する予定でございます。

暫時休憩願います。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

13時57分 休憩

13時57分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

教育総務課長。

○教育総務課長 校舎や体育館の屋上の清掃でございまして、雨どい等の清掃、それにたまった集積物等を回収していただく作業でございまして。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

三富委員。

○委員（三富美代子） 事業の見直しで廃止ということで載っている、教育総務課では西中学校普通教室不足解消事業というのが載っております。30年度、これに向けての調査委託費がありまして、調査はされたというふうに認識しておりますけれども、これはそのまま廃止になってしまうのですか。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 暫時休憩願います。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩いたします。

13時58分 休憩

13時59分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

教育総務課長。

○教育総務課長 事業自体を中止したものではございません。今後の児童生徒数の推移を見きわめて対応してまいりたいと考えております。

○委員長（杉山茂規） 三富委員。

○委員（三富美代子） 今の件ですけれども、そもそも33年度には不足をするということが予想されての調査だったと思うのですけれども、それを見きわめる期間をとって、実際に33年度、不足が起きたときに間に合うのですか。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 間に合うように対応はしたいと考えております。

暫時休憩願います。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時00分 休憩

14時03分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

三富委員。

○委員（三富美代子） 86ページの放課後児童室の対策事業費の関係です。

31年度から子育て支援課から事務移管されるのですけれども、事務量が増えるということで、職員の対応は大丈夫なのですか。事務量はどのくらい増えるというふうに。今の人数で事務量の対応はできるかどうかということ。

- 委員長（杉山茂規） 教育部長。
- 教育部長 新年度から放課後児童室の事務がこちらに来ますので、相当量の事務量があるという形で認識しておりまして、その辺につきましては人事ヒアリングの際に要望のほうはしております。
- 委員長（杉山茂規） 三富委員。
- 委員（三富美代子） 今の件はわかりました。
- あと、別です。昨年もそうでしたけれども、台風の被害、また落雷の被害等で施設が修繕が必要になるということが発生しておりますけれども、この平成31年度の予算の中でそういった自然災害に対しての修繕を行う費用はどちらのほうに計上されておりますでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 教育総務課長。
- 教育総務課長 基本的には、11節の修繕料、15節の工事請負費の中で対応していきたいと考えています。
- 委員長（杉山茂規） 三富委員。
- 委員（三富美代子） 修繕費のこの中は、通常の前定されているものがあるということで計上されているのではないですか。
- （「暫時休憩願います」の声あり）
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩いたします。
- 14時05分 休憩
- 14時06分 再開
- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。
- 教育総務課長。
- 教育総務課長 基本的には、当初予算の修繕費、工事請負費の中で対応してまいりたいと考えております。それでも不足の場合は、財政課と協議して予備費等の充当を考えております。
- 委員長（杉山茂規） 三富委員。
- 委員（三富美代子） 先ほどの小学校のほうでも出たのですが、中学校費の中でパソコンのリース代の関係ですが、タブレット型にかえていくという話で、これはどこの中学校をまずこの平成31年度、かえられる予定ですか。
- 委員長（杉山茂規） 教育総務課長。
- 教育総務課長 西中学校と富岡中学校を予定しております。
- 委員長（杉山茂規） 三富委員。
- 委員（三富美代子） 台数はどのくらいお考えですか。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩いたします。

14時07分 休憩

14時07分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。  
教育総務課長。
- 教育総務課長 約70台を予定しております。
- 委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。  
浅田委員。
- 委員（浅田基行） 済みません。87ページの放課後児童対策事業費の15節の  
工事請負費で児童室のエアコン設置等の工事とあるのですけれども、これエ  
アコンというのは何台分を工事やる予定でしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 教育総務課長。
- 教育総務課長 今予定しているのは3つの教室でございます。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） 場所というのは、どの場所になる、対象になるのでしょ  
うか。
- 委員長（杉山茂規） 教育総務課長。
- 教育総務課長 学校は、東小、南小、富岡第一小学校を予定しております。
- 委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。  
勝又委員。
- 委員（勝又 豊） 富岡第二小学校の体育館新築工事をここで聞いてもよろ  
しいでしょうか。今回富岡第二小学校体育館を新築するという事で、新た  
に土地を取得して、そこに建てるということで、今扱っている体育館は取り  
壊すと聞いているのですけれども、その取り壊した跡地、利用というのはこ  
れから考えていくかと思うのですけれども、何か構想とかありますでしょ  
うか。
- 委員長（杉山茂規） 教育総務課長。
- 教育総務課長 既存の体育館を取り壊した後は、駐車場として整備をして、  
学校の教員、そして幼稚園の先生方に利用を考えております。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 今の放課後児童室の関係ですけれども、新年度から教育  
部局にということで、その際に幼稚園も含めて、教育部局にというような、  
そんな検討はされなかったのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 教育部長。
- 教育部長 そういう検討はなかったです。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 小学校、中学の一貫教育の中で、小学校へ入る前の幼稚園から含めて一貫教育というのが全国で結構行われているところがあるのですけれども、そういうようなことも含めて検討もされなかったということによろしいでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 教育部長。

○教育部長 はい。まず、今回は放課後児童室、高学年を対象にやる関係があったものですから、そちらの場所の確保ということで、それを優先にやっていきたいということで、そういう趣旨のもとに教育総務課のほうに事務が移管されてくるという話を聞いております。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） 放課後児童室のことで伺います。

小学校6年生までの受け入れをということでお話はされましたけれども、全ての放課後児童室で6年生までの受け入れが可能な準備ができたということによろしいのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 そのとおりでございます。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） 済みません。教育振興費のところ、就学援助費の時期、支払いの時期のところ、毎年これ出てきていると思うのですが、検討をされていると思うのですが、31年のところでは特に変更することはないで来ているということによろしいでしょうか。支払時期ですね、事前という。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時12分 休憩

14時12分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

教育総務課長。

○教育総務課長 中学校の新入学学用品費につきましては、平成30年度に前倒しで支給を実施しました。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） 小学校のほうの検討というのは難しそうなお話をしていたのですが、その辺についてはどうなのでしょう。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 小学校への新入学学用品費の前倒しにつきましては、平成31年

度に実施ができるように今検討をしております。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時13分 休憩

14時13分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

教育総務課長。

○教育総務課長 次年度に実施に向けて検討してまいります。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 以上で委員の質疑を終わります。

分科会外委員の質疑をお受けいたします。

勝又利裕委員。

○分科会外委員（勝又利裕） 1点お願いします。

富岡第一小学校と深良小学校の耐震工事に入るのですけれども、それぞれ仮設の教室を必要とするところは富岡第一小学校だけでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 深良小学校についても仮設の教室を計画しております。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○分科会外委員（勝又利裕） この仮設の教室、今の段階の予定でいいのですけれども、設置完了予定はいつごろを予定していますでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩いたします。

14時14分 休憩

14時14分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

教育総務課長。

○教育総務課長 富岡第一小学校につきましては、秋のころというところで予定をしております。深良小学校につきましては夏過ぎということで計画をしております。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○分科会外委員（勝又利裕） その仮設の教室を建築する場所ですけれども、グラウンド、今現在使っているグラウンド内になるのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時15分 休憩

14時15分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。  
教育総務課長。
- 教育総務課長 富岡第一小学校につきましては、グラウンドに設置を予定しております。深良小学校につきましては、駐車場部分に建設を予定しております。
- 委員長（杉山茂規） 勝又委員。
- 分科会外委員（勝又利裕） 富小のグラウンドなんか、結構行事で使うことがあるのですけれども、その辺の周知は関係者にはされているのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 教育総務課長。
- 教育総務課長 これから実施をしてまいります。
- 委員長（杉山茂規） 勝又委員。
- 分科会外委員（勝又利裕） よろしく申し上げます。
- 委員長（杉山茂規） ほかは。  
内藤委員。
- 分科会外委員（内藤法子） お願いします。157ページの委託料の害虫駆除委託なのですが、これは小学校9校全部で10万円ということですね。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時16分 休憩

14時16分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。  
教育総務課長。
- 教育総務課長 これは、害虫が発生した場合に対応する委託費でございます。
- 委員長（杉山茂規） 内藤委員。
- 分科会外委員（内藤法子） そうすると、小学校で害虫が発生したら使うということで、9校を対象にしているということですね。どのような害虫駆除の費目になっているのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 教育総務課長。
- 教育総務課長 シロアリ等の駆除を予定しております。
- 委員長（杉山茂規） 内藤議員。
- 分科会外委員（内藤法子） 例えば西小学校でシロアリは2回発生しているのですけれども、この10万円で足りる、できるのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時17分 休憩

14時17分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。  
教育総務課長。
- 教育総務課長 この予算の範囲内で専門業者等に対応をお願いするわけですが、不足の場合等、職員が直接駆除をする場合もございます。
- 委員長（杉山茂規） 内藤委員。
- 分科会外委員（内藤法子） それは、例えば給食棟も含む校舎というふうに理解していいですか。
- 委員長（杉山茂規） 教育総務課長。
- 教育総務課長 実際には、給食棟も校舎の一部でございますので、その辺は給食のほうの予算と照らし合わせた中で対応は考えております。
- 委員長（杉山茂規） 内藤委員。
- 分科会外委員（内藤法子） この害虫駆除委託が小学校が9校で、165ページ、中学校が5校で同じ10万円なのです。なので、もう少しあらかじめ校舎の数も考えて、余分にとっておかなければならないというお考えはなかったでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 教育総務課長。
- 教育総務課長 その辺ちょっと検討しておりません。来年度に向けてまた検討してまいりたいと思います。
- 委員長（杉山茂規） 内藤委員。
- 委員外議員（内藤法子） ぜひ老朽化して、いろんな害虫が出ると思うので、検討してください。  
それでは、もう一点だけ。159ページで、学校の修繕費の件でお伺いします。先ほど修繕費に関しては要望を配分して決めるということをおっしゃっていました。これは、要望というのがどんな形で出るのでしょうか。例えば駆除要望みたいに1年に1回とか、どんな形で出ているのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 教育総務課長。
- 教育総務課長 予算要求の際に、各学校より修繕要望、工事要望、そして備品や消耗品の要望等、書類で提出をいただいております。それに伴って予算は計上してございます。
- 委員長（杉山茂規） 内藤委員。
- 分科会外委員（内藤法子） 配分して決めるということでしたけれども、例えば駆除要望みたいにA、B、Cとか、要望はあったけれども、これはしないとかいう回答とかいうのはやっているのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 教育総務課長。
- 教育総務課長 年度当初に予定としまして各学校ごとに通知を出しております。

す。

- 委員長（杉山茂規） 内藤委員。
- 分科会外委員（内藤法子） そうすると、全部の数からやれないというか、採用できないもの。では、一問一答。要望は何件ぐらい上がってきているのでしょうか、全部で。
- 委員長（杉山茂規） 教育総務課長。
- 教育総務課長 学校によりますので、各学校が幾つということではございません。
- 委員長（杉山茂規） 内藤委員。
- 分科会外委員（内藤法子） おおむねその中の何割ぐらいが対応ができているのででしょうか、この予算で。
- 委員長（杉山茂規） 教育総務課長。
- 教育総務課長 その修繕やその内容によって金額も変わってまいりますので、一概に何件ということとは答えられません。
- 委員長（杉山茂規） 内藤委員。
- 分科会外委員（内藤法子） 先ほど要望で工事ができないのは回答しているということでしたが、どのような回答の仕方ですか。
- 委員長（杉山茂規） 教育総務課長。
- 教育総務課長 回答はしているのは、あくまでも小学校管理費として教育総務課が予算を執行する部分の項目になります。各学校で規模、生徒数、クラス数も違ってまいりますので、その辺を踏まえた上でバランスよく、なるべく公平に予算の執行ができるように考えております。
- 委員長（杉山茂規） ほかいかがでしょうか。
- 二ノ宮委員。
- 分科会外委員（二ノ宮善明） お願いします。先ほど土屋委員のほうからも出ました千福が丘小の汚水処理のところでございます。
- コミプラに接続をしております、国からの10年概成が出て、裾野市としては千福が丘のコミプラに対する補助とか、そういうものはしないような方針なのですが、壊れた場合、千福が丘小の汚水処理はどのようにするかというのには考えておりますか。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩いたします。

14時22分 休憩

14時22分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。
- 教育総務課長。

○教育総務課長 考えておりません。

○委員長（杉山茂規） 二ノ宮委員。

○分科会外委員（二ノ宮善明） 築40年ぐらいたつのかな。考えておかないと大変なことになるかと思いますので、お願いいたします。

もう一点。済みません。教職員の多忙化の軽減というようなのは、これどこか載っていましたでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時23分 休憩

14時23分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

教育総務課長。

○教育総務課長 学校共同事務の事業に対して、消耗品費を計上しております。

以上です。暫時休憩願います。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時24分 休憩

14時24分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

二ノ宮委員。

○分科会外委員（二ノ宮善明） そうすると、部活の外部人材の活用とかというのはここではなかった。

（「学校教育課に」の声あり）

○委員外議員（二ノ宮善明） では、そちらでします。

○委員長（杉山茂規） 中村委員。

○分科会外委員（中村純也） ~~12月議会で補正がありましたエアコン設置、普通教室へのエアコン設置の計画というのは、何か詳細出ますでしょうか。~~

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩いたします。

14時25分 休憩

14時27分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

○分科会外委員（中村純也） 先ほどの質疑は取り消します。

1点別で、学校規模適正化については、31年度何か動くことがありますか。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 2月に行われました総合教育会議の中で、今後専門機関を設

置して検討していくこととなっております。

○委員長（杉山茂規） ほかは。

岡本委員。

○分科会外委員（岡本和枝） 教育振興費の中の就学援助費についてお尋ねします。

31年度で補助対象になったり、増額になったものとか、そういう内容の変化というのは31年度の部分ではありますか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩いたします。

14時28分 休憩

14時28分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

教育総務課長。

○教育総務課長 変化はないというふうに考えております。変化はないと承知しております。

○委員長（杉山茂規） 岡本委員。

○分科会外委員（岡本和枝） 国の制度のほうで、要保護に対して卒業アルバム代とか補助対象になるとか、あと修学旅行費の増額とか、そういうのがあるのではないかと思うのですけれども、そのようなことに対する対応みたいな、検討みたいな部分はされているのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時29分 休憩

14時30分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

教育部長。

○教育部長 情報ありがとうございます。ちょっとうちのほうで今岡本議員のほうからご指摘いただいた情報をまだしっかり把握しておりませんので、その辺もちょっとあわせて確認をしてみます。必要とあらば、対応策のほうを考えていきます。

○委員長（杉山茂規） 岡本委員。

○分科会外委員（岡本和枝） お願いします。

もう一点、それぞれ小学校、中学校に管理費が毎年予算立てされますけれども、それが毎年減額の状態が、ほぼ減額の状態が続いているのですけれども、これも市長の言うところの歳出削減の対象にしているという結果なのでしょうか。

- 委員長（杉山茂規） 教育総務課長。
- 教育総務課長 そういうことになります。
- 委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。  
井出委員。

○分科会外委員（井出 悟） 86ページなのですけれども、放課後児童運営委託の件ですが、暫時休憩をお願いします。

- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時31分 休憩

14時31分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。
- 分科会外委員（井出 悟） 31年度から事業者の提案に従って、新たに取り組むこととか、改善されることとかにはどのようなことがありますか。
- 委員長（杉山茂規） 教育総務課長。
- 教育総務課長 暫時休憩願います。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時31分 休憩

14時32分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。  
子育て支援課長。
- 子育て支援課長 取り組む何かイベント的なことで変わるということはないというふうに考えております。ただ、職員の危機管理マニュアルですとか衛生管理、それから職員研修なんかについては、今年よりも整った形で運営ができるというふうに考えております。
- 委員長（杉山茂規） 井出委員。
- 分科会外委員（井出 悟） イベントということではなくて、運営の内容だとか、そういう部分での事業者提案を反映した取り組みというのはあるのですか。
- 委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。
- 子育て支援課長 休憩をお願いします。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時33分 休憩

14時33分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。

子育て支援課長。

○子育て支援課長 基本的には、その運営の方法について今年度と来年度と大きく変えるということはないと思います。ただ、30年度につきましては、あくまでも切りかえで引き継ぎとかで混乱があるような場合もあるので、そこはいきなりころっということではなくて、指導員の研修なんかも兼ねて、少しずつ改善していこうという、そういうことだったというふうに承知しております。

○委員長（杉山茂規） 井出委員。

○分科会外委員（井出 悟） ということですので、事業者への公募期間は3年間だったので、2年目の年に事業者からの積極的な提案をどんどん生かしていくべきだと思うのですが、そのような部分の議論はされていないということでよろしかったですか。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。

○子育て支援課長 議論というか、業者のほうの担当者とは常に連絡を取り合いながら、課題等があればその都度指示とか、相談を受けながらという形で進めております。ここの2月に利用者に対するアンケートをとっております。これをもとにまた来年度改善できる場所があれば、そういった形の取り組みもしていきたいというふうには考えていたところでございます。

○委員長（杉山茂規） 以上で分科会外委員の質疑を終わります。

以上で第1号議案のうちの関係部分に関する質疑を終わります。

これより第1号議案のうちの関係部分について意見伺います。賛否に関する意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 分科会外委員の意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 以上で第1号議案のうちの関係部分に関する意見を終わります。

以上で教育総務課の質疑を終わります。

休憩いたします。

14時35分 休憩

14時43分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

## 学校給食センター

○委員長（杉山茂規） 説明は終わりました。質疑に入ります。

質疑はありませんか。

土屋委員。

○委員（土屋秀明） きょう配付を受けましたもの、給食員の欠員の状況について、これについて説明をお願いします。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 きょう皆様に配付しました給食員の欠員の状況ということで説明をさせていただきます。

まず、給食員の定数でございますが、学校給食センターで19名、30年度は正規職員を1名含んでおります。自校式の7つの小学校で教職委員が26名ということになっております。各学校の定数につきましては、記載のとおりでございます。本日3月8日現在の欠員の状況は、センターの給食員が5名欠、千福が丘小学校の給食員が1名欠員、計6名となっております。現在派遣職員3名を配置して、対応しておるところです。今後平成30年度末の退職者が正規職員が1名、センターの臨時職員が2名予定しておりますので、計3名が欠員が増えてしまうということで、給食員の欠員は合計9名ということになります。

そして、現在の対応状況ですけれども、新規の給食員の申し込みが今5名おります。2名は面接済みでございます。3名は今後面接をする予定でございます。なお、まだ不足している部分につきましては、派遣職員の配置、そして午前中のみの勤務ということで、パート職員の募集についても今後検討をしていくこととしております。

以上でございます。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 今度は予算のほうに入りまして、今の欠員状況の中で、この予算に計上されているのはどこまでのものが計上されているのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 教育総務課のこの予算上にのっているのは、あくまでも臨時職員の賃金でございまして、派遣職員につきましては人事課のほうで今検討していただいているところでございます。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） そうすると、年度当初からの給食事業に支障はないというふうに考えられるのですか。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 全くないというふうには考えておりません。

暫時休憩願います。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩いたします。

14時50分 休憩

14時51分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

土屋委員。

○委員（土屋秀明） 中身はいろんな複雑なことも大変なこともあるのでしょ  
うけれども、基本的には当初予算のこの計上額で4月から給食業務というの  
はセンターも自校式のところも通常どおりに行えるという、そういう考え方  
でよろしいのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 この予算の中でやってまいります。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

勝又委員。

○委員（勝又 豊） 給食に関して、食材とかそういったものは、こういった  
予算には入らないということで。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時51分 休憩

14時51分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

教育総務課長。

○教育総務課長 11節需用費の中に賄い材料費というものがございます。こち  
らが給食の材料費でございます。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） 食べ残しをなくしていこうというような、そういうよう  
な取り組みとか、そういうところはしていますでしょうか。

（「暫時休憩願います」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時52分 休憩

14時52分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

学校給食センター課長代理。

- 学校給食センター課長代理 学校で児童生徒の委員会活動の中で残食を減らす取り組みを行っております。
- 委員長（杉山茂規） 勝又委員。
- 委員（勝又 豊） 献立、メニューとかは専門の人がするかと思うのですが、例えばご当地メニューとか、いろんな広島だとか、いろんなところのメニューを出すとか、そういうふうな趣向を変えるような、そんな働き方とか、生徒が楽しんで食べられるような、そんな取り組みなんかはどうか。
- 委員長（杉山茂規） 学校給食センター課長代理。
- 学校給食センター課長代理 給食の中でふるさと給食週間とか、ふるさと給食の日というのを毎月設けておりまして、地元の食材を使ったり、地域性のある献立を提供したりしています。また、学校給食週間で各地の給食なども取り入れております。
- 委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。  
浅田委員。
- 委員（浅田基行） 済みません。先ほどの土屋委員に関連するところですが、給食員の定数というところ、給食センターの賃金、附属説明資料の56ページのところで、給食費の運営費の賃金の臨時職員は30名なのです。その右斜め下というところの賃金の臨時職員で19名と、給食センター側です。19名というのと、きょう配られました給食員の定数、職員1人という、その数字的のものがどうもちょっと一致しないというような気がするけれども、その辺ご説明いただけますか。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時55分 休憩

15時01分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。  
浅田委員。
- 委員（浅田基行） 31年度予算のベースでいくと、今の欠員よりさらに人を増やすことが可能かと思いますが、いかがでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 教育総務課長。
- 教育総務課長 あくまでも予算上の人数でありまして、採用できるかどうかは人事課と協議が必要と考えております。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） そうすると、31年度の予算の人数、今9人で3人ほど予算的にはとれるので、その方向でとっていくという認識でよろしいですか。

採用していくのですか、考えとして。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 不足分については採用していきたいと考えております。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 非常に困っている状況で、予算的に人事がオーケーという状況なものですから、できるだけ人を、当然相手のいる話なので、難しい場面もあるかもしれませんが、増やしていただければと思います。

あと、30年度末の退職、正職員の方が1名退職されるというお話で、先日の総合計画でしたか、の中で1名職員でいなくなると、この方が栄養士です。

（「給食員です」の声あり）

○委員（浅田基行） ただの給食員ですか。となると、またこれが5名が4名になっているという意味合いでよろしいでしょうか、31年度は。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

15時03分 休憩

15時03分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

教育総務課長。

○教育総務課長 正規職員分としては、課長代理を含む栄養士4人分でございます。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 総合計画の中で職員が減ると非常に困るというようなお話を聞いたような気がするのですけれども、その辺の対応といたしますか、という部分ではいかがなものでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

15時04分 休憩

15時05分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

教育総務課長。

○教育総務課長 給食センターの調理業務にはかなり影響が出ております。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） その対策、対応というのはどのようにお考えでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 今年度につきましては、年度途中から派遣職員を配置しております。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 人材派遣ですね。

（「人材派遣です。済みません」の声あり）

○委員長（杉山茂規） では、答弁の訂正をお願いします。

教育総務課長。

○教育総務課長 人材派遣会社からの派遣をお願いしております。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） わかりました。

では、済みません。最初に歳入のところで37ページ、雑入で給食費……ちよっと待ってください。済みません。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

15時06分 休憩

15時07分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

浅田委員。

○委員（浅田基行） 雑入で1億1,340万7,000円という雑入、これ納付金という形だと思うのですが、29年度の雑入を確認いたしますと、1億1,310万7,000、約30万円ほど増えている。増えた理由というのは、要は人数の差なのか、滞納が減って改善されたというところ、増えた理由というのがわかれば教えてください。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 29年度までは、各学校ごと、各学年の生徒数、児童数に1.01を掛けて、対象の生徒数児童数を算出しておりました。30年度からは、各学校の全体の児童生徒数に1.01を掛けてこの喫食数を出しておりますので、そういったところで人数を減らしているという状況がございます。ですから、29年度までは少し多目に喫食数を見込んだような計算式で算出をされたというところでございます。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

15時08分 休憩

15時10分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

浅田委員。

○委員（浅田基行） 取り消します。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） 163ページ、機械器具費のところでお伺いします。

昨年のおきに伺ったときに、もう大型のもの、冷蔵庫とか保冷庫とか、それが使えなくなってしまって、そして購入をしますというお話で、昨年3つの学校が対象になったのですけれども、来年以降も機械を入れかえていくというお話でしたが、具体的に来年度の予算のところでもどこどこを買い替えるのかとかというのは決まっていますでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 決まっております。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） お伺いしていいですか。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 平成31年度に更新をする機器につきまして、東小学校の消毒保管庫、西小学校の牛乳保冷庫、深良小学校、冷蔵庫、富岡第一小学校、冷蔵庫、向田小学校、牛乳保冷庫、そのほかに配膳台、これらを更新する予定でございます。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） 予算のほうが、今年度というか、来年度減っているのですけれども、今のものでこの予算で購入ができるということによろしいのですか。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 そのとおりでございます。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） 今牛乳保管庫とかというお話も出てきました。そうしますと、同じぐらいの時期に買っているのではないかと思うのですが、その次の年とか、来年度中とか、壊れたらまた購入しなければいけないという状況はかなり切迫しているというものというものはあるのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 暫時休憩願います。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

15時12分 休憩

15時12分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

教育総務課長。

○教育総務課長 壊れているものは今ございません。あくまでも古いものから

順に更新をしていくということでございます。

- 委員長（杉山茂規） 三富委員。
- 委員（三富美代子） 163ページの15節工事請負費、これ維持補修工事は何か所になりますか。
- 委員長（杉山茂規） 教育総務課長。
- 教育総務課長 大きい工事といいますか、100万円を超える工事を1カ所予定しております。そのほか残った部分につきましては、臨時的に故障が発生した場合の対応として計上しております。
- 委員長（杉山茂規） 三富委員。
- 委員（三富美代子） 今の件はわかりました。全体的なことになるのですが、裾野市として今後の給食のあり方、特に給食センターの今後について協議を持っていくような、そういうための予算というのはこの31年度は入っているのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 教育総務課長。
- 教育総務課長 そういった予算は含まれておりません。
- 委員長（杉山茂規） 三富委員。
- 委員（三富美代子） 経費としてその予算立てはないということですが、今後そういった市として給食センターの今後の方向性を考える必要性はどのようにお考えでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 教育総務課長。
- 教育総務課長 総合教育会議、2月に開催された会議の中でも、給食業務について今後の計画ということで、それにつきまして新たな組織、別の機関をつくって、その中で検討していくということと、あとは給食について民間委託の方向でも検討意向ということで、市長を初め教育委員、情報の共有をしたということでございます。
- 委員長（杉山茂規） 三富委員。
- 委員（三富美代子） 大事な課題であると思いますので、今後しっかりとした協議、検討をよろしく願いいたします。
- 委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。  
(「なし」の声あり)
- 委員長（杉山茂規） 委員の質疑を終わります。  
分科会外委員の質疑をお受けいたします。  
岡本委員。
- 分科会外委員（岡本和枝） 栄養士さんの配置の状況を給食センター、各校ごと、正規、臨時別に教えていただけますか。
- 委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 各学校に配置している3名の栄養士は臨時職員でございます。現在給食センターにいる栄養士は正規の職員でございます。

○委員長（杉山茂規） 岡本委員。

○分科会外委員（岡本和枝） その臨時の3名の方はどのような形で配置をされているのでしょうか。

（「暫時休憩願います」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

15時15分 休憩

15時16分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

教育総務課長。

○教育総務課長 市の臨時の栄養士さんは各学校に配置されておりまして、配置されている学校は須山小、向田小、千福が丘小の3校でございます。

○委員長（杉山茂規） 岡本委員。

○委員外議員（岡本和枝） それら以外の小学校に対しての栄養士さんの仕事というか、それはどのようになっているのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 そのほかの学校につきましては、県費の栄養士さんが配置されております。

○委員長（杉山茂規） 岡本委員。

○分科会外委員（岡本和枝） では、東、西、富一、深良、富二、南小、それぞれ県費の栄養士さんが配置をされているということでもいいですか。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 富二と南小は給食室がございませんので、栄養士自体がおりません。そのほかの4校については県費の栄養士が配置されているということでございます。

○委員長（杉山茂規） 岡本委員。

○分科会外委員（岡本和枝） それでは、富二と南小に対しての栄養士さんからの仕事というか、それはどのように保障されているのですか。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 富二小、南小につきましては給食センターで調理をしておりますので、給食センターに栄養士がおります。また、県費の栄養教諭もおりますので、そういった方が指導に当たっております。

○委員長（杉山茂規） 岡本委員。

○分科会外委員（岡本和枝） 栄養教諭の方はそれぞれ富二、南小にいらっし

やるということですか。

- 委員長（杉山茂規） 教育総務課長。
- 教育総務課長 富二、南小には栄養士は配置はしておりません。給食センターにいる栄養士が対応しているということでございます。
- 委員長（杉山茂規） ほかは。  
増田委員。
- 分科会外委員（増田祐二） 給食の内容について、先ほど課長代理と委員の間で質疑があったと思いますが、その件に関して伺いたく思います。  
済みません。暫時休憩をお願いします。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

15時18分 休憩

15時19分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。  
増田委員。
- 分科会外委員（増田祐二） 給食の内容に関して、学校給食センター以外の他の課との連携等々はどのように考えて31年度は対応されますでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 教育総務課長。
- 教育総務課長 暫時休憩願います。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

15時19分 休憩

15時20分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。  
教育総務課長。
- 教育総務課長 他課との連携につきましては、特別に今考えておりません。
- 委員長（杉山茂規） 二ノ宮委員。
- 分科会外委員（二ノ宮善明） 1点だけです。  
学校給食法ですと、設置者の負担と保護者負担というのが分かれています。裾野市の場合は材料だけで光熱水費が入っていないです。ですけれども、この7校のところで見ると800万から850万が毎年かかっている。その辺のところは、ずっと光熱水費は保護者負担を強くないという、そういう方向でこれからもずっと行くということによろしいですか。
- 委員長（杉山茂規） 教育総務課長。
- 教育総務課長 そのように考えております。
- 委員長（杉山茂規） 二ノ宮委員。

- 分科会外委員（二ノ宮善明） 先ほど外部委託という話が出ましたが、その辺のところになっても、そういう方向性でよろしいですか。
- 委員長（杉山茂規） 教育総務課長。
- 教育総務課長 そのように考えております。
- 委員長（杉山茂規） 内藤委員。
- 分科会外委員（内藤法子） お願いします。先ほどの不足分を派遣職員で配置するということでしたけれども、臨時さんと派遣職員では、派遣職員は手数料があるから金額は割高になると思うのです。それを踏まえて31年度の予算づけに反映しているのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 教育総務課長。
- 教育総務課長 派遣職員分の手数料につきましては、この予算に反映されておられません。
- 委員長（杉山茂規） 内藤委員。
- 分科会外委員（内藤法子） それは人事持ちということですか。
- 委員長（杉山茂規） 教育総務課長。
- 教育総務課長 そういうことになります。
- 委員長（杉山茂規） 内藤委員。
- 分科会外委員（内藤法子） 方向としては、やはり臨時職員を増やす、派遣職員で対応していこうという方向ですか、それとも臨時職員を何とか補充しようとお考えですか。
- 委員長（杉山茂規） 教育総務課長。
- 教育総務課長 基本的には臨時職員で採用していきたいと考えております。派遣職員は、あくまでも緊急的なものということで考えております。
- 委員長（杉山茂規） 以上で第1号議案のうちの関係部分に関する質疑を終わります。
- これより第1号議案のうちの関係部分について意見を伺います。賛否に関する意見はありませんか。
- （「なし」の声あり）
- 委員長（杉山茂規） 分科会外委員の意見はありませんか。
- （「なし」の声あり）
- 委員長（杉山茂規） 以上で第1号議案のうちの関係部分に関する意見を終わります。
- 以上で給食センターの質疑を終わります。
- 暫時休憩します。

15時23分 休憩

15時25分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。  
以上で本日の日程は全て終了いたしました。  
これをもって散会とします。

15時25分 散会

9時00分 開会

○委員長（杉山茂規） ただいまから本日の会議を開きます。

本日の日程はお手元に配布のとおりであります。

審査の方法は、先日と同様に当局の説明を求めてから質疑に入ります。発言の際には録音の関係上必ずマイクをご使用願います。先日に引き続き教育部関係の審査を行います。

## 教育部

### 学校教育課

○委員長（杉山茂規） 説明は終わりました。質疑に入ります。

勝又委員。

○委員（勝又 豊） 済みません。教育指導費、賃金60人分の金額1,261万3,000円、この金額なのですけれども、30……

○委員長（杉山茂規） 勝又委員、1億。

○委員（勝又 豊） 済みません。この金額、30年度の予算概要説明書の金額で、非常勤講師が金額が大分変わっているのですけれども、これ賃金の人数というのは変わらないのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 これは賃金なのですけれども、毎年不用額が発生しております、予算化した中で不用額として戻している、戻入しているものですから、来年度の予算に関しましては最低賃金に当たるもの、最低必要額を出して、それを積算して試算しました。それによって、もしこの額で足りない場合につきましては、補正をかけるというふうに考えております。

以上です。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） 済みません。そうすると、非常勤の人数的には変わらないという。この表どおりで変わらない、59人が60人ということで。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 資料にありますように多少の人数の増減と、それから幼児の言葉の教室が教育総務課から学校教育課のほうに移管してきましたので、それによって1名増員という形になっております。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） 今年度から教諭職員ストレスチェック委託というのが始

まったという認識でよろしいでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 実は、30年度もストレスチェックは別の会計で予算の中で行いまして、今年度行いました。来年度はそれを予算化して、項目立てをして行うというふうな形で実施を考えております。

○委員長（杉山茂規） ほかほございませんでしょうか。

浅田委員。

○委員（浅田基行） 済みません。よろしくお願ひします。職員の人数といひますか、確認なのですけれども、30年度、昨年の決算のときの人数でいきますと、講師、小学校の支援員と学びの森までの人数といひのが72人といひの決算で確認したのですけれども、それがかなり減っているといひのように感じたのですけれども、その辺といひのはどうなのですでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 29年度から比較するとそのようになつております。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） その29年度からですか。

暫時休憩お願ひします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

9時21分 休憩

9時22分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

浅田委員。

○委員（浅田基行） そういつた中で、教師もいろいろ多忙化といひの形でなつているかと思ひるのですけれども、その辺で、減らしたといひの経緯もある中で、解消するための新たな、今年度で言ひると具体的な取り組みつてありますか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 多忙化解消に対する取り組みにつきましては、全県、あるいは国の働き方改革も受けまして、さまざまな研修やモデル地区等のところもあつたりするのですけれども、市で取り組んでいるものとしては、他市に先駆けて学校共同事務室の今年度モデル化といひのか、モデル試行で先行実施をしておりまして、それによつて学校の事務職員が担任等の支援ができるような、あるいは学校運営に対する支援ができるようなことを取り組んできております。また、部活動ガイドラインを定めて、部活動の正常運営に関する適正化といひのか、負担減になるような運営化の見直しもいたしました。また、常々業務の見直し等を図つて、学校の教職員のほうの負担の軽減については

努めてその方向に向かうようなことをしております。

- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） 今済みません。そういった中での部活動の支援というところで、156ページの4行目、5行目、部活動等の推進というところ、この辺が外部コーチの予算という形で説明ありましたが、この辺って昨年と予算的には変わっていないという形なのですが、この交付金というのはどういう内訳というのですか、どういう形の予算の組み方なのでしょうか。外部コーチですよ。
- 委員長（杉山茂規） 学校教育課長。
- 学校教育課長 この部活動の外部指導者に当たるわけなのですが、各学校の部活動運営に関して顧問の負担軽減につながるように、主に技術指導をしていただいたりとか、必ずしも教職員はその担当した部活動の専門性が高いわけではありませんので、そういう技術の分を補ってもらうような地域人材を充てまして、その方に外部指導者として部活動の指導の補助をしていただくというようなものでございまして、各学校から希望としてこの方というふうな形で推薦してきた方について補助をして、その方に関して謝礼にもなかなかならないのですけれども、単価時間当たり800円掛ける4時間に対して、あと年間27週分の補助を出して、外部指導者としてお任せしております。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） 済みません。各学校の満足といいますか、しっかりしたその辺の手当はできているのでしょうか、この予算。要するに変わっていない予算の中で。
- 委員長（杉山茂規） 学校教育課長。
- 学校教育課長 この方々の多くは、ボランティアの精神で、例えば子どもがその部活にいたりとか、あるいはかつてその部活動に子どもが在籍していたりなんていうこともあって、地域の方がある意味ボランティア的な形で支えてくださっている、それに対する謝礼というふうなことなので、仕事のような形ではちょっと、きちんとした手当という形にはなりませんけれども、そういう気持ちに対してお応えするものの謝礼としてお支払いしていますので、中にはお金は要りませんという形でボランティアとしてやってくださっている方もいますので、そういう多くの方々の支援を受けて部活動は成り立っております。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） 満足度かどうかという視点では、特に苦情といいますか、もうちょっとこれだけほしいとかいう、課題みたいなものはないということ

でよろしいですか。

- 委員長（杉山茂規） 学校教育課長。
- 学校教育課長 そのような声は聞いたことはありません。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） 済みません。ちょっとまた人の話に戻ります。正規という意味では学校の先生って正規は県の職員という形で発注されていると思っていますけれども、県の職員の増配置みたいな要望というのは行っているのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 学校教育課長。
- 学校教育課長 教職員の配置につきましては、教職員定数が決められておりまして、その定数に基づいて配置がされておりまして、さらにその教職員定数に対して加配という形で学校に応じて生徒指導加配であるとか、指導法工夫改善加配であるとか、また小規模校等に対しては非常勤講師の加配等がいたりしております。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） そういう意味では要望はしているのですか。要望というのは県に対してという意味では。
- 委員長（杉山茂規） 学校教育課長。
- 学校教育課長 学校の実情に応じまして、こういう加配をつけてほしいというふうな要望はしております。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） 要望して、何か結果みたいなものというものはあるのですか。
- 委員長（杉山茂規） 学校教育課長。
- 学校教育課長 来年度につきましても、加配に当たる方々がさまざまついてはおります。
- 委員（浅田基行） 方々。
- 学校教育課長 複数加配がついております。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） 具体的な人数というのは見えるのですか。
- 委員長（杉山茂規） 学校教育課長。
- 学校教育課長 教職員定数以外のものに関しましては、例えば通級指導教室の教員も加配教員になりますので、小学校で通級指導教員3人、それから指導法工夫改善の加配教員としましては、小学校のほうで4人、中学校のほうで5人、それからそのほか夢実現加配であるとか、生徒指導加配等につきまして、中学校のほうで生徒指導加配が1人、夢実現加配等が3人、また小学

校のほうで英語の専科という形で2人、それからあと初任研、新採の初任研を指導する教員として3人、小学校のほうで加配がついております。あとそれ以外にも非常勤がさまざまありますが。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 済みません。ちょっと絡んでとなくなってしまうかもしれませんが、154ページの委託のところ以小中学校外国語教職員専任アドバイザーの委託というところで、新しく委託となっております。来年度の、今おっしゃられた県の職員の話も含めて、小学校、中学校で年度があればですけども、2020年度から教育の、中学校は21年度から教育の仕組みですか、教育が変わるとい、その辺も絡んでの今年度の取り組みなのでしょうか。違ったら違ったらまたちょっとその辺のご説明を。

（「暫時休憩お願いします」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

9時31分 休憩

9時31分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

学校教育課長。

○学校教育課長 この小中学校外国語教職員専任アドバイザー委託と言いますのは、実は今年度も行ってはいるのですけれども、今年度こういうふうな形で予算化できなかったのですが、来年度は予算化させてもらっているのですけれども、ALTが放課後等に、特に主に小学校なのですが、外国語活動に少しでも教職員が指導ができるようにということで、ALTと一緒に話をしようとか、あるいは外国語活動のいろんなクラスルームイングリッシュの例を紹介したりとか、そういうふうな形で、あるいは教師のほうで外国語活動をやっている中での悩みを相談したりとか、そういうふうな機会を設けてALTとともに話をしたり、相談をしたりというのを年間9回ぐらいだったかな、行っております。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） それは、ほか市、町と違いますか、いいことやっているなど思ったのですけれども、何かきっかけと違いますか、あったのですか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 きっかけというわけではないのですが、非常に指導力のあるALTがおりまして、せつかくの機会なので、小学校の先生たちなかなか外国語活動といってももともと免許があるわけではありませんので、少しでもなれてもらおうというふうな、そういう機会を創出するためにこのような場

を設けました。

- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） その前に一答一問になっていないところだったので、済みません。改めて、2020年度小学生で、2021年度が中学校の教育の変わると思うのですけれども、それに向けての今年度はこういう取り組みをしますということありますか。今年度といたしますか、31年度です。
- 委員長（杉山茂規） 学校教育課長。
- 学校教育課長 もうさまざまな取り組みが行われておりまして、実際に。学習指導要領が改訂に伴って、2020年度完全実施ではあるのですが、もう既に先行で実施していくものもありまして、総合的な学習の時間であるとか、あるいは道徳であるとか、もう既に実施されているものもあります。そういうものの研修であるとか、これは学びの森等の活用をして、そういう研修をどんどん進めていたりとか、あるいはこれに向けてまだ当市のほうでちょっと十分進んでいないプログラミング学習も来年度は力を入れて取り組んでいきたいなというふうに考えておりますし、もちろん外国語活動についてももう既にその一環として取り組んでおります。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） 先ほど学びの森というところでも取り組んでいるというお話ありましたけれども、学びの森というところで地域との連携というのは新たな取り組みってお考えありますか。
- 委員長（杉山茂規） 学校教育課長。
- 学校教育課長 本年度はキャリア教育への協力ということで、地元企業のキャノンさんであるとか、矢崎総業さんの出前授業に事前の打ち合わせから学びの森の職員に入らせていただきまして、その企業の持っているノウハウを少しでも授業に生かせるようにするにはどうしたらいいかというふうな視点でそこにかかわってもらっております。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） では、ちょっと別で、交通事故及び問題行動というところの中で不登校であるとかいじめに対しての、これも済みません。昨年の決算というところで見させていただいたのですけれども、件数として増えている傾向が数字としてあったのですけれども、31年度はその辺のところでは何か取り組むというところがあればご説明をお願いします。
- 委員長（杉山茂規） 学校教育課長。
- 学校教育課長 いじめに関しましては、件数にしては非常に多い認知件数になってはいるのですけれども、それについては非常に細かいことまで子どもの声に耳を傾けて対応しているというふうに捉えております。ただ、その中

でやはりそれに苦しんでいる子どもがいることは事実なわけですので、例えばどの学校でも実施しているいじめアンケートの中に今学校楽しいですかとか、あるいはそういうふうな実態が浮かび上がるような項目を中に入れて、よりその子どもの声に耳を傾けられるような仕組みを取り入れたりとか、あといじめ等によって重大なものにならないようにということで、学校体制で取り組むように、今年度つくりました市のいじめ防止基本方針に基づいて学校のほうの基本方針についても常に見直しを図るようにもまた促しております。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） その辺の促すといいますが、今年度はあつたいじめのいろいろな件数のその内容に対して、31年度の学校、環境的な改善みたいなことは取り組みみたいなのはありますか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 いじめに対しては、特に組織的に取り組むというのが基本にしておりますので、特に大きな環境改善というものについては取り立ててそういうふうなものはないのですけれども、とにかく学級担任がまずその子どものそういうふうな声を捉えたりとか、あるいは学級担任だけに限らず、養護教諭であるとか、さまざまな先生がそういうふうな声を耳にしたりするわけなのですが、それをそのままにしないで、とにかくその声をその場だけの対応に終わらせないで、深刻なものにならないようにそれを組織対応するというふうなことにしましては徹底するようにしております。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） 先ほどの教職員ストレスチェック委託で3万円ということなのですが、教職員の人数というのはかなり人数はあるかと思うのですが、その中で3万円でどのようなことをしますか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 これストレスチェックを委託する形になるのですが、検査用の用紙がありまして、それを分析してもらってそれを還元していくというふうな、その委託費用を3万円という形で試算しております。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） このストレスチェックで高ストレスだという評価が出た場合にどのような、その後の対応どのようにされるのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 ちょっと暫時休憩お願いします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩いたします。

9時29分 休憩

9時29分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

学校教育課長。

○学校教育課長 この結果につきましては、各学校長、それから本人のほうに還元されていくわけなのですけれども、その中で相談が必要な場合につきましては、市のほうの産業医のほうの紹介をして、そちらのほうの面談受診等につなげていくというふうな考えでございます。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） 学びの森というのがありますけれども、その辺との関連というのは、その後の対応ということはあるのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 学びの森につきましては、主に研修のほうの対応なものですから、心のそういうストレスのほう、健康安全面に関しましては、保健面というか、保健衛生のほうになってきますので、そちらのほうとの関連は特にないというふうに考えています。

（「ちょっと暫時休憩」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

9時40分 休憩

9時42分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

勝又委員。

○委員（勝又 豊） 附属説明書57ページに学力向上ボランティア事業とあるのですけれども、これは予算書のほうでちょっと項目を探したのですけれども、見当たらないのですけれども、どこにあったのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 予算書155ページの10款1項3目の8節、報償費の中に含まれております。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

三富委員。

○委員（三富美代子） 予算書154ページの委託の中のALT外国語指導補助講師に関してですけれども、30年度たしか4人のALTの方々だと思いますけれども、31年度も同じ人数でしょうか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 同じく4人でございます。

- 委員長（杉山茂規） 三富委員。
- 委員（三富美代子） そうしますと、先ほどのご説明ではプロポーザル方式でという、よりよい人材をとというようなお話がございまして、そういったことで予算が増額になっていると思いますけれども、市としてこの外国語の補助講師こういった、特に31年度こういった人材が欲しいという、そういう内容が教えていただければと思いますけれども。
- 委員長（杉山茂規） 学校教育課長。
- 学校教育課長 プロポーザルのときに、こういうふうな基準でALTを決めていきたいというふうな基準になっているものとしましては、まず会社の基本方針や経営理念がしっかりしていること、それから配置予定のALTの資質、能力が高いこと、日常会話程度の日本語の能力があることも含めてですが、それからALTの研修システムがしっかりしていること、それから教材やレッスンプランが整っていること、新学習指導要領に向けた小学校教員向けの研修サポートができること、毎年夏に行っているイングリッシュキャンプの企画内容が充実していること、それからそのALTへの支援体制がしっかりしていること、あるいは委託方法が明確で学校にとって負担が少ないこと等を基準にして委託業者を決めました。
- 委員長（杉山茂規） 三富委員。
- 委員（三富美代子） ご説明ありがとうございます。プロポーザル方式で人材を確保していくという、そういう31年度、どのようなスケジュールで取り組まれますか。いつごろプロポーザルにかけるとかというそういうスケジュール的な。
- 委員長（杉山茂規） 学校教育課長。
- 学校教育課長 31年度のプロポーザルについてはもう既に終えて、委託業者も決めました。
- 委員長（杉山茂規） 三富委員。
- 委員（三富美代子） 今の件わかりました。
- 委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。  
三富委員。
- 委員（三富美代子） 済みません。先ほど少し出ました学力向上ボランティア事業の関係ですけれども、こちら30年度と比べますと、かなり予算を減額をされておりますが、対象となるボランティアの方々の人数が減少するという見込みなのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 学校教育課長。
- 学校教育課長 人数そのものは変えずに、各校3人をお願いする予定であります。

- 委員長（杉山茂規） 三富委員。
- 委員（三富美代子） そうしますと、この予算立ては今までの実績からというものの認識でよろしいですか。
- 委員長（杉山茂規） 学校教育課長。
- 学校教育課長 この学力向上ボランティア事業に関しましては、かつて全国学力・学習状況調査の小学生の国語Aが全国のワーストになってしまったときに、これは大変だということで始まった事業ではあるのですが、これ県のほうもそれを受けまして、学び方支援の非常勤講師であるとか、学び方支援サポーターというものを配置して行ってきたのですが、その後一定の効果があつたということもあって、今現在はその県のほうの非常勤講師も縮小化されております。市としても昨年度学力向上支援員という形の市の講師を削減してしまったところもあるのですが、この学力向上ボランティアさんにつきましては、地域の方のご好意もあって成り立っているものもあり、また子どもたちの学習習慣の定着や塾に行っていない子どもたちへの支援ということもありますので、交通費程度の謝礼ではあるのですが、継続していきたいなというふうに考えております。
- 委員長（杉山茂規） 三富委員。
- 委員（三富美代子） そうしますと、ボランティアの方々の人数は同等の人数ですが、謝礼的なものは少なくしていくということの捉え方でよろしいのですか。
- 委員長（杉山茂規） 学校教育課長。
- 学校教育課長 そのように考えているので、年度初めにその点についてはもし継続して行ってもらう方については、昨年度こういうふうな形で半額というか、半減してしまうのですが、ということをお断りした上でお願いする、あるいは新規の方についてもその辺のことについては説明をした上でお願いするというふうに考えております。
- 委員長（杉山茂規） 三富委員。
- 委員（三富美代子） 暫時休憩をお願いします。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

9時49分 休憩

9時51分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。  
ほかは。  
土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 156ページに、上段のほうですが、授業改善あるいは

は充実助成の交付金、小中学校に85万円ほどが計上されていますけれども、これは各小中学校の合計なのでしょう、それとも特定の学校のことを指しているのでしょうか。

- 委員長（杉山茂規） 学校教育課長。
- 学校教育課長 これは、各小中学校の合計の金額です。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 具体的な取り組みとしてはどういうことを考えているのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 学校教育課長。
- 学校教育課長 例えば教員が研修会に行ったりすると、そこで資料等を購入してくださいなんてふうなことがよくあります。例えば資料2,000円であるとか、そういうふうなものを教職員が自分のお金で出して買うということもできるのですが、学校に還元するということもありますので、そういうときの補助としてその部分をこのお金から出させてもらうとか、あるいはいろんなさまざまなケースがあるのですが、修学旅行や社会科見学に行ったときに入館料がかかったりとか、入場料がかかったりするものがあつたりするのですが、子どものほうは学年費等から出せるのですが、その引率教員の分についてはやはりこういうふうなところ費用から出させていただいていると、そんなようなものでございます。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 同じ項目の中ほどに部活動の推進事業の交付金あります。外部人材をとということで説明ありましたが、ちょっと休憩願います。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

9時53分 休憩

9時55分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開します。  
土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 中学校で部活そのもの、部がないところがありますけれども、あるところに校区を越えてそこの部に入部して指導を受けながらしたいという希望があるということもありますけれども、それに対して具体的なものとしては部活動推進事業交付等を活用して何か考えられるのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 学校教育課長。
- 学校教育課長 越境して部活動に参加するという場合は、かつてもあったケースではあるのですが、送迎に対する保護者の負担はかかってしまうのですが、その学校にその部活がなくてというような場合につきましては、相談の

上そういうふうなことがやれるという可能性はあります。

また、この部活動の推進事業を用いてというふうなことでありますと、例えば陸上部がない学校におきまして、その学校で陸上部という名前はないのだけれども、例えば総合部というような形の部活を置いてそこに所属しているような場合について、その総合部に外部指導者を派遣してもらって、陸上を指導するというふうなケースは考えられなくはないと思います。ただ、その学校でそういうふうな形でこの外部指導者を活用するかどうかは学校の問題なものですから、ここでそれが必ずしもできるというふうなことは言えませんが、可能性としてはあると思います。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） ほんんものとふれあう学習事業の交付金、そのお金を出しているという各小中学校それぞれ10万と15万というふうなことですけれども、具体的には事業そのもののキャリアなり文化、芸術は何を新年度はやろうとするのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 新年度の事業につきましては、各学校、この時期からどのようなものを行ったらいいかということについては、時期とかその内容については選定していく段階にありますので、この時点ではまだ決まっていないところが多いのではないかとこのように考えております。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） では、参考のために30年度はどういうことをされたのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 幾つかの例を紹介いたします。例えば黒板アートを行った小学校、夏休み明けに黒板アートをして、高校生や大学生、美術大学生に来ていただいたという例、それからアスルクラロ沼津の選手とのサッカー交流、また芸術鑑賞や音楽鑑賞ということで、劇団たんぼぼであるとか、和太鼓、それからパーカッションのアンサンブル、パントマイム等を行ったところ、それから中学校のほうではキャリア教育が多いのですけれども、職業講話を矢崎の人に来ていただいてやったもの、それからやはり職業講話でわざチャレンジ、それからスポーツ選手等につきましては、東レアローズの選手に来ていただいたりとか、あと市のほうと共同してチームブリヂストンのサイクリング、自転車の教室を開いたりとか、あとやはりキャリア教育の講演会ということで、高校とか高専の方に来ていただいて、いろんなお話を聞いたりという、そのようなことがあります。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

- 委員（土屋秀明） 155ページに遠距離通学の補助金がありますけれども、小学生が3キロ、中学生が5キロ以上ということですが、今のこの対象になっている中学校、あるいはその人数、小学校の、あるいは人数はどのぐらいでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 学校教育課長。
- 学校教育課長 来年度のことでよろしいでしょうか。  
（「はい」の声あり）
- 学校教育課長 平成31年度の見込みとしましては、富一小学校と須山小学校で合わせて39人、それから富岡中学校と須山中学校で合わせて81人を見込んでおります。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） これはバスの定期券を購入することによって具体の数字としてはいくのでしょうか。それよりほかに通学のバスを利用せずに、路線バスを利用せずに保護者が車で送迎という場合には対象にはなっていないのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 学校教育課長。
- 学校教育課長 小学校3キロ、中学校5キロというその基準を超えて通学する場合につきましては、バス通を原則とするのですが、特に中学校等で部活動等もあってなかなかバスの本数も少ないということも現状としてはあります。どうしてもその辺保護者の送迎ということも出てくるわけなのですが、そのような保護者負担に対しての遠距離通学への支援という形での補助というふうに考えております。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 今のバス定期券でなく保護者が車で送迎すると同様の額が交付される、そういうことですか。
- 委員長（杉山茂規） 学校教育課長。
- 学校教育課長 基本的にはバスの定期代での計算で補助するのですが、現実的にバスだけを利用して、それ以外のもの利用しないというふうなのは余り現実的ではありませんので、それについては許容として認めております。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 私はむしろ現実的でございと思います、それは。事情によってバスを利用できないのだとか、あるいは今路線バスそのものがないつまで存続するかというようなことも現実の問題ありますから、今の考え方で補助対象にしてもらったほうが良いと思います。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） あと、先ほど来ているのですけれども、非常勤講師の派遣で資料31年度の予定が示されていますけれども、1年前の30年度の予算審議の際に非常勤講師の数が大きく減るということで、当時の委員会でもいろんな意見が出ました。30と31というのが数字が若干違うだけでほぼ同じ内容ですけれども、30年度1年間やることによって、前年度、29年度との子どもたちが受ける影響のようなものも加味して31年度はこういう予定にしているのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 人材配置につきましては、当然多ければ多いほうがより手厚くできるという現状はあると思うのですけれども、ただ現在いろんなさまざまな要件の中で30年度やってくる中で学校の様子いろいろ1年間見てくる中で子どもたちがこれによって取り立てて大きな問題につながってしまったということはないのではないかなというふうには考えてはおります。ただ、先ほど来申し上げているように不登校の児童生徒というのは非常に多くいるものですから、来年度はその不登校児童生徒が新たに出ないように、そこに力を注ぎたいということ、それから特別支援対象の子どもも増えてきていることありますので、特別支援に対する早期対応をして、二次障害等につながらないように、ひいてはそれが不登校等につながらないようにというふうなことを考えての配置を考えました。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 事業名でふれあい教室事業というのがありますがけれども、それは今の不登校児対策ということですか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 ふれあい教室は、学校に足が運べない子どもたちがその間をつなぐものとして通う施設ではあります。実際そこに通っている子どもたちも大勢いるのですけれども、ただ一方でふれあい教室にも行けていない子どもたちもいるものですから、なお一層そこには力を注いでいきたいなというふうに考えております。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） ちょっと休憩願います。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時05分 休憩

10時08分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。  
勝又委員。

○委員（勝又 豊） 育英奨学金貸付事業が減額ということでお聞きしたいのですが、先ほど応募者が減っているのですけれども、減額ということなのでも、優秀な人材を育成することを目的とするということで育成奨学金貸付事業があると思うのですけれども、ちょっとそういった応募者が少ないということに対してどのような見解を持っているかをお聞きしたいです。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 応募者につきましては、新規広報する中で受付は毎年しているわけなのですが、今まで大学生を10人分という形で予算化していたものを、実際に大学生ばかりではなくて、応募してくる中には高校生であるとか、専修学校等も入ってくるものですから、実際に今までの実績として10名そのものの大学生を新規として受けたということが最近ここ数年間なかったのです。ニーズとしてはいても予算としては大学生10人分の予算はとらなくても済むという状況があったものですから、したがって大学生8人分の予算でやれるのではないかとというふうなことで予算計上しました。

（「ちょっと休憩をお願いします」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時10分 休憩

10時11分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

ほかは。

岩井委員。

○委員（岩井良枝） 済みません。153ページ、休憩……

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時12分 休憩

10時12分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

岩井委員。

○委員（岩井良枝） 要望として、増員の要望は出したのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 増員というか、講師に関しましては、先ほど申しましたように向田小学校については、他の同規模の学校と同じ講師の数でやっていけるというふうに見込みまして、その分をと言ったら変なのですが、特別支援と、それから不登校対策にということで、そこに手厚くするというふうな方向を考えました。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時13分 休憩

10時13分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

学校教育課長。

○学校教育課長 講師の数につきましては、現状に見合った形でよりよいものを求めてということで考えて、特に増員については出しておりません。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○委員（岩井良枝） 子どもたちの影響のところをお話いただきましたが、教職員に対する多忙化のところでは影響というのものなかったということによってよろしいですか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 確かに市の講師の方は、10時間程度の単独授業を持てるというふうな状況もありますので、その分については授業を県費の教諭のほうがその分を持つというふうなことで、正直その時数に関しましては、10時間分を学校全体で持たなければいけないというふうな状況は生まれますので、減員してしまった学校については、その分は背負う形になるのですが、裾野市以外ではなかなかこれだけ多くの市の講師を雇用しているところはないものですから、他市町の状況にちょっと近づいてしまったというふうな状況はあるとは思いますが。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○委員（岩井良枝） わかりました。先ほどから不登校の子どもたちのお話が出ています。今現在小中学校不登校の子どもたちの人数の把握はされていますでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 小学生が今年度23名、中学生が60名です。済みません。補足します。2月までの不登校ということで小学生が23名、中学生が60名です。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○委員（岩井良枝） 以前にお伺いしたときにも長期の不登校の子どもたちが増えたというお話がありましたが、現在長期で不登校になっている子どもたちはどのぐらいいるのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 欠席日数が100日以上の子童生徒は小学生が3名、中学生が28名となっています。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

- 委員（岩井良枝） 156ページのところで、生徒指導対策交付金ということで予算がついています。その中に不登校の子どもたちを減らすためのさまざまな活動するためのところに使うお金だということでしたけれども、具体的に不登校の子どもたちに対する対策というのは来年度何か考えていらっしゃいますでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 学校教育課長。
- 学校教育課長 1つは、不登校の推移を見ていくと、小学6年生から中学生になったときに、中学校に入ってから不登校者が非常に多く増えているというのが現状で見受けられます。したがって、小学校から中学校への引き継ぎをする段階で小学校のときに6年生の卒業時点だけではなく、以前に不登校の傾向があった子どもたちに対しての引き継ぎ、そういうふうな不登校歴がありましたよというようなことに対することを中学校に丁寧に引き継ぎをして、中学校でもその子が、例えば欠席があらわれたときとかに素早く対応していく、もしかしたらというふうなことを常に考えながら対応するというので、まずは未然の防止に力を注ぎたいということ。それから、不登校の中にはやはり人間関係であるとか、ふだんの生活が充実していないこと等もあると思うので、魅力ある学校づくりに取り組むこと、それと後先ほど申しました不登校になってしまった後の適応指導教室の相談体制を充実させること等を考えております。
- 委員長（杉山茂規） 三富委員。
- 委員（三富美代子） 最初のときに教育長の31年度の教育方針の中のお話の中で、がん教育を推進していく旨のお話がございます、この31年度の予算の中ではどんな措置がされているのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 学校教育課長。
- 学校教育課長 今回は、予算措置はしておりませんが、南小学校と深良中学校のほうを指定校とさせていただきます、1年間試行をさせていただきます。その中で既に6月、ちょっと今日にちがはっきりしないのですが、6月に南小学校のほうで鹿児島県のほうからがん教育の先進校の先生を招いて、そこで授業等を行ってもらう予定が立っております。
- 委員長（杉山茂規） 三富委員。
- 委員（三富美代子） そうしますと、深良のほうはこれから内容が決まってくるということですか。
- 委員長（杉山茂規） 学校教育課長。
- 学校教育課長 そのとおりです。
- 委員長（杉山茂規） 三富委員。
- 委員（三富美代子） 推進のほうよろしく願いいたします。終わります。

- 委員長（杉山茂規） 岩井委員。
- 委員（岩井良枝） やっぱり講師のところでお伺いしたいのですが、再来年の4月、2020年の4月から会計年度任用職員が導入されるということなのですけれども、それについては人事課のほうから何かお話は来ていますでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 学校教育課長。
- 学校教育課長 正直言って今ここについては検討している段階でして、市の講師支援員等については、フルタイムではないということなものですから、パートタイマーのカテゴリーに入るのではないかなというふうに思うのですが、ちょっと会計任用職員につきましては、私ども今研修中でして、この辺についての対応については今後検討していくというふうなことで、現在のところはまだそういう段階でございます。
- 委員長（杉山茂規） 岩井委員。
- 委員（岩井良枝） 済みません。休憩中でいいのですが、ちょっと会計年度……休憩中で。
- 委員長（杉山茂規） 休憩してもいいですか、今。
- 委員（岩井良枝） はい、休憩で。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時20分 休憩

10時21分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開します。  
以上で委員の質疑を終わります。  
分科会外委員の質疑をお受けいたします。1人1つ、3回まででお願いいたします。  
増田委員。
- 分科会外委員（増田祐二） 済みません。教育総務課のほうでも少し伺った内容なのですけれども、プログラミング教育について、31年度どのような方向で進むかということをお教えいただきたいです。
- 委員長（杉山茂規） 学校教育課長。
- 学校教育課長 プログラミング教育につきましては、主に小学校の学習指導要領の中に述べられているところをもとにしながら推進していく考えでございます。具体的には今まで教育機器研究委員会というのがあったのですけれども、それを3年間休止しまして、プログラミング教育推進委員会というふうに名称を変えて、まずは組織立てをしまして、でもってその委員会のほうでプログラミング教育の導入についてどのようなことができるかというふう

なことを検討していく考えでございます。今現在考えていることにつきましては、学校のほうと市内の小中学校のパソコン教室のパソコンにScratchというソフトを入れて、そちらのほうを運用していく考えはあります。それからあと、今年度も沼津高専さんのほうの協力を得まして、プログラミング教育の講座のほうを夏休みに実施していきたいというふうに考えております。

以上です。

○委員長（杉山茂規） 増田委員。

○分科会外委員（増田祐二） これで最後にします。

教育総務課のほうの予算でタブレット型というか、液晶部分が脱着できるパソコンを購入されるというふうなお話がありましたが、あれは直接今まだ活用される段階には来ていないというふうな格好で認識してよろしいですか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 現在各学校には6台のタブレットが支給というか、されていまして、それは現在いろんな授業等で、主に写真や動画等を撮って、それを振り返りに使ったりとか、拡大してそれを授業の中で生かしたりというふうなことは使用しているのですが、今後そういうふうなことを含めて、切りかえていく中で広げていきたいというふうには考えてございます。

○委員長（杉山茂規） 佐野委員。

○分科会外委員（佐野利安） 154ページの負補交、人間ドック検診負担金136万2,000円これ対象者は。

○委員長（杉山茂規） ○学校教育課長 障害

○学校教育課長 ちょっと暫時休憩。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時24分 休憩

10時24分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

学校教育課長。

○学校教育課長 来年度108人を予定しています。

（「ちょっと待ってください」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時24分 休憩

10時24分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

学校教育課長。

○学校教育課長 人間ドックは、年齢の指定がありまして、35、38、41、42、43、44……

（「ゆっくり言ってください」の声あり）

○学校教育課長 ゆっくり言います。35、38、41、42、43、44、46、47、48、49、52、53、54、56、57、58及び60歳以上の希望する教職員となっております。

○委員長（杉山茂規） 佐野委員。

○分科会外委員（佐野利安） わかりました。この人間ドック検診負担金って市の職員はこの負担金ってないのですけれども、なぜここで負担金出しているのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 これは、共済組合のほうから検査費用として1人3万円が負担してもらえまして、共済組合に市のほうから負担金として1万895円を1人支払って、残額は受診者が支払うという形になっております。

○委員長（杉山茂規） 佐野委員。

○分科会外委員（佐野利安） わかりました。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

二ノ宮委員。

○分科会外委員（二ノ宮善明） お願いします。156ページの育英奨学金貸付でございまして。現在の鈴木忠治郎育英基金総額教えてください。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 暫時休憩をお願いします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時26分 休憩

10時28分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

学校教育課長。

暫時休憩します。

10時28分 休憩

10時28分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

学校教育課長。

○学校教育課長 済みません。今ちょっとわからないものですから、後ほど提示をいたします。申しわけございません。

○委員長（杉山茂規） 二ノ宮委員。

○分科会外委員（二ノ宮善明） 大体1億1,000とか2,000の残が毎年あるのですけれども、これの貸し付けが大体10分の1ぐらいしかの貸し付けなのですが、あと9割有効でかつ効果的な使い方を考えたことがありますか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 済みません。暫時休憩。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時28分 休憩

10時29分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

学校教育課長。

○学校教育課長 この基金に関しましては、裾野の、現在もそうなのですが、未来にわたる子どもたちのために有効に活用していくというふうな視点で捉えてはおります。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

（「いや、まだ今答えてもらっていませんけど」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時30分 休憩

10時31分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

質疑取り消しということで。

（「質疑を取り消します」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 二ノ宮委員。

○分科会外委員（二ノ宮善明） それでは、先ほど委員のほうからもありました、日本学生支援機構の奨学金という話がありましたけれども、奨学金でなくて私はこれはブラック教育ローンだと思っているのですが、そういうものを借りている方にこの忠治郎育成基金のほうに乗りかえていただくというような広報、先ほど広報という話が出ましたけれども、そういうようなのはいかがでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 今のところそういうふうなことはやっておりませんというか、考えはないのですけれども。

- 委員長（杉山茂規） ほか、次の方。  
賀茂委員。
- 分科会外委員（賀茂博美） 済みません。委員からも少しご質疑出たのですが、今日いただいた市講師の配置の件です。今年度平成30年度は市講師のほうを各学校約1人ずつ削減したことで非常に大きな影響があったのかなというふうに思っているのですが、この31年度の予算を組むに当たって各学校に対する聞き取りというのはまず行われましたか。
- 委員長（杉山茂規） 学校教育課長。
- 学校教育課長 現状についての把握はしていたつもりなのですが、講師等についての取り立てた、取り上げてそのことに関してだけの希望というのは特には聞いてはおりません。予算措置への希望は聞いております。
- 委員長（杉山茂規） 賀茂委員。
- 分科会外委員（賀茂博美） では、予算措置への希望ではどういったご意見がありましたか。
- 委員長（杉山茂規） 学校教育課長。
- 学校教育課長 人材の配置の充実ということについてはありました。
- 委員長（杉山茂規） 賀茂委員。
- 分科会外委員（賀茂博美） でも、現状維持をしていただいたことは最低限必要かなと思っていましたので、かつ今回不登校への対応と特別支援の対応を大きくしていきたいということなのですが通級教室に関しては来年度の体制はどのように考えていらっしゃいますか。
- 委員長（杉山茂規） 学校教育課長。
- 学校教育課長 通級指導教室に関しましては、従前からあったことばの教室の東小に関しては以前と同じように幼児の部と、それから県のほうの学童の部があります。それから、西小学校に本年度配置されていましたが特別支援の通級指導教室につきましては、非常に通級者の対象者も多くなってきたこともありまして、正式にもう一学級通級指導教室を富岡第一小学校のほうに配置をいたしまして、ただ全市をまたぐものですから、富岡第一小学校を拠点としながら、向田小学校にサテライトという形で週1日ないし2日を向田小学校のほうにも指導員が来ていただいて、そちらのほうにも開設をするというふうな形で考えております。
- 委員長（杉山茂規） 次の方お願いします。  
井出委員。
- 分科会外委員（井出 悟） 学びの森のことなのですが、平成31年度の学びの森の事業の中で、市配置される学びの森を除く56名の市講師のうち、学びの森で教育力を高められる該当の方って何名ぐらいなのか。

(「済みません。ちょっと暫時休憩お願いします」の声あり)

○委員長(杉山茂規) 暫時休憩いたします。

10時35分 休憩

10時35分 再開

○委員長(杉山茂規) 再開いたします。

学校教育課長。

○学校教育課長 来年度につきましては、今後学びの森のほうと各学校のほうとで調整をしていくのですが、30年度でもよろしいでしょうか。30年度……

○分科会外委員(井出 悟) 31年度をどうするのですかと聞いているのですが、けれども。

○委員長(杉山茂規) 暫時休憩いたします。

10時36分 休憩

10時36分 再開

○委員長(杉山茂規) 再開いたします。

学校教育課長。

○学校教育課長 31年度の市の講師の配置がされた後、校長、それから本人の指導力等を見まして、学びの森のほうにつないで、年3回程度の指導訪問を受ける対象者を決めていったりします。何人になるかというのは配置された状況を見ないとわからないものですから、誰が来るかとかによっても変わってくるものですから、市の講師もそういうふうな形で学びの森の指導訪問対象にはなります。

○分科会外委員(井出 悟) 県職員と市の職員、市の講師とで割合があると思うのですがけれども、県の講師の部分に対して、例えば県の教育等から財源をしっかりと獲得してくるとかいう、そういうのはご検討というのはされているのですか。31年度に関して。31年度の予算に向けて。暫時休憩お願いします。

○委員長(杉山茂規) 暫時休憩します。

10時37分 休憩

10時37分 再開

○委員長(杉山茂規) 再開いたします。

学校教育課長。

○学校教育課長 例えば30年度の例で申しますと、小学校市の講師は12名のうち校長が対象外とした者を除外した4名が訪問を受けて、各校の希望や実情

に合わせて、年1回から3回訪問指導を受けました。中学校の講師につきましても、8名中校長が対象を除外した者を除いて3名に対して訪問し、やはり各校の希望や状況に合わせて年2回から3回ずつ実施をしております。それ以外に、市の講師研修というのを1回行ってあります。

以上です。

○委員長（杉山茂規） 井出委員。

○分科会外委員（井出 悟） そういう意味だと、先ほどの質疑でも繰り返してしまいますけれども、県の職員等の指導等も十分されると思うのですが、そういう部分に対して県の財源等を要求するとか、そういうような政策等の検討はなかったですか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 県の職員に関しましては、既に県教育委員会の地域支援課等によって訪問研修があったりとか、あるいはセンターに行つての研修会が企画されておまして、悉皆研修、もしくは自主研修等で行つておりますので、そのような形で研修の充実はしております。

（「それ違います」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時39分 休憩

10時41分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

学校教育課長。

○学校教育課長 今までそういうふうな視点での要望というのはしていなかったものですから、今後そういうふうな形で研修の支援という形を県のほうに要望していきたいと思っております。

○委員長（杉山茂規） 小林委員。

○分科会外委員（小林 俊） 156ページ、先ほど委員からも質疑がありました部活動等推進事業交付金、これ実際には、例えば深良中で陸上部がないから富岡の中学校行って陸上の練習するというようなことに対して教育委員会はどのような対応をしているのですか、進める立場ですか、いや、関与しない立場ですか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 基本的には学校間でのやりとりになって、保護者、事故等も含めて保護者負担もかなりあるものですから、その辺の共通理解をもってすれば、それについては教育委員会がそれに対して何かをすることか、あるいはとめるとかというふうなことは特にないのですけれども、現状やっぱり子ど

もたちの部活動を活動をさせてあげたいという思いはあるものですから、それをサポートする側にはなると思います。

- 委員長（杉山茂規） 小林委員。
- 分科会外委員（小林 俊） サポートする側にはなるかもしれないけれども、サポートしているかどうか、そこのところはどうですか。
- 委員長（杉山茂規） 学校教育課長。
- 学校教育課長 具体的なサポートを何かしているかと言われたら、そこにしては具体的な形でしているわけではないので、それを……特に何かしているかと言われたらしていません。
- 委員長（杉山茂規） 小林委員。
- 分科会外委員（小林 俊） チームスポーツは、中体連なんかで今学校ごとの出場になっていると思うのですけれども、つまり陸上なんかは富岡行って練習しても深良中学校の所属で試合に出れますよね。だけれども、野球なんかは所属学校単位の出場になっていると思っているのですけれども、そういうことに対してはやっぱり教育委員会のほうで一生懸命サポートしていかないと、例えばクラブチームで出場を認めてくれというふうに動くとか、あるいは深良と富岡で、どこでも一緒にいいのですけれども、合同チームでチームで中体連出れるように、試合に出れるようにしてくれとか、そういうサポートをしていってほしいのですけれども、どうですか。
- 委員長（杉山茂規） 学校教育課長。
- 学校教育課長 既にそういうふうな形で中体連に出場しているところもありますので……
- 分科会外委員（小林 俊） それは県内で。
- 学校教育課長 もちろんです。ですので、今年もそういうのありましたし、例えば今で言えば深良富岡合同チームという形での参加はできます。
- 分科会外委員（小林 俊） それを進めていってほしいのです。
- 学校教育課長 そういうふうな声があったら進めますけれども。
- 委員長（杉山茂規） よろしいですか。

以上で分科会外委員の質疑を終わります。

以上で第1号議案のうちの関係部分に関する質疑を終わります。

これより第1号議案のうちの関係部分について意見を伺います。賛否に関する意見はございますか。

（「なし」の声あり）

- 委員長（杉山茂規） 分科会外委員の意見はございますか。

（「なし」の声あり）

- 委員長（杉山茂規） 以上で第1号議案のうちの関係部分に関する意見を終

わります。

以上で学校教育課の質疑を終わります。

以上で、教育部関係の議案の質疑を終わります。

暫時休憩いたします。

#### 学校教育課（答弁漏れ）

○委員長（杉山茂規） 学校教育課より答弁漏れについて発言の申し出がありましたので、これを許します。

学校教育課長。

○学校教育課長 午前中回答を保留いたしました鈴木忠治郎育英奨学金の基金残高ですが、1億1,600万円でございます。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長の説明は終わりました。

委員の皆様よろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 二ノ宮委員もよろしいですか。

（「はい、ありがとうございます」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 以上で答弁漏れについて終わります。

暫時休憩いたします。

13時25分 休憩

13時25分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

健康福祉部

健康推進課

○委員長（杉山茂規） 説明は終わりました。

質疑に入ります。質疑はありませんか。

浅田委員。

○委員（浅田基行） よろしくお願いいたします。96ページの19節負担金、補助及び交付金の不妊・不育治療助成というところなのですけれども、こちらの予算なのですが、昨年の29年度の実績から見るとちょっと予算が今年度、31年度少ないといえますか、ように感じるのですけれども、何か根拠があつての予算の見方なのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 暫時休憩をお願いします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時25分 休憩

11時26分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

健康推進課長。

○健康推進課長 不妊治療につきましては、29年度は増えておりますけれども、30年度実績見込みから27年度程度の件数、金額ではないかということで積算をしております。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） それはなぜといえますか、その27年度にしたという理由は何かありますか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時26分 休憩

11時26分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

健康推進課課長代理。

○健康推進課課長代理 27年度ベースというよりは、予算を立てる時期に前年度の実績を取りまとめをしたところ、およそそれくらいの金額で来年度が見込めるのではないかという判断を担当がしました。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） そういう意味からすると、27年というよりは、まだ出ていないのですけれども、今年度、30年度と言えればいいのですか、の実績ベース

で立てたというニュアンスのほうがいいということでしょうか。認識でいいということですか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課課長代理。

○健康推進課課長代理 おっしゃるとおりです。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

浅田委員。

○委員（浅田基行） 続けて197ページの委託料のところで、食育と……

○委員長（杉山茂規） 97ページですね。今197と言いましたが、97ですか。

○委員（浅田基行） 197と言いましたか。

○委員長（杉山茂規） 197と言いましたけれども、97。

○委員（浅田基行） 済みません。97。

○委員長（杉山茂規） 97で。

○委員（浅田基行） 97の13節の委託料、食育と生活習慣アンケート調査委託というところが新しく今回31年度計上されていますが、この委託は、済みません。説明あったかもしれませんが、お願いします。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 平成32年度に健康増進プランの見直しが控えております。それに先立ちまして、平成31年度につきましては、食育と生活習慣に関するアンケートを調査したいと考えておりまして、こちらの分を委託として計上しております。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） これ対象というのはどういった方が対象ですか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 アンケートにつきましては、無作為抽出で1,000名程度を予定しております。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） それをアンケートした後はどういうことに、囑託という、具体的に何か活用というか、事業といいますか、生かすのはどういう形になるのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 平成32年度の健康増進プランに反映するための基礎資料として使う予定でおります。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） その下の19の負担金、補助及び交付金で、31年度はヘルシーパークの無料券利用が廃止するというので、全市民といいますか、これまで場合によって特にお年寄りの方などはこれを楽しみに配付されて使っ

ているということ聞く中で今回廃止になるのですけれども、これにかわる何かサービスみたいなもの、もしくはどうしても廃止しなければいけない、済みません。一問一答になっていないですね。まずは廃止になった理由とといいますか、どういう形で廃止という判断をしたのか教えてください。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 12月にも報告をさせていただいておりますけれども、利用率が毎年25%前後で推移してきております。市民全体に行き渡っているといったようなことがちょっと見受けられなかったものですから、これを廃止という判断といたしました。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 全体25%は難しいところかもしれませんが、やっぱりその中でもこれを楽しみにされているという市民の方がいる中でいきなり廃止という一つの決断かもしれませんが、何かかわりのものというお考えはしなかったのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 新たなサービスの創設というところは今回これを廃止するという意味合いに反してしまうため、サービスの創設ということは考えませんでした。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 要望でいいです。できればやっぱりヘルシーパークを使っていたということが大事だと思うので、また何かその辺のかわったもののサービス、出るようぜひ考えていただければと思います。これは要望だけで。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） では、同じくそのページの下の予防事業費の中の13節委託料なのですけれども、インフルエンザのワクチンの予算、接種委託の予算が31年度減っているのですが、これはどういった理由でしょう。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 平成30年度の実績をもとにして計算をしております。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） これは実績で計上したというか、どれぐらい、母数というのですか、どれぐらいをやはりインフルエンザをしている率みたいなものがあるのですか。実績が高い低いみたいな教えてほしいのですけれども。

（「暫時休憩お願いします」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時32分 休憩

11時34分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。  
健康推進課長。
- 健康推進課長 接種率が50から60ぐらいで推移してきております。その中から前年度の摂取率等を加味しながら今回の金額を計上しております。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） 50から60%ということなのですから、それを上げるといいますか、接種率の向上をさせるというようなお考えはあるのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 健康推進課長。
- 健康推進課長 広報等にももちろん掲載はしておりますし、インフルエンザの予防接種、対象者には全部通知を個別に発送を行っておりますので、そういう意味では周知は十分されているのではないかと考えています。
- 委員長（杉山茂規） 勝又委員。
- 委員（勝又 豊） 97ページですか、98ですか、高齢者肺炎ワクチンの見直しがされたということを先ほど言われていましたけれども、どの点を見直されたのか。

（「暫時休憩お願いします」の声あり）

- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩いたします。

11時35分 休憩

11時36分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。  
健康推進課長。
- 健康推進課長 予算編成時点では国から示された高齢者肺炎球菌ワクチンの接種の継続等が不明瞭であったため継続の一部中止といったところを加味しながら計上をしております。
- 委員長（杉山茂規） 勝又委員。
- 委員（勝又 豊） そうすると、増額になる、予算よりも増えるという可能性があるということによろしいのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 健康推進課長。
- 健康推進課長 その可能性はございます。
- 委員長（杉山茂規） 勝又委員。
- 委員（勝又 豊） 健康マイレージ事業の見直しということで、位置づけ的には廃止というふうなことでこれから推移するかと思うのですけれども、そ

の辺の見直しの内容をお願いします。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 健康マイレージ事業の見直しにつきましても、12月に報告をさせていただいておりますけれども、健康マイレージ事業につきましても、国保年金課、国保のインセンティブ制度の一部となっておりますので、マイレージ事業自体の廃止は行いません。ただ、マイレージ事業の達成者へヘルシーパーク裾野、もしくはグリーンカフェ花麒麟の利用可能な500円分の利用券は配付してきておりますけれども、この配布は中止させていただくことにより減額をさせていただいております。また、マイレージ事業につきましても、県事業のふじのくに健康いきいきカードの配付につきましても、従来どおり行ってまいりたいというふうに考えております。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

土屋委員。

○委員（土屋秀明） 今のマイレージですけれども、配付そのものをやめるといことで、各種事業にインセンティブでこれつけてやっていますよね、今まで。それそのものは継続するということなのですか、マイレージ。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 健康マイレージカードの1枚目の達成者につきましても、従来どおり県のふじのくに健康いきいきカード、これ各種割引が受けられるようなカードになっておりますので、こちらのほうを付与することでインセンティブにかえられるというふうに考えております。また、2枚目以降の達成者につきましても、事業者のご協力いただきまして、景品等を提供していただいております。これにつきましても、今後も事業者等に協力を仰ぎまして、引き続き景品等を提供していただいております。達成者には抽せんで景品をお渡しするといったことを続けていきたいと考えております。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） ちょっと私頭があれなのですけれども、そうすると行財政改革のこれに廃止の事務事業の幾つかの中に主なものとして入っているのは金額は入れていないにしても。これは32万3,000円でしたっけか。その事業は予算的にはやめるのだけれども、基本的な取り組みは今までの従来と変わらずにやっていると、そういうことなのですか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 おっしゃるとおりです。事業自体は引き続き行ってまいります。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 同じ廃止の中に先ほどヘルシーパークの割引無料券廃止

がありましたけれども、裾野市は冠に健康文化都市という冠をつけて、その象徴としてヘルシーパーク、お湯の事業に取り組んできていて、ヘルシーパークをさらに運営していく中で少しでも利用券を多くということはきっと今までのヘルシーの無料券の配布の事業の一つだったと思いますけれども、利用率が20%を切っているからということで、それだけでやめるというよりも逆に言うと利用率が低いのは利用率をもっと上げるようにしていた施策の、それはどちらが抜けていたということではないですか。

- 委員長（杉山茂規） 健康推進課長。
- 健康推進課長 利用率ですけれども、ここ五、六年ですけれども、やはり25%前後を推移してきております。ヘルシーパークのこの無料利用券なのですけれども、実際に使われている方の傾向を見ますと、リピーターの方がほぼ利用されているという形になっておりまして、なかなか新規の方がヘルシーパークの利用をしていただけないといった状況が続いておりました。また、ヘルシーパークの無料券掲載されました広報紙が出ると、広報紙、ふだんは広報紙を要らないといっているような方がその広報紙をとりに来るといったことも多々見受けられましたものですから、そういうことを鑑みまして、廃止やむなしというふうに判断をさせていただきました。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 無料券を廃止することは、逆に言うと費用的なものは別にしまして、ヘルシーパークの利用者をさらに少しでも多くしようという別の考え方のような、策のようないろいろは新年度考えているのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 健康推進課長。
- 健康推進課長 指定管理者との話し合いの中で少しでも利用率を上げるような事業を打っていかうということは話はしております。ただ、なかなかお風呂につきましては飽和状態といったような状態でございますので、指定管理者とはお風呂以外の部分、主にはプールの利用なのですけれども、プールの利用率を上げていただきたいといったことで企業等にも働きかけるようにという話はしております。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 別の項目ですけれども、95ページに裾野赤十字関係の各種の補助金がありますけれども、新年度は従来とはまた別の新たなメニューのようないろいろはこの中に入っているのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 健康推進課長。
- 健康推進課長 赤十字病院の補助金につきましては、前年度と同じ内容、同じ額で計上してございます。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 今までのこういう予算等の審議の中にも赤十字病院に出している補助金に見合うだけの成果が上がっているのか、あるいは期待できるのかということが幾つかありましたけれども、先ほど新たなメニューはないということですが、従来は今までと同様な内容で市民が赤十字病院をより多く使おうというような気持ちに変化を起こすようなことにできるのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 医療費整備の補助金につきましては、診察に必要な医療機器等を新たに購入したりしておりますので、そういう意味では市民サービスは十分できているのかなというふうに考えます。また、医師確保等支援事業費ですけれども、こちらにつきましては、医師に事務補助をつけるような形で今使っておりますけれども、これによりまして、医師への負担が少しでも減ればその分医師も確保できるのではないかと考えておりますので、引き続き補助を行ってまいりたいというふうに考えております。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 94ページに新生児の聴覚、耳の検査の費用出ますけれども、これまだ比較的新しい事業だと思いますけれども、まずこの委託料の想定している対象の子ども数というのは何人ぐらいですか。

（「暫時休憩お願いします」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時45分 休憩

11時46分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

健康推進課長。

○健康推進課長 新生児聴覚検査2種類ございまして、APR、こちらの検査240人を、それからOAEという検査につきましては、160人を見込んでおります。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 合わせると400人ですか。これは新生児そのものの全てをという、そういう想定ですか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 想定としては、新生児全てに聴覚検査を行うといった形になります。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 生まれてすぐの赤ちゃんの場合にはたしか耳の聴力なん

ていうのは脳波か何かで検査するのでしょうかけれども、早く病気を見つけることによって、要するに難聴等にならないのが早く手を打って、全治というか、よくなるという、そういうことなののでしょうか。

- 委員長（杉山茂規） 健康推進課課長代理。
- 健康推進課課長代理 全治といたしますか、早くに対応することによって、専門の相談機関と連携しながらその子の療育を早く進めるということで、社会生活がスムーズに送れるような状況を目指すという形になります。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） その検査の結果ということもあるのでしょうかけれども、扶助費に22万円載っていますけれども、これはその要するに低所得者に対してということですか、それとも該当する子ども全てのものがこの対象と、そういうことですか。
- 委員長（杉山茂規） 健康推進課長。
- 健康推進課長 新生児聴覚委託というのは、あくまでも委託契約をしてございますので、その委託契約以外、例えば里帰り出産等された方につきましては、戻ってきてから申請していただくというような形で聴覚検査を行っております。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） このページの中でいいと思うのですがけれども、つい先ほど新生児の虐待の事件が市内でも取り沙汰されましたけれども、その際に健康推進課のほうで訪問をしていた中でその赤ちゃんは特に異常はなかったよというような話だったのですけれども、生まれた子ども、あるいは妊産婦、お母さん等の、生まれた直後等に回っている中で、多少の、これはというのは、ちょっと正常ではないよというようなのは大体何%ぐらいあるのでしょうか。

（「暫時休憩お願いします」の声あり）

- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時49分 休憩

11時52分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。  
健康推進課課長代理。
- 健康推進課課長代理 約1割ぐらいは気になるお母様方はいると思います。実際には妊娠中から気になる方がおりますので、もう少し数は増えてくるかと思えます。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 最後ですけれども、福祉保健会館の改修の関係ですけれども、先日現場に行きまして、先ほど31年度は主に空調、現場に行ったときもそういう話ありましたけれども、今の福祉保健会館の中にお風呂、浴槽も含めてですけれども、そこは改修をするような、とりあえずはそういうあれは過ぎているということですか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 お風呂につきましては、健康推進課の予算ではなく、社会福祉課の予算のほうで運営をしておりますので、社会福祉課のほうで判断するかなというふうに思います。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

勝又委員。

○委員（勝又 豊） 先ほどの委員の質問の中でヘルシーパーク無料券の廃止、それにかわるものは考えていないという発言でしたけれども、割引、いきなり廃止ということではなくて、割引券を配布するとか、そういうふうな検討はなされなかったのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 割引券のその割り引いたものをどこが負担するかというような問題にもなっております。例えばそれを指定管理者側のほうで割り引いた分負担しますという話であればそれはそれでいいのですけれども、それにつきましてはまた指定管理料等を見直す必要も出てまいりますので、なかなか割引券を出すといったことはすぐにできないといった状況でございます。

（「暫時休憩でお願いします」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時54分 休憩

11時55分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

勝又委員。

○委員（勝又 豊） ヘルシーパークを利用してもらうということに対する考えはありますか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 ヘルシーパーク利用につきましては、割引券の利用等も一部考えたのですけれども、割引券の割り引いた分を指定管理者側のほうで負担するのか、市のほうで負担するのかという結論が出なかったものですから、今回は見送らせていただいております。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

三富委員。

○委員（三富美代子） 102ページのほうです。こちらで11節の需用費のところ  
で乳がん検診用の啓発品の購入というお話がございましたですけれども、ど  
のようなものを購入される予定ですか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 乳がん検診の対象者年齢が変わりました。従来対象者であつ  
たものにつきましては、乳がんのセルフケアができるようにブレストケアグ  
ラブ、それからリーフレット、これを送付しまして、啓発を行う予定でおり  
ます。

○委員長（杉山茂規） 三富委員。

○委員（三富美代子） 啓発品のことについてはわかりました。毎年行われて  
いるのがん検診の受診率という、向上に向けてやはり31年度も取り組みれ  
ていかれると思いますけれども、この31年度受診率向上に関してはどのよう  
なふうに進めていかれるお考えでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 受診率の向上につきましては、広報、それから街頭での啓発  
等により行っておりますけれども、なかなか受診率が上がっていかないとい  
ったような状況ではあります。今後なのですけれども、個別勧奨等もしてい  
く必要はあるのかなといったように考えてはおります。県の政策としまして  
は、一時の受診率よりは精検受診率を上げなさいというふうに言っております  
ので、精検受診率のほうも合わせて上げていきたいというふうを考えてお  
ります。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

岩井委員。

○委員（岩井良枝） 102ページ、負補交のところは何います。健康アンバサダ  
ー養成講座のところ、認定料がかかるということで予算化をされたという  
ことですが、今年度初めての事業でよろしいですか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 平成30年度から始めた新しい事業になります。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○委員（岩井良枝） 昨年11月に多分90人定員で行われていると思うのですけ  
れども、受講の数はどうだったのでしょうか。

（「暫時休憩お願いします」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩いたします。

11時59分 休憩

11時59分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。  
健康推進課長。
- 健康推進課長 受講者は、30人程度、済みません。正確な数字はちょっと今持ってこなかったのですけれども、30人程度というふうになっております。
- 委員長（杉山茂規） 岩井委員。
- 委員（岩井良枝） この講座について、多分講師の先生なんかに来ていただいているのだと思うのですけれども、今後も認定料だけの負担金ということでは事業は続けていかれるということですか。
- 委員長（杉山茂規） 健康推進課長。
- 健康推進課長 健康アンバサダーにつきましては、認定料以外にも健康アンバサダー通信というものを送らなければならないといったようなこともございまして、それらの発行も引き続き行っていきたいというふうには考えております。

（「休憩でいいですか」の声あり）

- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

12時00分 休憩

12時00分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。  
健康推進課長。
- 健康推進課長 講座の開催につきましては、予算等は必要ないというふうになっております。
- 委員長（杉山茂規） 岩井委員。
- 委員（岩井良枝） 96ページ、これも今年度から始まっているのだと思うのですが、委託料のところ産後ケア委託というところが若干金額が増えています。中身的に宿泊型のケアをするということで、市内にはそういう場所がないということでしたけれども、利用された方はいらっしゃったということによろしいですか。
- 委員長（杉山茂規） 健康推進課長。
- 健康推進課長 平成30年度につきましては、ショートの利用が2泊3日でした。それからデイの利用、宿泊を伴わないものですが、3日間利用がありました。
- 委員長（杉山茂規） いいですか。  
岩井委員。
- 委員（岩井良枝） 産婦検診委託のところがちょっと金額のほうが減ってい

るのですが、これはその要因というのは何でしょうか。

- 委員長（杉山茂規） 健康推進課長。
- 健康推進課長 出生数が若干減ってきているのと、産婦検診を委託以外、先ほども申しあげましたけれども、里帰り出産等で委託した医療以外のところで受けた方は扶助費のほうに盛り込ませていただいております。
- 委員長（杉山茂規） 岩井委員。
- 委員（岩井良枝） 済みません。その下の扶助費については、里帰りということの金額でよろしいですか。
- 委員長（杉山茂規） 健康推進課長。
- 健康推進課長 はい、おっしゃるとおりで、こちらのほうは委託以外の医療機関等でやられた方、受けられた方に対します扶助費、償還払いというような形になります。
- 委員長（杉山茂規） 岩井委員。
- 委員（岩井良枝） 済みません。85ページで伺います。ちょっと休憩お願いします。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

12時03分 休憩

12時04分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。  
土屋委員。
- 委員（土屋秀明） ここ数年来風疹の流行している、あるいは最近はしかも多いのですけれども、予防事業の中で予防接種で新たな変化のようなものはこの中に入っているのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 健康推進課長。
- 健康推進課長 先ほども少し申しあげましたけれども、風疹の予防接種につきましては、国の政策が出てきたのが1月以降となっております、今現在も県や国に詳細を聞いておりますけれども、まだ詳細が判明していないといったような状況で、どのような形で実施するかということは決まっておりません。ただ、定期予防接種化に向けて動いているのは間違いございませんので、行く行くは対象の年齢、抗体率の低い方につきましては、定期予防接種化していくような形になると思います。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） インフルエンザ、今年もかなりはやりましたけれども、ワクチンがなくて行っても接種できなかったという年寄りも結構多かったのですけれども、その辺は医療機関頼みで市のほうとしては何らかこういう改

善策とあって、そういうものはないのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 ワクチンの保有数につきましては、各医療機関ごとにこちらのほうも把握していないのは事実でございます。ただ、医療機関には厚生労働省のほうからも通達が出ていると思いますので、その辺は医療機関のほうである程度確保していただいているのではないかというふうに考えております。市民からの問い合わせがあった場合各医療機関のほうに問い合わせをしまして、在庫がある医療機関のほうを随時お知らせしているといったような状況でございます。

○委員長（杉山茂規） 委員の質疑を終わります。

分科会外委員の質疑はございますか。

増田委員。

○分科会外委員（増田祐二） 済みません。1点お願いします。健康増進プラン、ページで言うと97ページのほうです。食育と生活習慣アンケートの調査委託をされるのが健康増進プランの改定に伴うものだとということでお話を伺いまして、食育推進計画のほうも同年度に期間としては改定になるのかと思います。これに向けてそのための調査をするということはわかるのですけれども、現段階で動いているアクションプランと推進計画の実行に向けて31年度は何かやられる事業というものはありますでしょうか。

（「暫時休憩お願いします」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

12時07分 休憩

12時08分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

健康推進課長。

○健康推進課長 5年間の計画に基づきまして、食育のほうは進めているのですけれども、来年度につきましては、企業との連携を少し密にしていこうかなという形で、今年度もやっておりますけれども、それ以上に進めていければなというふうに考えております。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○分科会外委員（勝又利裕） 済みません、1点だけ。行財政構造改革で次年度以降の取り組みということで借地の解消というのがあって、これ市全体のことなのでしょうけれども、健康推進でもヘルシーパークと福祉保健会館持っているのですけれども、その辺の新たな取り組みを考えていたら教えてください。

- 委員長（杉山茂規） 健康推進課長。
- 健康推進課長 今現在につきましては、このまま賃借を続けて行く予定でいるのですけれども、今週末の賃借の関係課長の打ち合わせもございますので、その辺を踏まえながらまた検討していきたいというふうに思います。
- 委員長（杉山茂規） 勝又委員。
- 分科会外委員（勝又利裕） ありがとうございます。よろしくお願いします。
- 委員長（杉山茂規） 岡本委員。
- 分科会外委員（岡本和枝） 96ページの委託料に関してです。出産日以降の検診で、規定の回数を超えた場合に今裾野市では自費分を助成ということがやられていると思いますけれども、それは今年度で終了しますというような広報がされているのですが、これはどういう廃止理由なのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

12時10分 休憩

12時10分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。  
健康推進課長。
- 健康推進課長 おっしゃっているのは14回を超えるものに対しての助成ということによろしいでしょうか。国の母子保健課長の通知の中で、公費負担に当たって望ましい検診回数等が示されております。それらの国の基準に従って受診した場合の回数が14回というふうになっておりますので、この基準に合わせて上限を14回までというふうにさせていただいております。
- 委員長（杉山茂規） 岡本委員。
- 分科会外委員（岡本和枝） それでは、今まで15回はやられていたわけですよ。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

12時11分 休憩

12時12分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。  
健康推進課長。
- 健康推進課長 14回を超えるものにつきましては、市の単独事業として補助を行ってまいりました。
- 委員長（杉山茂規） 岡本委員。
- 分科会外委員（岡本和枝） それでも実際には金額的にはどのくらいの助成だったのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

12時12分 休憩

12時12分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

健康推進課長。

○健康推進課長 平成29年度で35人、金額にすると14万円になります。

○委員長（杉山茂規） ほかの方。3回まででもう終わりましたので。

（「3回まで」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 3回まで。

二ノ宮委員。

○分科会外委員（二ノ宮善明） お願いします。97ページ、予防事業費のところの医薬剤医療費でございます。31年度の購入品目というのがわかりますでしょうか。

（「暫時休憩お願いします」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩いたします。

12時13分 休憩

12時13分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

健康推進課長。

○健康推進課長 期限の切れました救護所用の医薬品というものが主になります。内容につきましては、専門的なもので申しわけないのですが、各種薬、それから器官内に挿入するチューブ、それからあとは処理をする際の業務用のエプロン等の購入になります。

○委員長（杉山茂規） 二ノ宮委員。

○分科会外委員（二ノ宮善明） ありがとうございます。この医薬材料費は5年計画で充足させることになっておりまして、平成31年度は4年目になりますが、今ご説明があった期限切れになって廃棄するというようなものを購入していくということは、5年計画でやっていたのですが、もう既に充足をしているというお考えでよろしいですか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 充足をしているというふうに考えております。

○委員長（杉山茂規） 井出委員。

○分科会外委員（井出 悟） 84ページ、ヘルシーパークの管理運営の件ですが、けれども、暫時休憩お願いします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

12時15分 休憩

12時15分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

○分科会外委員（井出 悟） 今市でもデータ利活用とか、エビデンスに基づいた政策立案というのが推進されているのですが、31年度、ヘルシーパークの運営に関して入場者の市内、市外の状況とか、光熱水費の状況とか、そのような部分で何か改善を図ったりとかいうような部分はどのようになっていますでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 市内外の利用状況につきましては、今のところ市内外等の区別なく入場料を取っておりますので、今のところ区別ができていない状況になっております。ただ、指定管理者側のほうとも今後話し合いを持たなければならぬと思いますので、市内外の入場者数がわかるような形、アンケートのような形をとるのかなというふうには思いますけれども、少し統計情報をとっていききたいなというふうには考えています。

（「暫時休憩お願いします」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

12時16分 休憩

12時16分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

井出委員。

○分科会外委員（井出 悟） 光熱水費のほうは、プールと温泉の部分を確認するという部分についてはどのようになっていますでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 プール、それからお風呂の光熱水費の区分けにつきましては、今現状ではなかなか難しいものがございますので、できていないといった状況でおります。

○委員長（杉山茂規） 井出委員。

○分科会外委員（井出 悟） 特に運営をするような部分は、経営者というのですか、経営するという観点では光熱水費の確認をするというのが非常に大事だと思うのですが、その部分について、31年度どのようにするか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 プール、お風呂の区分なく利用している光熱水費につきましてはデマンド等で指定管理者のほうが管理しておりますので、例えば電力が使い過ぎているといった状況ですと、使っていないところを探して消すとか、細かな節電対策等はしております。また、プールにつきましてもプールの温度が下がらないようにということで、夜、夜間につきましてはシートをかけるなど省エネ対策等も行っておりますので、これらをもう少し推進しながら経過を見守っていきたいというふうに考えます。

○委員長（杉山茂規） 賀茂委員。

○分科会外委員（賀茂博美） 済みません。1点だけ。今のヘルシーパークの件ですが、平成31年10月に消費税の改定が見込まれていますが、利用者への入館料の見直しを来年度中は考えていらっしゃいますか。

○委員長（杉山茂規） 健康福祉部長。

○健康福祉部長 消費税が引き上げられるタイミングで料金改定をまず、これは消費税の転嫁分は考えております。それ以外の料金の見直しについては平成31年度に内部でまた検討してみたいと考えています。

○委員長（杉山茂規） 以上で分科会外委員の質疑を終わります。

以上で第1号議案のうちの関係部分に関する質疑を終わります。

これより第1号議案のうちの関係部分について意見を伺います。賛否に関する意見はございますか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 分科会外委員の意見はございますか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 以上で第1号議案のうちの関係部分に関する意見を終わります。

以上で健康推進課の質疑を終わります。

## 介護保険課（第1号）

- 委員長（杉山茂規） 説明は終わりました。  
質疑に入ります。質疑はありませんか。  
三富委員。
- 委員（三富美代子） 23ページの先ほどご説明いただいた16款1項3目の1節の中の介護保険低所得者保険料低減の負担金の関係です。今後何か条例ですとか補正もというお話があったのですけれども、その辺のところもう少し詳しくご説明願えますでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 介護保険課長。
- 介護保険課長 介護保険料は、政令でその金額等が決められている部分がございます。その政令開始が今月中が予定されているというふうに連絡を受けております。その政令の結果をもちまして、介護保険料の料率の改定、これは介護保険条例で金額を定めておりますので、その条例を改正するという議案、さらに当然ですが、その減額分に対する補填分の関係の補正予算案を同時に出す予定でおります。  
以上です。
- 委員長（杉山茂規） 三富委員。
- 委員（三富美代子） そうしますと、時期的には6月議会とかそのぐらいの時期になりますか。
- 委員長（杉山茂規） 介護保険課長。
- 介護保険課長 はい。6月を予定しております。
- 委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（杉山茂規） 以上で委員の質疑を終わります。  
分科会外委員の質疑をお受けいたします。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（杉山茂規） 以上で、第1号議案のうちの関係部分に関する質疑を終わります。  
これより第1号議案のうちの関係部分について意見を伺います。賛否に関する意見はありませんか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（杉山茂規） 分科会外委員の意見はありませんか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（杉山茂規） 以上で第1号議案のうちの関係部分に関する意見を終わります。

#### 介護保険課（第4号）

- 委員長（杉山茂規） 説明は終わりました。  
質疑に入ります。質疑はありませんか。  
三富委員。
- 委員（三富美代子） まず、済みません。基本的な、257ページで先ほども第1号被保険者保険料の増額の件では加入者の方の増ということで、全体的にやはり介護保険に必要とされる方々が全般的に伸びているということの予算立てということで。
- 委員長（杉山茂規） 介護保険課長。
- 介護保険課長 はい、そのとおりです。
- 委員長（杉山茂規） 三富委員。
- 委員（三富美代子） 次です。259ページです。ここの3款2項の9目、保険者機能強化交付金、これはつい先だっただけの補正のほうでもちょっとお話伺ったのですけれども、平成30年度から始まったということで、この31年度の国の指標といいますか、そういったものはいつごろ示されると予想されますか。
- 委員長（杉山茂規） 介護保険課長。
- 介護保険課長 先週ですけれども、案ということで、提示がなされております。ただ、その項目が何点かというところまではまだ数字が抜けている部分もありまして、確定はしておりませんが、国のほうはなるべく来年度早く確定したものを示したいというふうに事務連絡では入っておりました。  
以上です。
- 委員長（杉山茂規） 三富委員。
- 委員（三富美代子） たしかいろんな項目等があったかと思いますが、その示されている案の状態のものですが、何か増えているものとかの変化はありましたか。
- 委員長（杉山茂規） 介護保険課長。
- 介護保険課長 新規の項目もございまして、PDCAサイクルにのって実績を問うもの等が増えているように感じております。以上です。
- 委員長（杉山茂規） 三富委員。
- 委員（三富美代子） 先日のご説明ですと、ポイントによって交付金が決まってくるというお話をお聞きしていますので、またぜひその辺は31年度しっかりと進めていただきたいと思います。
- 委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。  
土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 債務負担のコンビニ収納ですけれども、これは3年間また向こうへ延ばすということですのでけれども、これを受けてコンビニ収納の手

数料はどのくらい、1年間に何件くらいなのでしょう。取り扱い件数は。  
(「暫時休憩」の声あり)

○委員長(杉山茂規) 暫時休憩いたします。

13時46分 休憩

13時47分 再開

○委員長(杉山茂規) 再開いたします。

○委員長(杉山茂規) 介護保険課長。

○介護保険課長 1年2,200件と見込みまして、1年間で15万円程度を3年間を見込んでおります。以上です。

○委員長(杉山茂規) 土屋委員。

○委員(土屋秀明) 266ページに認定調査の関係ですけれども、ここにある賃金は何人分ということですか。

○委員長(杉山茂規) 介護保険課長。

○介護保険課長 暫時休憩願います。

○委員長(杉山茂規) 暫時休憩いたします。

13時47分 休憩

13時48分 再開

○委員長(杉山茂規) 再開いたします。

介護保険課長。

○介護保険課長 現在13名の調査員がおり、件数に比例する形で支払いのほうを見込んでおります。

○委員長(杉山茂規) 土屋委員。

○委員(土屋秀明) 267ページの2市2町の負担金ですけれども、この割合と  
いうか、2市2町の中のこの負担金の歳出根拠というのはもともとから何から来  
ているのでしょうか。

○委員長(杉山茂規) 介護保険課長。

○介護保険課長 休憩願います。

○委員長(杉山茂規) 暫時休憩いたします。

13時48分 休憩

13時49分 再開

○委員長(杉山茂規) 再開いたします。

介護保険課長。

○介護保険課長 当初見込み件数で拠出をし、次年度実績に応じて精算をしております。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 認定審査会の委員に市内の医師も入っていると思うのですけれども、全体の中からすると審査会の会員というか、審査会の委員のメンバーの何割ぐらいが裾野市に居住しているというか、市内にある医療機関から行っているのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 介護保険課長。

○介護保険課長 現在資料を持ち合わせておりませんので、後ほど調べて回答するという事によろしいでしょうか。

（「いや、休憩でいいです」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩いたします。

13時49分 休憩

13時50分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

介護保険課長。

○介護保険課長 医師の内訳につきましては、医師会のほうで調整をしております。その部分につきましては、人口等を勘案して医師会のほうで割り振っているというふうに聞いております。以上です。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 介護給付費の特徴として、裾野市の場合には他の1市2町に比べてちょっとこんな特徴があるとかって、そういうものってあるのでしょうか。

（「暫時休憩願います」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩いたします。

13時51分 休憩

13時53分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

介護保険課長。

○介護保険課長 県の平均と比較しますと、訪問系が少なく通所系が多いという特徴があります。また、単独世帯も県平均よりかなり低くなっていることから、在宅でどなたかいらっしゃってサービスをうまく使っているというふうに考えております。以上です。

- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 特養を初めとして、施設の入所、あるいは利用希望者の今はかなり充足をされているということなのではないでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 介護保険課長。
- 介護保険課長 暫時休憩願います。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩いたします。

13時53分 休憩

13時54分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。  
介護保険課長。
- 介護保険課長 給付実績から見ますと、ほぼ同程度の人数の方が施設サービスを利用されております。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） そうすると、特養が部屋そのものが空いているところが多いような話、多いというか、そんな話を聞くのですけれども、実態としては市内の特養の施設はフルでなくてかなり空いているというところも多いのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 介護保険課長。
- 介護保険課長 市内施設ですと、11月に初めて待機者が出たというような施設もあったというふうに聞いておりますが、現在のところある程度やはり待つというふうに聞いております。
- 委員長（杉山茂規） ほかにいかがでしょうか。  
浅田委員。
- 委員（浅田基行） お願いします。確認だけ。予算の中で265ページの一般管理費の13委託料なのですけれども、法改正対応システム改修委託というのが30年度当初よりちょっと減額になっているのですけれども、その理由というのは何かありますか。
- 委員長（杉山茂規） 介護保険課長。
- 介護保険課長 暫時休憩願います。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩いたします。

13時56分 休憩

13時56分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。  
介護保険課長。

○介護保険課長 新年度は、今年度ほど大規模な改修が見込まれないため金額が低くなっております。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 同じような質疑で済みません。その下の使用料及び賃借料で、これも削減なのですけれども、使用料というのが160万強あったのが今年度、31年度はこれ廃止なのですか、もうなくなった、何かなくなったのでしょうか。

（「暫時休憩」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩いたします。

13時57分 休憩

13時57分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

介護保険課長。

○介護保険課長 14節にもっておりました庁内のコンピューターの使用料が、財政のほうから統一的な取り扱いということで19節に動かすように指示があったため金額が変更になっております。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 19節の電算利用負担金2,004万4,000円の中に折り込まれたという認識でよろしいですか。

○委員長（杉山茂規） 介護保険課長。

○介護保険課長 電算利用負担金が最初は14節のものが19節から支出するということになりましたので、この負担金をつけかえたものになります。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 済みません。初歩的かもしれない。これは節が変わるといのは何か理由があるのです。

○委員長（杉山茂規） 介護保険課長。

○介護保険課長 節はそれぞれ、それにふさわしい支出内容ごとに節が分かれております。今まで14節に載せていたのですけれども、ほかの会計等では19節のほうで支出するというような例があったものですから、財政のほうで統一的な扱いをしてくださいということで19節のほうに移したものです。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

勝又委員。

○委員（勝又 豊） 271ページの介護予防ケアマネジメント事業費ということで予算がありますけれども、これはケアマネに対するものなのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 介護保険課長。

- 介護保険課長 介護予防ケアマネジメントは、地域包括支援センターがやることになっておりますので、包括支援センターに支払いをするものになります。
- 委員長（杉山茂規） 勝又委員。
- 委員（勝又 豊） 介護をされる方、それぞれ認知度も違えば、いろんな状況がありますけれども、それを一番把握しているのはケアマネかなという感じがするのですけれども、その人に合った利用計画というのを立てるかと思えます。ですけれども、いろいろと日々介護の技術だとか、補助具だとかいろいろんなものが進化する中で、ケアマネに対してそういった情報提供するなり、講習会をするなり、そういった費用というのはあるのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 介護保険課長。
- 介護保険課長 地域調整会議という関係事業者等が集まる会議がありまして、そこでさまざまな研修をしております。ただ、それは予算のかからない形でやっておりますので、この予算書等には計上されておられません。
- 委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。  
岩井委員。
- 委員（岩井良枝） 273ページ、負補交の認知症初期支援集中チーム員研修負担金というのは新たに入ってきているのではないかと思うのですけれども、この中身は何でしょう。
- 委員長（杉山茂規） 介護保険課長。
- 介護保険課長 法でこの集中チームをやるのが義務づけられております。このチーム員には必修の研修がございます。その研修の負担金になります。
- 委員長（杉山茂規） 岩井委員。
- 委員（岩井良枝） 集中チームになられる方というのはどういう方なのでしょう。
- 委員長（杉山茂規） 介護保険課長。
- 介護保険課長 現在一定の研修等を受けたサポート医という医師が1名、それから包括支援センターの職員が1名、あと市の保健師が1名、これが各包括ごとに2チーム現在置かれております。人事異動等のため保健師が異動したことも予想されますので、研修費用を掲載しております。
- 委員長（杉山茂規） 勝又委員。
- 委員（勝又 豊） 介護施設、先ほどもちょっと答弁にありましたけれども、市内、市外でも結構増えてきているということで、介護施設ができてきているかと思うのですけれども、その介護施設がちゃんと運営されていて、利用者がそのサービスを十分に受けているかどうかと、そういったことを市のほうで調査なり指導なり、そういったことってされているのでしょうか。

- 委員長（杉山茂規） 介護保険課長。
- 介護保険課長 市の指定権限がある事業所については当然立ち入り指導をする義務が市のほうにあるものですから、県の立ち入り等とあわせて指導をしております。また、それ以外にも介護保険サービスにつきましては、市内全施設につきまして相談員の派遣事業というのを行っております。おおむね3カ月に1度なのですけれども、2名の調査員が訪問して、実際に利用者とお話を聞いたり、事業者とその利用者との間の橋渡し役などを務めております。
- 委員長（杉山茂規） ほかはありますか。
- 三富委員。
- 委員（三富美代子） 予算書で言いますと、272ページの13節の委託料のところに市としていろんな介護予防の関係の委託の項目が上がっているのですけれども、介護保険課として平成31年度介護予防の事業をどのような工夫といえますか、新たにこういったことを取り組むといったものはありますか。
- 委員長（杉山茂規） 介護保険課長。
- 介護保険課長 暫時休憩願います。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩いたします。

14時05分 休憩

14時06分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。
- 介護保険課長。
- 介護保険課長 高齢者を外に連れ出すような政策を中心に考えております。
- 委員長（杉山茂規） 三富委員。
- 委員（三富美代子） そうやって目指されていることはわかりました。そのことを可能にするために、例えば地域の方の参加、そういったことが必要になってくる場合もあると思うのですが、そういうことに対しての働きかけということに対してはどう取り組まれますか。
- 委員長（杉山茂規） 介護保険課長。
- 介護保険課長 先ほど言いました、例えばラジオ体操、ああいうものをきっかけの一つはやっていきたい。それから、あとサロンにつきましても新規の立ちあげの支援なんかもしておりますので、そういう形でいろいろな面で地区の方の力もかりながらやっていきたいというふうに考えております。
- 委員長（杉山茂規） 岩井委員。
- 委員（岩井良枝） 272ページ、委託料のところ運動教室の委託料のほうはかなり減額になっていると思うのですが、その要因を教えてください。

- 委員長（杉山茂規） 介護保険課長。
- 介護保険課長 まず、とにかく安くしてくださいというお願いを事業者にはしております。それから、一部他の、例えば保健師がかわりにやるとか、日赤さんの人材を活用する等で仕様の見直し等も進めております。
- 委員長（杉山茂規） 岩井委員。
- 委員（岩井良枝） そうしますと、教室の数、開催の数なんかは減らしたいわけではないということによろしいでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 介護保険課長。
- 介護保険課長 今年度と同じように4コースを計画しております。
- 委員長（杉山茂規） 岩井委員。
- 委員（岩井良枝） 267ページで伺います。認定審査会のところですがけれども、かなりの数が増えるのではないかと思うのですが、何件ぐらいを予想しているのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 介護保険課長。
- 介護保険課長 現在1,800弱程度の認定者がおります。ただ、委員のほうは、例えば1回幾らという単価になっておりますので、そこで1件審査しようが20件審査しようが経費は同じということで、それを頭、件数割で精算ということになります。そういうような関係で件数とはちょっと比例しないのですが、審査会事務局で予測をしたところこの程度ということで支払いのほうを組んでおります。
- 委員長（杉山茂規） 岩井委員。
- 委員（岩井良枝） 平成29年度のときに1万5,000件程度という数字を聞いていたのですが、この数字というのは年間でということになっていたのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 介護保険課長。
- 介護保険課長 恐らくで申しわけないのですが、審査会全体での件数ではないかというふうに考えます。
- 委員長（杉山茂規） よろしいですか。  
（「はい」の声あり）
- 委員長（杉山茂規） ほかはよろしいですか。  
それでは、以上で委員の質疑を終わります。  
分科会外委員の質疑はございますか。  
中村議員。
- 分科会外委員（中村純也） 273ページ、包括支援事業の委託料なのですがけれども、在宅医療・介護連携相談窓口を31年度どういう体制で行こうとしているのかお聞かせください。

暫時休憩をお願いします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩いたします。

14時11分 休憩

14時11分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

介護保険課長。

○介護保険課長 暫時休憩願います。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩いたします。

14時11分 休憩

14時12分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

介護保険課長。

○介護保険課長 同じ体制であります。そのため非課税ということでしたので、250万で見積もって委託用として計上してございます。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

岡本委員。

○分科会外委員（岡本和枝） 先ほど消費税の増税に対応して低所得者の方の保険料の軽減対策は拡充されるというお話がありましたけれども、その内容はどのような形に、今のところ。

○委員長（杉山茂規） 介護保険課長。

○介護保険課長 現在の第1段階だけではなく、第2段階、第3段階の非課税世帯に拡充します。また、料率も今よりも低い料率で済むような内容になっております。

○委員長（杉山茂規） 岡本委員。

○分科会外委員（岡本和枝） それでは対象の方も増えて、額もそれなりにアップするという事でよろしいでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 介護保険課長。

○介護保険課長 はい、そのとおりです。

○委員長（杉山茂規） 岡本委員。

○分科会外委員（岡本和枝） 今福祉センター佐野に裾野包括支援センターがありますけれども、センターの解体という問題が出てきておりますけれども、それに対して、31年度はどのような取り組みをされますでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 介護保険課長。

○介護保険課長 富岳会さんのほうからは、自己の施設の利用も考えていると

いうふうなお話を伺っている状況です。

○委員長（杉山茂規） ほかの方。

小林委員。

○分科会外委員（小林 俊） 273ページ、さっき出た地域包括支援センターですけれども、地域包括支援センターに関する何かいろいろ国の資料とか見ると、介護保険だけではないイメージなのですが、裾野は介護保険に特化しているような気がするのですけれども、そんなことはないですか。

○委員長（杉山茂規） 介護保険課長。

○介護保険課長 当然65歳以上の方でしたら、事由は問いませんので、そういう部分も対応しますし、また当然障がいのほうとも連携を取って仕事は逆にしなければならぬというふうに考えておりますので、障害に関する勉強会等も実施したりなどレベルアップを図っているところです。

○委員長（杉山茂規） 小林委員。

○分科会外委員（小林 俊） その障害に関してはこの運営委託で丸投げしてしまっているのです、予算の使い方というところで介護のほうに偏っているような気がするのですけれども、そんなことはないですか。

○委員長（杉山茂規） 介護保険課長。

○介護保険課長 介護保険の包括支援センターですので、当然介護が中心に動いていることは間違いございません。

○委員長（杉山茂規） 以上で分科会外委員の質疑を終わりといたします。

以上で第4号議案のうちの関係部分に関する質疑を終わります。

これより第4号議案のうちの関係部分について意見を伺います。賛否に関する意見はございますか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 分科会外委員の意見はございますか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 以上で第4号議案のうちの関係部分に関する意見を終わります。

以上で介護保険課の質疑を終わります。

暫時休憩いたします。

14時16分 休憩

14時24分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

## 国保年金課（第1号）

○委員長（杉山茂規） 説明は終わりました。

質疑に入ります。質疑はありますか。

土屋委員。

○委員（土屋秀明） 79ページに国保の特会への繰出金がありますけれども、先ほど説明を受けたと思いますけれども、前年度に比べて2,200万円ほど下がっていますけれども、これは理由は何でしょうか。

○委員長（杉山茂規） 国保年金課長。

○国保年金課長 暫時休憩いたします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩いたします。

14時39分 休憩

14時40分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

国保年金課長。

○国保年金課長 事業費の見直しをしまして、保険事業とかそういったものを見直しのほうさせていただいて、減額という形になっております。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 行財政改革の中で一般会計からの繰出金が減るという額が最初の計画に比べると当初、当初というか最初の提案のとき700万円だったのが、結果的には約1,600万円削減ですけれども、これはまた次のところでお話があるということなののでしょうか。なぜ削減が多くなったのかなという。

○委員長（杉山茂規） 国保年金課長。

○国保年金課長 計画では3年でというお話で2,100万という形だったのですけれども、1年ずつ700万円という形で計画はしているのですけれども、できることはできるだけ縮小しようということで、1,600万という形になりました。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 一般会計から繰り出して、特別会計が繰り入れて受ける話ですから、出すほうが出す額を減らすと、今度受けるほうの額が少なくなるわけです、国保の。受けられるということはどういう事業の仕組みなのでしょうけれども、特別会計の事業の中の事業見直しでかかる経費が少なくできるという、そういうことですか。

○委員長（杉山茂規） 国保年金課長。

○国保年金課長 見直しをして、その他一般会計の繰入金を見直し、保険事業とかそういうものをもう一度見直して、作成のほうさせていただきました。

- 委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。  
三富委員。
- 委員（三富美代子） 予算書だと103ページの19節の負担金なのですが、これは広域連合のほうからの算定といたしますか、そういった金額で載っているという理解でよろしかったでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 国保年金課長。
- 国保年金課長 はい、国保連合会からの通知によって作成のほうしてあります。  
発言を訂正します。広域連合からになります。済みません。
- 委員長（杉山茂規） ここで一旦暫時休憩をさせていただきます。2時46分  
黙祷ということで、済みません。ちょっと時間ありますけれども。  
14時43分 休憩
- 14時47分 再開
- 委員長（杉山茂規） それでは、再開いたします。  
質疑はありますでしょうか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（杉山茂規） 以上で委員の質疑を終わります。  
次に、分科会外委員の質疑をお受けいたします。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（杉山茂規） 分科会外委員の質疑を終わります。  
以上で、第1号議案のうちの関係部分に関する質疑を終わります。  
これより第1号議案のうちの関係部分について意見を伺います。賛否に関する意見はありませんか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（杉山茂規） 分科会外委員の意見はありませんか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（杉山茂規） 以上で第1号議案のうちの関係部分に関する意見を終わります。

#### 国保年金課（第2号）

- 委員長（杉山茂規） 説明は終わりました。  
質疑に入ります。質疑はありませんか。  
三富委員。
- 委員（三富美代子） 217ページです。済みません。暫時休憩してください。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

15時03分 休憩

15時05分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。  
三富委員。
- 委員（三富美代子） 217ページの雑入のところなのですが、こちらの診療分の期間からまたずれるという意味だと思いますけれども、なぜこの収入が雑入で取り扱われるのかというのがちょっと。
- 委員長（杉山茂規） 国保年金課長。
- 国保年金課長 こちらのほうが出納整理期間の決定が4月になるということで、次年度になるということで、31年度、そこに入るものはどこに入るかというところのほうから雑入に入れなさいという指示というか、連絡があったものですから、雑入のほうに入れるような形にします。
- 委員長（杉山茂規） 三富委員。
- 委員（三富美代子） そうすると確認させていただくと、県の指示でこのような歳入項目は雑入ということでよろしいですか。
- 委員長（杉山茂規） 国保年金課長。
- 国保年金課長 はい、そうです。
- 委員長（杉山茂規） 三富委員。
- 委員（三富美代子） 少し戻っていただいて、215ページのところです。ここで、7款1項1目の1節の説明のほうなのですが、医療給付費分と後期高齢者支援金分、それぞれ30年度までは退職の項目もそれぞれあったのですが、これをなくした理由を教えてください。
- 委員長（杉山茂規） 国保年金課長。
- 国保年金課長 30年度は医療給付費分ということで退職の医療給付費分1,000円と、あと退職後期高齢者支援分1,000円という形の科目設置という形でありました。ここが30年度から新しく変わったということで、つくるのに退職分が該当するという形ではつくったのですが、実際上この基盤安定というのは、一般被保険者のみが該当になりますので、退職分は該当にはならないということで、去年は科目設置という形で頭出しのほうはさせていただいたのですが、1年間やって該当ではないということで削除のほうさせていただきました。
- 委員長（杉山茂規） 三富委員。
- 委員（三富美代子） そうすると実績で使用する、この項目に当たるものがなかったという、そういうことでよろしいですか。
- 委員長（杉山茂規） 国保年金課長。

- 国保年金課長 はい、そうです。
- 委員長（杉山茂規） では、勝又委員。
- 委員（勝又 豊） 国民健康保険の被保険者が減少しているということで、予算的にも減少していると思うのですが、この減少傾向というのは今年だけではなくて、年々そのような傾向にあるのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 国保年金課長。
- 国保年金課長 やはり国民健康保険は、移動が転入、転出とか社会保険に加入したということで結構多いです。やはり今一番多いのが75歳になりますと後期高齢者医療保険のほうに自動的に移ってしまうものですから、年々少なくなってくるような状況でございます。
- 委員長（杉山茂規） 勝又委員。
- 委員（勝又 豊） 裾野市の人口減少との関係というのもあるのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 国保年金課長。
- 国保年金課長 それまで精査したことはないのですが、人口自体は減っていますので、多少は影響はあると思われまます。
- 委員長（杉山茂規） 三富委員。
- 委員（三富美代子） 少し説明はされたのですが、ちょっと理解が進まなかったもので、216ページの財政調整基金繰入金、これは今年項目立てにしたというその理由は何でしょうか。項目立てだけにしたという。
- 委員長（杉山茂規） 国保年金課長。
- 国保年金課長 財政調整基金繰入金でよろしいでしょうか。
- 委員（三富美代子） はい。
- 国保年金課長 こちらが昨年度は、歳出を賄うため歳入で国保の財政調整基金のほうを取り崩すという形で1,000万円をこちらのほうに入れてあります。  
（「暫時休憩してください」の声あり）
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

15時12分 休憩

15時12分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。  
国保年金課長。
- 国保年金課長 今年度は、1,000円という形で計上のほうしているのですが、財政調整基金のほうは使用しないということで予算のほうは作成させていただきました。
- 委員長（杉山茂規） 三富委員。
- 委員（三富美代子） そうしますと、国保の財政的に賄えるという予想のも

とでということの理解でよろしいですか。

○委員長（杉山茂規） 国保年金課長。

○国保年金課長 はい、賄えるという形でつくらせていただきました。

○委員長（杉山茂規） 三富委員。

○委員（三富美代子） 済みません。別のほうです。214ページ、5款2項1目の財政安定掛金支出金、こちらのほうも少し先ほど説明はあったのですけれども、前年が約1,400万ぐらいの予算立てで、31年度はこれはこれも項目立てということの、なぜそうなったかということ。

○委員長（杉山茂規） 国保年金課長。

○国保年金課長 暫時休憩お願いします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩いたします。

15時13分 休憩

15時14分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

国保年金課長。

○国保年金課長 昨年度は、県のほうから借り入れるという形で予算のほうつくらせていただいたのですけれども、31年度は県から借りることなく財政運営ができるということで、科目設置にしてあります。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

土屋委員。

○委員（土屋秀明） 全体的に被保険者は減少、減少と、先ほどもちょっと質疑出ましたけれども、具体の数字からすると過去何人だったのが今回の見込みで何人だとかという数字で教えてください。

○委員長（杉山茂規） 国保年金課長。

○国保年金課長 暫時休憩お願いします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩いたします。

15時15分 休憩

15時15分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

国保年金課長。

○国保年金課長 予算をつくるときには1万3,000人で予算のほう、1万300です。済みません。1万300人でつくってあります。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 31年度予算は1万300人を見込んでということですがけれど

も、その前は。減少しているということですから、前はどのぐらいの数が1万300人に変化するのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

15時16分 休憩

15時16分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

国保年金課長。

○国保年金課長 昨年の予算をつくるときの、済みません。現人数ということで、1万580人です。その減少を見ながら31年度予算を出させてもらいました。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） はい、どうも。

収入も被保険者が少なくなることによって見込みも減額していますけれども、出すほうの医療費関係もすごく減ってきている、それが行財政改革の見直しの一般会計からの繰入金のところには同様の理由で減るということなのではないでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 国保年金課長。

○国保年金課長 暫時休憩お願いします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩いたします。

15時17分 休憩

15時18分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

国保年金課係長。

○国保年金課係長 被保険者数が減ったことが繰入金として影響するものとしては基盤安定繰入金は被保険者数の減少にかかわってきます。事業見直しをした部分と、内容を精査することで金額を減らしたのが事務費繰入金とその他一般会計繰入金です。

以上です。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） そうすると、今の事務費繰入金2,312万1,000円ですけれども、見直しをした結果というのですけれども、中身としてどういうものを見直しをして、その結果2,312万1,000円に幾らから下がったということなのではないでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

15時19分 休憩

15時20分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

国保年金課長。

○国保年金課長 事務費繰入金は、180万円ほどを見込んでおります。一般消耗品などの減になります。あと、その他一般会計繰入金は大体1,700万ほど、こちらのほうは事業見直し、もしくは検診の数を精査のほうさせていただきました。

以上です。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 30年度から保険者が県になってくるのですけれども、県への出す負担金と別に今の事業見直しそのものは市独自でということによろしいのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 国保年金課長。

○国保年金課長 はい、市独自でございます。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 数字ちょっとあれなのですけれども、今回国保税の限度額が改正の今条例がもう既に可決されましたけれども、その保険者が県になったのですけれども、収入源の税は各市、町がということでやっていますが、要するにサービスそのものは県で一律どこまでいかないのでしょうかけれども、基本的にはほぼ同様のサービスだというときに国保の加入者が出す税そのものがアンバランスだとおかしいと思うのですけれども、今裾野市はほかの県下で見ますと、国保税という税の負担の度合いからするとどの辺になるというか、なんかそういう資料のようなものって、分析したものありますか。

○委員長（杉山茂規） 国保年金課長。

○国保年金課長 暫時休憩いたします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

15時22分 休憩

15時23分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

国保年金課長。

○国保年金課長 負担方式とか、そういう部分は確認のほうはしてありますけれども、全体としては確認のほうはしておりません。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 前からも言われていますけれども、例えば保険税の中の

資産割、固定資産をもとにしてというところ、隣の三島市の場合には資産割はたしかないというような、極端に行くと、ように、大きく市、町によって違うのかもしれませんが、それは少なくとも新年度でということにはいかないのでしょうけれども、これからの中ではサービスに見合う負担ということに取り組んでもらいたいというふうに思います。

最後に1つです。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 217ページの雑入、先ほども委員からもちよつとありますけれども、質疑が、2月診療分が決まるまでの間に歳出のほうで3,000万円でしたっけか、それをある程度見込みで出しますよという、ですからこの2月、31年の2月の診療の分については今回の予算のこの3,000万円を新年度になったら仮の形で出すよ、そういうことですか。

○委員長（杉山茂規） 国保年金課長。

○国保年金課長 30年度でお金のほうは支払います。支払って決定してから、概算で払うものですから、決定分を雑入として国保連合会から入るような形になります。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） そうすると、雑入の3,010万3,000円というのは、これは確定値が入るということでそういうことなのですか。

○委員長（杉山茂規） 国保年金課長。

○国保年金課長 いえ、確定値ではなく、見込みで払った分から確定分を引いた差額分が入ってくるような形になります。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩いたします。

15時26分 休憩

15時31分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

国保年金課長。

○国保年金課長 まず、確定値ではございません。雑入の中に2月診療分保険給付費返還金3,000万円と、あとその他雑入が10万3,000円入っております。

以上です。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） ないようですので、委員の質疑を終わります。

分科会外委員の質疑をお受けいたします。

小林議員。

○分科会外委員（小林 俊） 済みません。委員長、この4ページの資料の国保の、3ページ目のところでちょっと聞きたいのですけれども、国保税は10億7,000万、約11億入ってきて、県の支出金は31億ありますよね。給付費が30億あって、国保事業納付金というのが13億あるのですが、ここの出で、入ったりする関係をちょっと説明してもらえませんか。どこから来てどう行くのか。

○委員長（杉山茂規） 国保年金課長。

○国保年金課長 まず歳入の部分、国民健康保険税は歳出の国民健康保険事業納付金のほうに全額充てられます。それ以外にも県支出金等を充てて納付金のほうを払うような形になります。

以上です。

○分科会外委員（小林 俊） それで。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

15時34分 休憩

15時35分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

国保年金課長。

○国保年金課長 国民健康保険税が納付金に直接いきます。足りない部分は県支出金等で補っております。あとは、県支出金のほうから歳出の保険給付費等をお支払いのほうをしております。

○委員長（杉山茂規） 小林委員。

○分科会外委員（小林 俊） 212ページの国保税10億7,000万あります。これって国保税を取れた分、取れたというか入ってくる分をこのような項目に分けたということであって、取るほうの、例えば均等割だとか、4種類ありますよね、それで言うとどういうことになるのですか。その数値ってありますよね。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

15時37分 休憩

15時37分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

国保年金課長。

○国保年金課長 賦課方式の4方式というのがあるのですけれども、そちらのほうこの予算をつくるのにそちらのほうではなく、1人当たりの金額と、あとその人数と、あと収納率を掛けて予算のほうを作成してあります。

- 委員長（杉山茂規） 小林委員。
- 分科会外委員（小林 俊） 1人当たりの金額というのは、少なくとも過年度分か何かでそういう積み上げをしてみて決まる額ですよ。それ積み上げがないと、1人当たりの金額ってどうやって決まるのですか。平均的な値。
- 委員長（杉山茂規） 国保年金課長。
- 国保年金課長 現年、過年で分けてありますので、現年分、過年分という形に分けて作成のほうしています。
- 委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。  
岡本委員。
- 分科会外委員（岡本和枝） 滞納世帯に対しての督促事業というのも今年度も取り組まれておりますけれども、その中で18歳以下の子どもがいる世帯の滞納というのはありますか。どんな状態でしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 国保年金課長。
- 国保年金課長 あるとは思いますが、済みません。詳しいことはちょっと税務課のほうに、滞納額というのはちょっと税務課のほうになるのですけれども、やっぱりあることはあります。
- 委員長（杉山茂規） 岡本委員。
- 分科会外委員（岡本和枝） ずっと、全国自治会で子どもに係る均等割を軽減措置をしたらどうかというような要望もずっとされていて、それらに関して、31年度の中で裾野市の国保のほうで何か考えられたようなことという部分はありますか。
- 委員長（杉山茂規） 国保年金課長。
- 国保年金課長 31年度に関しては特にございません。
- 委員長（杉山茂規） 岡本委員。
- 分科会外委員（岡本和枝） 静岡県のほうでも均等割の軽減は、市の条例で独自に対応できるよというような話もあるみたいなのですが、その辺でどうでしょうか、そのことについては。
- 委員長（杉山茂規） 国保年金課長。
- 国保年金課長 現段階では検討のほうはしておりません。  
（「委員長」の声あり）
- 委員長（杉山茂規） 3回目なので、済みません。  
ほかは。  
土屋主久委員。
- 分科会外委員（土屋主久） 先ほど小林議員のほうから収納関係のお話が出ました。212ページで見れば医療給付費分、滞納繰越分とかという形で3,000万とかという形であるのですけれども、これってこれ予算たぶん国民健康保

陰税の現年分と滞納繰り越し分ということで、収納率についてはそれぞれ多分29年度の実績を見て、30年度の今の状況で、それからの見込みをして予算組んであると思うのですけれども、現年、過年の収納率、どのぐらいで予算編成したのか、お伺いしたいと思います。

- 委員長（杉山茂規） 国保年金課長。
- 国保年金課長 暫時休憩をお願いします。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

15時41分 休憩

15時42分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。  
国保年金課長。
- 国保年金課長 現年分は徴収率93%で計算のほうしてあります。滞繰分に関しては今までの実績等を見ながら作成のほうしてあります。
- 委員長（杉山茂規） 土屋主久委員。
- 分科会外委員（土屋主久） いずれにしてもこれ数字の世界ですので、滞繰についても、例えば20.何%とか、多分そういう形での予算編成をしてあるのではないかと思うのですけれども。
- 委員長（杉山茂規） 国保年金課長。
- 国保年金課長 おおよそ20%、約20%で作成のほうしてあります。
- 委員長（杉山茂規） 土屋主久委員。
- 分科会外委員（土屋主久） 関連するかどうかわからないのですけれども、214ページに、先ほど説明があったと思うのですけれども、保険者努力支援分ってありますよね。ここって多分その辺も含まれているのかなと、項目をどんなものが含まれてどこを頑張ると交付金が金額を増えるのかという形ちょっと知りたいので、項目ちょっと教えていただけるとありがたいです。
- 委員長（杉山茂規） 国保年金課長。
- 国保年金課長 保険者努力支援分、一部ですけれども、保険者努力支援分といたしまして、特定健診の検診率によって変わってきます。あと、国民健康保険税の収納率、あと国民健康保険だけではなく、健康推進課が実施しております歯周病検診、あとマイレージなどが該当になります。下の特別調整交付金分になるのですけれども、こちらのほうは特定健診未受診者対策事業といたしまして、特定健診を3年間受診していない方に勧奨するというこの事業をやっております。あと、重症化予防、こちらのほうは……
- 分科会外委員（土屋主久） 細かいところはいいです。また……
- 国保年金課長 済みません。あと、非自発的減免ということで会社を自分の

意思ではなく退職したという方の減免になります。都道府県繰入金 2 号分というのがこれは県の運営方針に該当するものでございまして、24時間電話相談とか、医療費通知、高齢者受給者交付会などが該当になります。

○委員長（杉山茂規） ほかは。

（「委員長」の声あり）

○委員長（杉山茂規） もう 3 回終わりましたね。

（「わかりました。ありがとうございました」の声あり）

○委員長（杉山茂規） それでは、以上で分科会外委員の質疑を終わります。

以上で第 2 号議案のうちの関係部分に関する質疑を終わります。

これより第 2 号議案のうちの関係部分について意見を伺います。賛否に関する意見はございますか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 分科会外委員の意見はございますか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 以上で第 2 号議案のうちの関係部分に関する意見を終わります。

### 国保年金課（第 3 号）

○委員長（杉山茂規） 説明は終わりました。

質疑に入ります。質疑はありますか。

土屋委員。

○委員（土屋秀明） 被保険者が国保の場合には減少しているということで、後期高齢者は増えているということですが、何人ほど見込んでいるのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 国保年金課長。

○国保年金課長 6,157 人です。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 1 年とか 2 年前でわかる数字がありましたら、どの程度増えているかというの、それをちょっと数字を教えてください、何人か。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

15時50分 休憩

15時50分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

国保年金課長。

○国保年金課長 ちょっと前はわからないのですけれども、約1年後、この3月8日なのですから、大体6,411人です。

(「ちょっと休憩で」の声あり)

○委員長(杉山茂規) 暫時休憩いたします。

15時51分 休憩

15時52分 再開

○委員長(杉山茂規) 再開いたします。

国保年金課長。

○国保年金課長 予算で見込んでいるのが6,157名でございます。

○委員長(杉山茂規) 暫時休憩します。

15時53分 休憩

15時55分 再開

○委員長(杉山茂規) 再開いたします。

国保年金課長。

○国保年金課長 予算を当初つくるベースといたしまして、当初の人数は4月1日現在で6,157名、それから31年度予算をつくるに当たりまして、6,400人程度で予算のほうつくらさせていただきます。

○委員長(杉山茂規) 岩井委員。

○委員(岩井良枝) 31年度予算は、6,400人程度で見込んでいらっしゃる、3月8日の時点で6,411人というお話だったので、そうすると31年度の予算のところではもう全然足りなくなっているという判断でいいのでしょうか。

○委員長(杉山茂規) 国保年金課長。

○国保年金課長 まだ今後増えるのですけれども、マックス増えるのではなく、高齢者の方がいらっしゃるものですから、変な話お亡くなりになったりして、減少することはないとは思いますが、多少のぶれはあると思いますので、その辺は予算内で対応できると思っております。

○委員長(杉山茂規) 国保年金課長。

○国保年金課長 6,400人で見込んでおりますが、その中での予算で対応できると思っております。

○委員長(杉山茂規) 土屋委員。

○委員(土屋秀明) 済みません。収入の税が1,300万、これ被保険者が増ということで、今度出すほうの、歳出のほうの納付金がほぼ同額の1,300万円増やしているのですけれども、これも収入と同じ理由で歳出を見込んでいるとい

うことでしょうか。別の要因というのはあるのでしょうか。

- 委員長（杉山茂規） 国保年金課長。
- 国保年金課長 保険料が増えたことにより納付金も増えるという形の部分です。同じです。特にはございません。
- 委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（杉山茂規） 以上で委員の質疑を終わります。  
分科会外委員の質疑をお受けいたします。  
小林委員。
- 分科会外委員（小林 俊） 保険料ですけれども、245ページの特別徴収と普通徴収の内訳わかりますか、4,600人で。
- 委員長（杉山茂規） 国保年金課長。
- 国保年金課長 暫時休憩お願いします。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

15時58分 休憩

15時59分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。  
国保年金課長。
- 国保年金課長 特別徴収保険料は61%です。普通徴収が39%になります。
- 委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。  
小林委員。
- 分科会外委員（小林 俊） そうすると、1人当たりの保険料の額で言うと、結構7万円とかそういう額になるのですけれども、戻って申しわけない、国保税は10万ちょっとなのですよ、1人当たりで言うと。1万で10億だから。こっちは、5億円で6,000人なのだけれども、7万ぐらいになるので、それってこの年金生活をしている人にとって負担になっているという話はないの。もう決められているからしょうがない。
- 委員長（杉山茂規） 国保年金課長。
- 国保年金課長 暫時休憩お願いします。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

16時00分 休憩

16時00分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。  
国保年金課長。

○国保年金課長 後期高齢者医療保険と国民健康保険のまず大きな違いと言いますと、賦課方式の違いがございませう。国民健康保険は4方式で、後期高齢者医療保険のほうは2方式という形なものですから、その部分、率はやっぱり違うのですけれども、後期高齢は均等割と所得割という2つの部分になっております。こちらのほう後期高齢は静岡県内同一の率なものですから、変な話どこへ行っても一緒という形です。

以上です。

○委員長（杉山茂規） 小林委員。

○分科会外委員（小林 俊） その賦課方式が違うということが年金生活者7万5,000円で、国保は10万ちょっとだということがそれでいいということの理由づけになっているのですか、それとももう決まってなるからしょうがないという、そういう話ですか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

16時01分 休憩

15時03分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

国保年金課長。

○国保年金課長 国民健康保険は、条例によって決まっております。後期高齢も条例で決まっているものですから、変な話動かししょうがないというか、条例に沿って賦課等をしております。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 以上で分科会外委員の質疑を終わります。

以上で、第3号議案に関する質疑を終わります。

これより第3号議案について意見を伺います。賛否に関する意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 分科会外委員の意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 以上で第3号議案に関する意見を終わります。

以上で国保年金課の質疑を終わります。

以上で本日の日程は全て終了いたしました。

これをもって散会いたします。

16時04分 閉会

9時00分 開会

○委員長（杉山茂規） おはようございます。ただいまから本日の会議を開きます。

本日の日程はお手元に配付のとおりであります。

審査の方法は、昨日と同様に当局の説明を求めてから質疑に入ります。発言の際には録音の関係上必ずマイクをご使用願います。

先日に引き続き健康福祉部関係の審査を行います。

### 保育課

○委員長（杉山茂規） 質疑に入ります。質疑はありますか。

勝又委員。

○委員（勝又 豊） エアコン工事の説明があったのですが、89ページのエアコン工事というのは保育園でよろしいのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 保育課長。

○保育課長 89ページのものについては、こちらは保育園のものでございます。保育園の予算になりますので、保育園の費用となります。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） 保育園の場所と台数というのはわかりますか。

○委員長（杉山茂規） 保育課長。

○保育課長 こちらの金額になりますので、一応今予定しておりますのが、東と深良ということで予定しております。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

9時55分 休憩

9時55分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

保育課長。

○保育課長 東保育園が1台、深良保育園が2台ということで計画しております。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） 同じくエアコン工事で172ページ、こちらは幼稚園かと思うのですが、同じようにちょっとお願いします。

○委員長（杉山茂規） 保育課長。

- 保育課長　こちらは幼稚園費でございます。いずみ幼稚園、こちらを2台交換をする予定でございます。
- 委員長（杉山茂規）　勝又委員。
- 委員（勝又　豊）　この工事は今年の夏までに間に合う工事なのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規）　保育課長。
- 保育課長　それを目標にやっていきたいと思っております。
- 委員長（杉山茂規）　ほかはいかがでしょうか。  
浅田委員。
- 委員（浅田基行）　済みません。よろしくお願ひします。ちょっと歳入のところで、21ページの……
- 委員長（杉山茂規）　もう少しマイクを、ちょっと近づけてもらっていいですか。
- 委員（浅田基行）　よろしいでしょうか。15款1項の3目、民生使用料の2節のところで、保育所使用料が昨年の当初予算に比べて金額が上がっています。ご説明の中で多子の制限、何か抑えるという意味合いですか、制限という、このところもう一度ご説明お願ひできますか。
- 委員長（杉山茂規）　保育課長。
- 保育課長　時限的に実施しておりました、東部のこのエリアでやっていた多子軽減を拡大して実施するというものを国の基準に基づいてもとに戻すというようなところの数値による増ということでご理解ください。
- 委員長（杉山茂規）　浅田委員。
- 委員（浅田基行）　済みません。暫時休憩お願ひします。
- 委員長（杉山茂規）　暫時休憩します。

9時57分　休憩

9時58分　再開

- 委員長（杉山茂規）　再開いたします。  
ほかはいかがでしょうか。  
浅田委員。
- 委員（浅田基行）　済みません。88ページの歳出のところでございます。子ども保育総務費で、31年度13節の委託料のところ、第2期子ども・子育て支援事業の計画を策定ということなのですけれども、こちら、31年度新たに予算取っているということで、これ次の計画の話だと思っておりますが、この辺もう一度ご説明お願ひできますか。
- 委員長（杉山茂規）　保育課長。
- 保育課長　こちらにつきましては、法定の計画でございまして、来年が策定

年というようなところのものになります。こちらの計画については、ニーズを把握した上で施設の整備等を実施をしていく、何らかの形で量の確保、受け入れ側の確保をしなければならないというような計画を練るものでございます。今年度補正予算で通させていただきます、ニーズの部分の調査は現在進行しております。

以上です。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） これは期間といいますか、1期というのは31年度、来年度という形でしたっけ。

○委員長（杉山茂規） 保育課長。

○保育課長 第1期の計画につきましては、27から31年度の方でございます。来年度は1期の期間中であるのですが、2期に向けて来年度計画を策定するというので、5年ずつの見直しをどんどんしていくというようなスパンで国のほうは制度設計しております。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） 済みません。先ほどいただいた職員の人数の資料のほうでちょっと伺います。細かいことは、来年度のことについてはまだお話ができないということも伺っているのですが、全体でいいのですけれども、正規職員、また臨時職員の方の定数、必要な人数は何人になるのか、その合計のところを教えていただければと思います。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時01分 休憩

10時02分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

保育課長。

○保育課長 先ほど説明しました全体の人数が必要とする人数とご理解いただきたいと思います。正規職員と臨時職員の配置につきましては諸事情あるので、そちらについては総計で何人ということでご理解いただきたいと思ます。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） 済みません。そこに出ている88人は、今年の4月1日現在でいらした人数だと思うのですが、それで間違いないでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援監。

○子育て支援監 88人につきましては年度当初の人事異動の数字から拾ってきておりますので、その人数に間違いはございません。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） それでは88人、昨年いらしたのですけれども、定数としては何人足りなかったのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援監。

○子育て支援監 ちょっと休憩で。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時03分 休憩

10時04分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

子育て支援監。

○子育て支援監 定数という話でございます。定数にはいろんな考え方、条例上の定数等々ございますけれども、必要な人数ということ言えば、昨年30年度、少ない人数ながら何とかやってきたということがございますので、定数というか、園運営に支障がない定数で行ったということでございます。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） 今のことで休憩でいいですので、今……

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時04分 休憩

10時05分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） それでは、去年は正規の職員さんの給料のところで40人分が出ていました。今年37人分になったという要因は何だったのでしょうか。

（「どっちですか」の声あり）

○副委員長（岩井良枝） ごめんなさい。88ページです。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時06分 休憩

10時09分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

子育て支援監。

- 子育て支援監 給与等は、例えば2節、3節、4節給与、それから手当、共済、賃金につきましては、所管が人事課の管轄になりますので、こちらで全てを把握しているわけではございませんので、そちらでお聞きしていただくのがいいと思います。

以上です。

- 委員長（杉山茂規） 岩井委員。
- 副委員長（岩井良枝） 88ページ、13委託料のところでお伺います。先ほどニーズの調査を今しているというお話でしたが、以前にお話しいただいた未就園児家庭のアンケートがそのニーズ調査に当たっているということでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 保育課長。
- 保育課長 未就園児を対象とした調査、それから就学後の小学生を対象とした調査等がございまして、そちらが今回子ども・子育て支援事業の前段となるニーズ調査というようなところでご理解いただきたいです。
- 委員長（杉山茂規） 岩井委員。
- 副委員長（岩井良枝） 89ページでお伺います。病後児保育事業の委託が若干上がっているのですが、これについては人数が増えるということでしょうか。

（「暫時休憩お願いします」の声あり）

- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩いたします。

10時10分 休憩

10時11分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。  
保育課長。
- 保育課長 箇所数については増えておりませんが、単価の変更によるものでございます。
- 委員長（杉山茂規） 岩井委員。
- 副委員長（岩井良枝） 3カ所でよろしかったでしょうか。2カ所。
- 委員長（杉山茂規） 保育課長。
- 保育課長 2カ所でございます。
- 委員長（杉山茂規） 岩井委員。
- 副委員長（岩井良枝） 病後児保育、市が委託をしているのですが、つまりその園に通っていない子どもたちを通える状況というのをつくっていかないといけないのだと思うのですが、その辺今まで確認をされていないよ

うなのですが、ちょっと園外からの子どもたちの状況についても今後確認をしていただきたいと思いますと思うのですが、その辺についてはいかがでしょうか。

- 委員長（杉山茂規） 保育課長。
- 保育課長 そのようにさせていただきたいと思います。
- 委員長（杉山茂規） 岩井委員。
- 副委員長（岩井良枝） 今年なんか半年ほど1園で受け入れができなかったというお話がありましたが、来年度についてはそちらのほうも解消をしたという確認をされているのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 保育課長。
- 保育課長 現在は、人員が配置されておりますので運営できております。今後もこの状況が継続することを説明に願う限りでございます。
- 委員長（杉山茂規） 岩井委員。
- 副委員長（岩井良枝） 90ページで伺います。認証保育所制度事業費助成金が削減をされるということですが、補助の実態から削減ということなのですが、その中身について伺います。
- 委員長（杉山茂規） 保育課長。
- 保育課長 昨年、その前も800万円であったのですが、昨年というか、30年度当初予算については、就園費の、保育料の負担軽減ということで市で徴収する金額と同等の額まで下げる分を負担しますということで考えていたわけなのですがけれども、実際それと同等もしくは、金額が低い金額で運営がされていたために今回その支払いの実態がなかったというところがありますので、もとの金額に戻させていただいたというところがございます。
- 委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。  
土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 歳入、35ページ……
- 委員長（杉山茂規） 済みません。マイクをもう少し。
- 委員（土屋秀明） 民生費の雑入で認証保育所の返還ですけれども、180万円、これはあと何年度残っているのですか。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩いたします。

10時14分 休憩

10時15分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。  
保育課長。
- 保育課長 そちらにつきましては、後ほど正確な数字を示させていただきます。

(「休憩で」の声あり)

○委員長(杉山茂規) 暫時休憩します。

10時15分 休憩

10時16分 再開

○委員長(杉山茂規) 再開いたします。

土屋委員。

○委員(土屋秀明) 88ページ、先ほども質疑出ましたけれども、第2期の子ども・子育ての支援事業の計画策定がありますけれども、10月から消費税の税率の変更で保育だとか幼稚園の基本的な無償化という流れの中で、公立の幼稚園そのものは基本的には市が全額負担するのだよというの中で、要するに私立のほうに少しでも運営を任せる、あるいは私立の保育園、幼稚園にすることによって、市から出す金が少なくなるというようなことを当然この計画の策定の中では、そういう方向に持っていくようなことを計画としてはいくのですか。

○委員長(杉山茂規) 保育課長。

○保育課長 このご指摘の計画につきましては、本来需給関係を見るためのものであります。それに加えてご指摘の内容につきましても課題となっておりますので、そこも何らかの形で取り込むことができたというふうには思っております。

○委員長(杉山茂規) 土屋委員。

○委員(土屋秀明) 子ども・子育て会議の、先ほど説明の中で会議の委員が15というのですけれども、15名の内容というのはどういう、例えば中学校の教員だとか、小学校の教員だとか、あるいは保育幼稚だとか、保護者の代表も入っているというような、なんかそういうのが。

○委員長(杉山茂規) 保育課長。

○保育課長 こちら会議の構成員につきましては条例のほうで示されておるのですけれども、主立ったところでいいますと、公私立の幼稚園、保育園の保護者さん、それから事業を実施している方、それから企業の雇用の関係に携わっている方、これはワークライフバランスの関係を審議する内容になってきますけれども、あと学識経験ということで数名入れております。

○委員長(杉山茂規) 土屋委員。

○委員(土屋秀明) ちょっと違う項目ですけれども、御宿台保育園の指定管理の委託料が入っていますけれども、御宿台保育園は現在は指定管理ですけれども、民営化にすることを前提にしてたしか動いていると思うのですけれども、今年度以降のスケジュールはどういうことになるのでしょうか。指定

管理が何年までだと、あるいは。

- 委員長（杉山茂規） 子育て支援監。
- 子育て支援監 指定管理につきましては3年間の指定管理ということで、30、31、32と3年間の指定管理をしていますけれども、現在モニタリング等、3者協議という形で保護者、それから行政代表、事業者ということで3者協議というのをやりながら事業者にはモニタリングをしていただいていると。モニタリングは、通常年1回のところですが、年2回開いてということですのでございますので、そのモニタリングの結果を見ながら民営化に向けた方策を練っていくというような形で考えてございます。

以上です。

- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 先ほど要するに幼保の保育料等の無償化、国の流れの中で、裾野市からこれが民営化に向けての一番今先を走っているような事業ですけれども、今までのところはほぼ計画どおりに、特に支障はないというふうに判断されているのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 子育て支援監。
- 子育て支援監 支障はなく進んでいるというふうに考えております。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 172ページの負補交のところですが、先ほど課長の説明の中でちょっと聞き逃したのですけれども、何々会となんか組織から脱退をするというような話を受けましたけれども、もう一度お願いします。
- 委員長（杉山茂規） 保育課長。
- 保育課長 ちょっと暫時休憩。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時21分 休憩

10時21分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。  
保育課長。
- 保育課長 こちらにつきましては、公立幼稚園の園長会という組織、これの関連関係も含めてなのですけれども、こちらのほうを30年度末をもちまして、脱退というようなところで幼稚園の協議会の中の園長会で決定をさせていただきました。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） それは裾野市だけというか、あるいは広域でこの周辺と同様の同調だということですか。

- 委員長（杉山茂規） 保育課長。
- 保育課長 こちらにつきましては、30年度末の脱退と、我々が確認しているだけで磐田市、袋井、裾野、熱海、森、あと浜松なんかの大都市は既に脱退しているということでもあります。加入自治体が少なくなっていくということで、かなり負担が大きくなっていくというところがございます。特に役員になったときの負担が大きいくということ、園児数等の割り振りの負担金の支払いの負担もかなり大きいくということ、脱退を園のほうでは決めています。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 入会をしていると最新の情報だとか全体の動きだとかいろいろなものが入ってきたのでしょうかけれども、特に脱退をして支障がないという考え方ですか。
- 委員長（杉山茂規） 保育課長。
- 保育課長 研究会等の出席が主だったわけですがけれども、そちらのほうは減ります。ただ、ほかの研修等でそれは補えるということで判断をしたようがございます。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 最後ですけれども、臨時職員の、先ほども質疑出ていますけれども、人事課といわれたらそこまでなのですけれども、いずれにしても臨時職員の必要とする数が今のところ充足していないと、当初予算で予算を取っても結果的には最後の部分まで…、そういう中で新年度には臨時職員の賃金等で少しでも実数が上がるように中身を改定、値上げするような中身というようなものというのは予算的には入っているのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 子育て支援監。
- 子育て支援監 お金についても人事課の話ですので、余り詳しいはわからない部分はありますけれども、一応30年度で幼稚園につきましては実施済みと、31年度につきましては人事課のほうの予算の関係ですので、こちらのほうで答えのしようはないということがございます。
- 委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。  
浅田委員。
- 委員（浅田基行） 済みません。90ページの19節の負担金、補助及び交付金で昨年児童福祉施設補助金小規模保育処分という形で計上されていたのが、31年度は廃止ですか、計上されていないというのが、計画施設がないのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩いたします。

10時25分 休憩

10時26分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。  
保育課長。
- 保育課長 こちらにつきましては、同じ項目の括弧で小規模保育所とついていない部分ありますけれども、こちらのほうに含まれてしまうという形で計上してございます。全くなくなったというわけではございません。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） 児童福祉施設補助金の中に盛り込まれているというふう  
に。
- 委員長（杉山茂規） 保育課長。
- 保育課長 そのとおりでございます。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） わかりました。  
その下、20扶助費ですが、ご説明の中で4月、31年度から小規模の保育が新しくという形のご説明ありましたけれども、これ4月から開園ということですが、準備状況って今どうなのでしょう。
- 委員長（杉山茂規） 保育課長。
- 保育課長 今こちらにつきましては施設整備のほうを行っております、ほぼそれが完了が見えているところでございます。今月中に予定としまして認可申請、これは市の認可になりますけれども、出させていただいて、4月認可を目指しているというようなところでございます。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） まだおいていないものですから、目指すという表現では  
ば大丈夫なのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 保育課長。
- 保育課長 審査によることになりますので、今この場で大丈夫とかというのはちょっと差し控えさせていただきたいと思えます。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） その件で、対象のゼロ、2歳とか、3、5歳とかという  
のはどういう年齢でしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 保育課長。
- 保育課長 こちらにつきましては小規模保育所事業という形になりますので、ゼロ歳から2歳までのお子さんを預かる施設となります。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） 定員というのですか、は何人ぐらいを予定しているの

しょうか。

○委員長（杉山茂規） 保育課長。

○保育課長 現在相談を受けている内容では19名ということになります。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） わかりました。

先ほど多子世帯子育てというところで、これ行財政改革の項目の中で多子世帯子育て支援事業というの8,304万8,000円という事業費を31年度は財政の中では廃止という形でうたわれているのですが、これは廃止という形ではよろしいのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 保育課長。

○保育課長 こちらについては、9月末をもって廃止ということで我々考えてございます。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） では、9月の間では予算計上されているということではよろしいのですか。

○委員長（杉山茂規） 保育課長。

○保育課長 済みません。暫時休憩。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩いたします。

10時29分 休憩

10時30分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

保育課長。

○保育課長 授業料と保育料の軽減になりますので、歳入のほうでその辺は計上している内容となります。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） わかりました。

では、ちょっと待機児童のことで確認させてください。今年度、30年度は保育士というのですか、先生方を増員するということで保育の充実を図ってきたということを確認しているのですけれども、育休退園制度の充実をしながら年間通しての待機ゼロを目指すというお話があったかと思うのですが、今年度はどういう状況だったのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 保育課長。

○保育課長 残念ながら年度の中では県報告値等では待機児童は発生してしまっている状況にあります。保育士の確保なかなかかなり今難しいところでございますので、その辺も影響してというところでございます。

- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） そういった状況で、31年度は今人の話も含めましてどう  
いう取り組みをしようと考えていますか。
- 委員長（杉山茂規） 保育課長。
- 保育課長 保育士、幼稚園教諭も含めてなのですけれども、昨年10月から  
登録制度も開始させていただいております。登録をさせていただいて、そ  
ちらにお声がけするということもさせていただいております。取り組みとして  
いろいろ考えられることはなるべくいろんなことを考えながら確保に向けて  
努力していこうと思っております。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） ぜひよろしく願いいたします。
- 委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。  
勝又委員。
- 委員（勝又 豊） 予算附属説明書の43ページの新制度私立幼稚園運営費等  
補助金275万9,000円とありますけれども、予算書のほうですと、ちょっと名  
前が違っていますけれども、172ページの私立幼稚園運営費等補助金と一緒なの  
でしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩いたします。

10時33分 休憩

10時33分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。  
保育課長。
- 保育課長 こちらにつきましては、表記の揺れということでご理解いただ  
きたいと思います。同じものでございます。
- 委員長（杉山茂規） 勝又委員。
- 委員（勝又 豊） 新制度というところが違いかと思うのですけれども、新  
しい制度ということで理解してよろしいのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 保育課長。
- 保育課長 新制度と書いてあるのは、子ども・子育て新制度に基づいた運営  
をされているところというご理解でいただきたいと思います。それと、今私  
立幼稚園につきましては並行して旧制度、いわゆる私学補助で運営している  
幼稚園というのがございますので、私学補助の幼稚園と子ども・子育て新制  
度で動いている幼稚園、そこら辺の違いということで分けとして新制度と  
いうような形で表記をさせていただいております。

（「ちょっと休憩でよろしいですか」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時34分 休憩

10時37分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

ほかはいかがでしょうか。

三富委員。

○委員（三富美代子） 予算書89ページです。13節委託料の中の一番下の御宿台保育園等指定管理委託ですけれども、最初のご説明で法定価格ですとか、加算項目というお話がございましたが、加算項目は幾つぐらいあるのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩いたします。

10時37分 休憩

10時38分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

保育課長。

○保育課長 加算項目につきましては、多岐にわたっておりますので、一つ一つをご紹介することはちょっと難しいと思うのですが、例えば園長先生が専任であるとか、事務職を雇い上げているとか、そういうものから始まって、職員の処遇改善の部分が実行されているとか、そういうような話になります。その内容として3歳児配置改善とか、あと主任保育士という、職員のレベル、研修をどれだけ受けているとか、そういうような内容のものになります。

○委員長（杉山茂規） 三富委員。

○委員（三富美代子） そういった加算項目が多いということだと、この指定管理として運営されていることが状況的に大変いいというような判断ができるものなのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 保育課長。

○保育課長 こちらについては、そのような解釈でもよろしいかと思えます。結果としてグレードの高い保育がされているというような解釈ができることかなと推測されます。

○委員長（杉山茂規） 三富委員。

○委員（三富美代子） 今の件はわかりました。

それの今の2つ上です。地域子育て支援センター事業委託、これ約30万円ほど増額になっておりますけれども、これの主な要因を教えてください。

- 委員長（杉山茂規） 保育課長。
- 保育課長 こちら単価の変更によるものです。箇所も変わっておりませんので、単価の変更です。
- 委員長（杉山茂規） 三富委員。
- 委員（三富美代子） わかりました。
- 同じ委託料の中でALTの委託があります。これはまた31年度の契約はどのようなふうにご考えておられますでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 保育課長。
- 保育課長 31年度につきましても、できれば担当課サイドとしては慣れていらっしゃる先生が行っていただいたほうがよろしいかとは思いますが、その辺は新年度の執行のほうに任せたいと思っております。
- 委員長（杉山茂規） 三富委員。
- 委員（三富美代子） 171ページにも同じくALTの委託がありますが、暫時休憩してください。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時40分 休憩

10時41分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。  
三富委員。
- 委員（三富美代子） 保育園と幼稚園と両方ALT委託がありますが、どのような方法で行われるのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 保育課長。
- 保育課長 契約の形としては、幼稚園、保育園含めた形で契約をさせていただいております。
- 委員長（杉山茂規） 三富委員。
- 委員（三富美代子） 暫時休憩してください。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時41分 休憩

10時43分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。  
ほかはいかがでしょうか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（杉山茂規） 以上で委員の質疑を終わります。  
分科会外委員の質疑をお受けいたします。

佐野委員。

○分科会外委員（佐野利安） 済みません。171ページの予算書の幼稚園費です。役務費の中で手数料でピアノの調律、浄化槽ということでしたけれども、この浄化槽ってどういうような手数料なのでしょう。

○委員長（杉山茂規） 保育課長。

○保育課長 浄化槽の清掃ということになります。引き抜き等の費用になります。

○委員長（杉山茂規） 佐野委員。

○分科会外委員（佐野利安） そうしますと、13節委託料に浄化槽保守点検委託って入っていますけれども、そこでやってもらわないのでしょうか。

保育課長。

○保育課長 保守点検は点検でして、これは委託になります。引き抜きにつきましては、清掃になりますので、こちらは役務費ということで従来やっております。

○委員長（杉山茂規） ほかは、いいですか。

（「はい」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 土屋主久委員。

○分科会外委員（土屋主久） ~~聞き間違いだったかもしれませんが、ちょっと確認させてください。88ページなのですが、燃料費のほうが車2台分ということで、そしてこれは今年度は車検はございますでしょうか。~~

○委員長（杉山茂規） 保育課長。

○保育課長 ~~車検は今年度はないことになっております。~~

○委員長（杉山茂規） 土屋主久委員。

○分科会外委員（土屋主久） ~~車を買いかえるのでしょうか。~~

○委員長（杉山茂規） 保育課長。

○保育課長 ~~その予定はございません。~~

○分科会外委員（土屋主久） ~~あと、自動車重量税って自分の認識違いかもしれませんが、車検時にたしか払う形になると思うのですが、27節の公課費自動車重量税ということで乗っているのですが、こちらは去年車検をしていますので、多分編成のときにちょっと間違えているのではないかなと思われまして。~~

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩いたします。

10時45分 休憩

10時46分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

土屋主久委員。

○分科会外委員（土屋主久） 今の質問は全て取り消させていただきます。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

勝又利裕委員。

○分科会外委員（勝又利裕） ちょっと休憩してください。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時46分 休憩

10時47分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

保育課長。

○保育課長 今ご指摘の内容につきましては、今後の契約等に……

（何事か声あり）

○委員長（杉山茂規） 保育課長。

○保育課長 今ご指摘のとおり、説明の中から削除させていただきます。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時48分 休憩

10時48分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

保育課長。

○保育課長 説明の中からエアコンの幼稚園、保育園それぞれの額につきましては、記録のほうから削除していただけるようお願いいたします。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。いいですか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 以上で分科会外委員の質疑を終わります。

以上で第1号議案のうちの関係部分に関する質疑を終わります。

これより第1号議案のうちの関係部分について意見を伺います。賛否に関する意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 分科会外委員の賛否に関する意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 以上で、第1号議案のうちの関係部分に関する意見を終わります。

以上で保育課の質疑を終わります。

暫時休憩いたします。

10時49分 休憩

10時58分 再開

○委員長（杉山茂規） それでは、おそろいですので再開いたします。

#### 保育課（答弁漏れ）

○委員長（杉山茂規） 保育課より答弁漏れについて発言の申し出がありましたので、これを許します。

保育課長。

○保育課長 認証保育所保育ルームつぼみの建物の建設補助金の返還について答弁漏れがありましたので、回答させていただきます。こちらにつきましては、返済総額が1,000万円、返済開始が29年7月からとなっております。返済回数は67回で設定しております。1回の返済額は15万円、月ごととなっております。30年度の末時点で21回が完了の予定となっております。そこでの返済額は315万円となります。一番最後のお支払いにつきましては、35年1月末ということになっております。

以上です。

○委員長（杉山茂規） 保育課長の説明は終わりました。

委員の皆様よろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 以上で答弁漏れについて終わります。

暫時休憩いたします。

13時09分 休憩

13時10分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

## 子育て支援課

- 委員長（杉山茂規） 説明は終わりました。質疑に入ります。  
質疑はありませんか。  
浅田委員。
- 委員（浅田基行） よろしくお願ひします。86ページの13節委託料のみんな  
で子育てするまちの推進事業という事業委託でございますが、これ60万円で、  
これ30年度は100万円という、事業費の中で、これ長泉町と一緒にやられてい  
るということなのですけれども、これは減額した理由と申しますか、歳入の  
ところでも20万で、18万か、という形で減額していると思うのですけれども、  
その辺というのはなぜ減額したのでしょうか。いい事業だなと思っていたの  
ですけれども。
- 委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。
- 子育て支援課長 こちらにつきましては、あくまでも長泉町との共催という  
形になりますので、長泉町の意向とこちらの意向を踏まえて協議した結果で  
ございます。こちらの事業31年度で5年目となりますけれども、フレンドシ  
ップの補助金が来年度までという形になりますので、一つの区切りの年にな  
ります。なので、事業を広く展開するというよりも、これまでの経緯を踏ま  
えた中で少しまとめ的な事業をやりたいねというふうに長泉町とは協議をし  
たところでございます。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） 別の何かを、形ということですか。拡大ではなくまとめ  
るというのはどういう意味合いですか。
- 委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。
- 子育て支援課長 事業を集約するとかということではなくて、5年間の実績  
をちょっと確認するような、要は検証というわけではないのですけれども、  
シンポジウム的なものでこれまでの取り組みの成果とかを発表するような形  
をちょっと考えていきたいなど。ただ、事業そのものとしては新年度になっ  
てもう一度協議をしますので、まだ具体的に今の段階では決まっているわけ  
ではないです。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） ぜひそういった意味でみんなで子育てをというところで  
広げていただくようにやっていただければと思います。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） 済みません。その下の20扶助費でございます。こども医  
療費の補助金が、これが31年度増額されていますけれども、これ対象が増え  
たということなのでしょうか。説明をお願いいたします。

- 委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。
- 子育て支援課長 こども医療費が増えた部分につきましては、こちら高校生医療費も含んでおります。高校生医療費30年度から始まっているのですけれども、30年度は4月からスタートという形になるので、国保連からの請求は2カ月おくれで来る関係があつて、6月から支払いがスタートという形になります。通常であれば4月から支払い始まるのですが、それが2月分が4月に請求が来るという形になるので、それで12カ月分なのですけれども、30年度の4月からスタートしていますので、30年度は高校生医療費が10カ月分の予算だったものが、今回31年度からは12カ月分という形になるものによるものです。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） わかりました。
- 済みません。ちょっと1個戻って19節の負担金、補助金で31年度から交通安全の用具の補助金という形で50万円の、今回もう廃止ということを決められて、この辺の対象になる市民の方への廃止しますよという伝達というのはどのようにやられているのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。
- 子育て支援課長 まず、2月に入った段階でホームページ、それから子育てアプリでの発信をしております。あと無線放送をあいている日には入れていただくというような形で流し続けております。あとは、3月1日号の広報紙へのお知らせ、掲載という形で進めさせていただきました。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） それは既にもう流されていて、そういうことで特に市民の方から苦情ではないのですけれども、お問い合わせというか、というのは特になかったのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。
- 子育て支援課長 苦情という形のお問い合わせは特にございませぬ。いつまでの申請なら間に合いますかみたいな問い合わせはありましたけれども。そういった問い合わせ対応させていただいております。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） わかりました。
- 済みません。92ページの扶助費で児童扶養手当の金額、予算が計上は上がっていて、これはご説明の中で年3回が年6回だから2カ月に1回になるのですか。このときだけ15カ月という話、これちょっともう一度説明といたしませんか、お願いできますか。
- 委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。

○子育て支援課長 暫時休憩お願いします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時17分 休憩

11時17分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

浅田委員。

○委員（浅田基行） 先ほどの質疑は取り消します。

ほかはいかがでしょうか。

浅田委員。

○委員（浅田基行） あと1点だけ、済みません。同じく92ページの母子家庭の自立支援給付金が、この予算が、落とされていますが、計上が減っているのですけれども、これは何で減ったのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。

○子育て支援課長 例年3人程度を目安にしているのですけれども、今年度の予算を作成する段階でその時点でちょっと相談を実際に受けているケースが五、六件昨年あったものですから、去年は5名分という形で計上させていただいたのですけれども、結局今年度相談されていた方の申請なかったのですけれども、そういった形でちょっと多目に去年はというか、30年度は上げさせていただいたのですけれども、ことしはそういった動きも特にないものですから、ちょっと減らさせていただいたという形です。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） それでは、通年といいますか、去年はちょうどそういう要望があって増やした予算で、今年度は通年に戻したという認識でよろしいですか。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。

○子育て支援課長 そのような形になります。

○委員長（杉山茂規） ほかは。

土屋委員。

○委員（土屋秀明） チャイルドシートの補助金を、先ほども出ましたけれども、廃止、50万円ですけれども、裾野の場合にはこういう福祉関係のところへ予算計上していますけれども、ほかのところでは交通安全という考え方で予算を今まで計上していたところも聞いていますけれども、今回の廃止について交通安全対策のほうとは何か話し合いとかされたのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時19分 休憩

11時20分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。  
子育て支援課長。
- 子育て支援課長 もともと30年度に移管される前は、危機管理課のほうで交通安全対策という形で実施をさせていただいた部分を子育て支援課のほうに移管した経過がございます。なので、そちらの部分につきましては特に今回は交通安全の担当課のほうと協議等はしてございません。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 先ほど済みませんでした。  
今までの実績、補助件数は何件、今までというか30年度。
- 委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。
- 子育て支援課長 まだ途中という形にはなりますけれども、現在把握できている件数が30年度は51件となっております。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 金額もさることながら、どちらかというと乳幼児、児童、そこが対象の命をというところで守るといふ、件数もさることながら、これを廃止するといふ最大の理由は何をもってやめるということでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。
- 子育て支援課長 チャイルドシート自体が法律で義務化されたのが平成12年だったのですけれども、それに合わせてそのチャイルドシートの装着の徹底とか普及を図るために補助金を創設したという経緯がございますけれども、それから年数が経過しまして、こちらのほうの装着義務といふのは既にもう定着しているといふふうな判断ができますので、その部分が判断の中の大きな部分でございます。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 行財政改革で、チャイルドシート、別の件ですけれども、高校生医療費の助成を、この資料ですけれども、計画よりも数字が削減を、少なくしているのですけれども、これは県費補助か何か入るといふことで、財源での、一般財源が少なく済むよといふことで減らしているといふことでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。
- 子育て支援課長 そのとおりでございます。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） あと、具体のものの予算計上の話ではないのですけれども、今の児童虐待が非常に問題になり、市内でもそういう実例がありますけ

れども、他市においては児童相談所を県だけでなく、自らという人のところが結構動きとしてあるようですけれども、新年度の中にはそういうようなことも含めて何か検討された中でも今回の予算計上になっているのでしょうか。

- 委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。
- 子育て支援課長 制度とか体制とかというところで予算に反映させている部分はありません。そちらにつきましては、虐待等ニュースに実際になっている部分もございまして、進めていく上での強化というのはしていかなければならないというふうには考えておりますけれども、あくまでも人的な部分での対応が今のところは、相談業務も含めて大きいかなというふうには考えておりますので、予算の中での反映、施設とか体制に対する反映はございません。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 水窪でああいうちょっと事件が起きたのですけれども、市内全地区で、要するに虐待に対する情報だとか、相談だとか、年間にどのぐらいのものがあるのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。
- 子育て支援課長 相談とかというケースで考えれば、昨年度、29年度では2,900件ぐらいの相談対応しております。30年度につきましては、恐らくそれを超えるのは間違いないというふうに把握しております。
- 委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。  
三富委員。
- 委員（三富美代子） 予算書では85ページになると思います。先ほどの事業の報告の中にもありますけれども、地域における子育て支援体制強化事業がこれ継続の事業なのですけれども、これは子育て相談支援員の配置ということで、人数的には1名ということなののでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。
- 子育て支援課長 子育て相談支援員をお願いしているのは6名でございます。
- 委員長（杉山茂規） 三富委員。
- 委員（三富美代子） その6名の方はどのような体制でこの事業に動かれるのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。
- 子育て支援課長 基本的に一番多いのが健康推進のほうで行っています母子関係の検診ですとか、そういった部分なのですけれども、そういったときには通常2人で、あとちょっとイベント的なことでこちらのほうでお願いする

ような場合には協力いただける数だけ協力をしていただくというような形をとっております。

- 委員長（杉山茂規） 三富委員。
- 委員（三富美代子） 特に相談をお受けになるようなときは、福祉の、健康推進のほうとの連携が必要と思いますけれども、その辺は具体的にはどうされていますか。
- 委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。
- 子育て支援課長 済みません。休憩をお願いします。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時26分 休憩

11時27分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。  
子育て支援課長。
- 子育て支援課長 子育て相談支援員さんが相談の中で受けたものにつきましては、健康推進の保健師、あるいはこちらのほうの家庭児童相談室のほうに連絡を入れてくださるといような形で支援が必要になればこちらのほうで今度入っていくといような形をとっております。

（「暫時休憩してください」の声あり）

- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時27分 休憩

11時28分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。  
勝又委員。
- 委員（勝又 豊） 済みません。先ほど出たのですけれども、92ページの児童手当の件なのですけれども、3カ月プラスでもっと多くなるということなのですけれども、その原因、ちょっともう一度ちょっと済みません。説明をお願いします。
- 委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。
- 子育て支援課長 すごく単純に言いますと、4月、8月、12月の3回の支給なのですけれども、来年度については4月、8月までは今までのながれなのですけれども、その後の支給が2カ月に1遍に変わりますので、11月、1月、3月という形になります。そうすると、今まで12月に支給をしていて、その次はもう新年度の4月の支払いになるのですけれども、来年度に関しましては3月まで支払いの月があるので、要は年度内中に払ってしまうという月が

3カ月分増えるという形になります。

- 委員長（杉山茂規） 勝又委員。
- 委員（勝又 豊） とすると、受け取る側としては3カ月に1度が2カ月に1度になって、分割されて受けられるという解釈でよろしいでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。
- 子育て支援課長 4カ月分を1回にというのが2カ月分を1回という形になります。
- 委員長（杉山茂規） 勝又委員。
- 委員（勝又 豊） 別の件なのですけれども、先ほどチャイルドシートの件、定着しているというご返答だったのですけれども、その根拠、警察からの統計とか何か統計で定着しているという判断をされたのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。
- 子育て支援課長 そういった数字的なものの把握はしておりません。ただ、社会通念上もう既にそういったものは定着しているだろうという判断でございます。
- 委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。  
三富委員。
- 委員（三富美代子） 予算書で言いますと、91ページの19節負補交の中の地域活動事業補助金、こちらが30万円ほど前年度と比べて減額をされておりますので、この理由をお願いいたします。
- 委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。
- 子育て支援課長 30年度は一応母親クラブ加盟団体、5団体という形で予算づけをさせていただきました。ただ、今年度既に実際に活動できているところが2団体という形になってしまっておりますので、来年度も今の活動している2団体に対して予算を確保したということでございます。
- 委員長（杉山茂規） 三富委員。
- 委員（三富美代子） そうしますと、活動していただいている方々への活動しやすいような環境づくりと申しますか、そういう団体で興して活動しやすい環境づくりという点では担当課としてはいかがお考えなのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。
- 子育て支援課長 なかなか母親クラブで活動してくださるお母さん方、やはりだんだん働いているお母さんが増えてきているということもありまして、そもそもそういう活動が難しい、それから役員のなり手もないという状況もございまして、なかなか盛り上げていくというところは難しいところではあるのですが、ただ南児童館を中心に幼稚園や保育園、それからイベント等々して母親クラブの会員募集とかということは職員のほうが出向いて

ゆったりさせてはいただいております。

- 委員長（杉山茂規） 三富委員。
- 委員（三富美代子） それでは、引き続きそういったご努力をよろしく願いたいと思います。
- 委員長（杉山茂規） 三富委員。
- 委員（三富美代子） 85ページの12節役務費の手数料の、これ、こちらも減額されているのですけれども、この減額された主な理由をお願いします。
- 委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。
- 子育て支援課長 手数料の減額につきましては、30年度人材派遣会社より職員を派遣をお願いしておりました。そちらが臨時職員に切りかわる形で考えておりますので、ここが減ります。
- 委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。  
勝又委員。
- 委員（勝又 豊） 済みません。先ほどちょっと聞くの忘れたのですけれども、92ページの先ほどの児童手当の件なのですけれども、13節の委託費で児童手当システム改修委託という項目があるのですけれども、聞き漏らしたら申しわけないのですけれども、この、先ほどの支払いが変わることによってシステムの変更があるということの解釈でよろしいのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。
- 子育て支援課長 92ページの児童扶養手当のほうですよ。こちらについては、支払い回数の変更、それからマイナンバーへの対応等を含めてシステム改修が入るものでございます。
- 委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。  
岩井委員。
- 副委員長（岩井良枝） 済みません。86ページで伺います。負補交のところでファミリーサポートセンターのまかせて会員の交付金というのがありますが、内容を、どういうあれをお支払いをするのかというのをお願いします。
- 委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。
- 子育て支援課長 こちらにつきましては、一応利用料が、お願い会員から任せて会員に払う利用料が1時間600円という形になっておりますけれども、これに240円ほどをプラスさせていただきまして、というようなイメージになります。基本的には最低賃金の金額程度を目安にその差額を補助してあげようという制度でございます。
- 委員長（杉山茂規） 岩井委員。
- 副委員長（岩井良枝） その上で伺います。賃借料のところで子育てアプリが今回子育て支援課のほうに移ってきていますけれども、この金額の内訳と

というのはどういふなるのでしょうか。

- 委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。
- 子育て支援課長 こちらにつきましては、この子育てアプリのソフトの使用料という形になります。なので、これを12回に分けて月額幾らという形で支払うものになります。
- 委員長（杉山茂規） 岩井委員。
- 副委員長（岩井良枝） 子育てアプリのほうなのですけども、情報の更新とかというのはもう委託をしてやっているということですか。
- 委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。
- 子育て支援課長 これはあくまでもソフトの使用料になりますので、情報の更新等は基本的にお知らせの発信とかというのは今戦略広報課のほうで実施しておりますけれども、そういった流れは今までを踏襲する形になります。あと、こちらのシステムの管理とか、そういった部分につきましては子育て支援課のほうで今度実施するという形になります。
- 委員長（杉山茂規） 岩井委員。
- 副委員長（岩井良枝） せっかく子育て支援課にこれが来たのですけれども、情報の発信というところではこれまでどおり戦略広報課でというお話ですが、その辺はどうなるのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。
- 子育て支援課長 基本的には各課でこちらのほう更新できるような形にはなっております。スポットでお知らせを投げたり、プッシュ通知とかをするのが戦略広報課という形になりますので、全庁どこからでも情報の更新はできるというような形にはなりません。
- 委員長（杉山茂規） 岩井委員。
- 副委員長（岩井良枝） 子育てアプリなのですけども、内容の見直しとかというのは検討されていますでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。
- 子育て支援課長 基本的には今の形がベースにはなると思います。ただ、充実させていく方法というのは検討していきたいと思います。
- 委員長（杉山茂規） 岩井委員。
- 副委員長（岩井良枝） 済みません。全く予算のところには出てきていないと思うのですが、子育て支援という意味ではせっかくこの子育てアプリも子育て支援課のところに来たということですし、子育て支援課としてのホームページをもっと充実をしていく方向というのは今考えられていますでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。

○子育て支援課長 済みません。暫時休憩……

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時39分 休憩

11時39分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

子育て支援課長。

○子育て支援課長 予算上そういった部分は考慮してございません。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） 休憩してください。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時39分 休憩

11時43分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

ほかはやろしいですか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 委員の質疑を終わります。

分科会外委員の質疑をお受けいたします。

賀茂委員。

○分科会外委員（賀茂博美） 済みません休憩お願いします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時43分 休憩

11時44分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

子育て支援課長より訂正の申し出がありましたので、それを許します。

子育て支援課長。

○子育て支援課長 先ほど母親クラブの件で説明をさせていただきました部分につきまして、2団体というふうに申し上げたのはこちらが補助金を出している団体の数になります。それ以外にこちらの補助金は交付対象になっておりませんが、活動している団体があることは把握をしているところでございます。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

岡本委員。

- 分科会外委員（岡本和枝） チャイルドシートの問題で、裾野市の場合は第2子から対象ということで、当初は子育て世代の負担軽減というのが目標ではなかったかと思うのですが、この点についてはいかがお考えなのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。
- 子育て支援課長 そもそも導入は、先ほど申し上げましたとおり交通対策という形での導入になっております。対象が子育て世代になりますので、そういった意味合いもあるかと思えますけれども、導入のそもそもの目的は交通対策という形になります。
- 委員長（杉山茂規） 岡本委員。
- 分科会外委員（岡本和枝） それならば本当第1子から対象とすべきであったと思うのですが。それはいいとして、長泉なんかでは補助と同時にレンタルという形で、当初このスタートするときもその話もあったのですが、廃止をするけれども、レンタル事業とかに取り組むというようなお話というのはなかったのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。
- 子育て支援課長 特にそういったことは検討しておりません。
- 委員長（杉山茂規） 岡本委員。
- 分科会外委員（岡本和枝） これに関して、先ほど休憩の中で事前の周知という部分でお話がありましたけれども、市の広報で市長の名前で見直しというのが出されて、その中で市の方針を決定して、これは議会で審議をして決まりますというような文言が入っているのです。それを考えると、予算と方針という部分はやっぱり議会の審議があってその後で決定ということだと思いますけれども、そういう点ではやっぱり一言議会の審査の後はこちらになりますというような文言が一言入るべきだと思いますのですが、その点はいかがでしょう。
- 委員長（杉山茂規） 健康福祉部長。
- 健康福祉部長 条例等が改正が必要なものであればそこでの審議というものは考えられます。それから、事業の個々の実施に当たって先ほど予算審議が必要なもの、減額等であれば当然その中身について審議の対象となります。しかしながら、廃止ということで予算計上していないものについて予算の審議が追加という形で及ぶということは想定しておりませんので、廃止の事業については先ほど申したとおり事前の広報が必要である、そのように考えております。
- 委員長（杉山茂規） ほかの方いらっしゃいますか。  
（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 以上で分科会外委員の質疑を終わります。  
以上で第1号議案のうちの関係部分に関する質疑を終わります。  
これより第1号議案のうちの関係部分について意見を伺います。賛否に関する意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 分科会外委員の意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 以上で第1号議案の関係部分に関する意見を終わります。

以上で子育て支援課の質疑を終わります。

暫時休憩いたします。

11時48分 休憩

13時08分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

## 社会福祉課

○委員長（杉山茂規） 説明は終わりました。質疑に入ります。

質疑はありませんか。

土屋委員。

○委員（土屋秀明） ちょっと課長の説明が早過ぎてほとんど書き取れなかったから、多分同じことまた質疑の中で出すと思いますけれども、よろしくお願ひします。

まず、細かく説明があった敬老会の事業の見直しの関係ですけれども、もう一度お願いをします。敬老会80ページでしたか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

13時31分 休憩

13時34分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

土屋委員。

○委員（土屋秀明） わかりましたというか、変更の内容はわかりました。

それ以外のところですけども、ちょっと……

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

13時34分 休憩

13時36分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

土屋委員。

○委員（土屋秀明） 高齢者医療費の助成が約2,900万円、新年度から廃止というか、予算計上もないのですけれども、やめるに至った一番の理由はどういうことでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。

○社会福祉課長 この事業につきましては、過去に事業評価を行っておりまして、その場で廃止するという方向が出ておりました。それらの結果と今後高齢者の方々が多くなってくるということで、予算の面で賄っていけるかどうかということで、それらを踏まえて廃止するということと、あとこの制度につきましては後期高齢者医療費制度が開始され、医療負担の増加の緩和をするための事業として行われたものですけれども、事業開始しましてから10年たっておりまして、激変緩和措置を行ってきたのですけれども、ある程度目標は達成されたということで廃止の方向となりました。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

- 委員（土屋秀明） 今の市長の前任者のときから、ある意味裾野市の行政のサービスの一番シンボリックなものだったのですけれども、財源が少なくなってきた減少というのはある意味全体からするとやむを得ないところあると思いますけれども、いわゆる子育て支援に非常に国も裾野も重点を置いているのですけれども、高齢者対策という意味で、先ほどの敬老会もそうですけれども、これをやめることによって、高齢者の感情的なようなものという何か推測などされたのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。
- 社会福祉課長 推測は行ってはおりません。ただ、この廃止の方向が決まってから老人会の連合会に出席いたしまして、5地区の老人会長のおられるところでこういう方向でということで説明はさせていただきました。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 当初予算の審議ですから、ちょっとずれるかもしれないですけれども、今のご説明、老人会のほうにお話をされたということで、その場で何か反応はあったのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。
- 社会福祉課長 事業自体に対する質問ではなくて、裾野市の経済に関することが出ました。企業の動向について出ましたが、それにつきましては私のほうでは承知しておりませんので、答えることはできませんでした。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） ちょっとほかのほうに行きます。80ページの委託料の中に、下から2つ目に計画策定の調査委託がありますけれども、具体的にその調査をするのはどういうことを調査されるのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩いたします。

13時40分 休憩

13時40分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。  
社会福祉課係長。
- 社会福祉課係長 高齢者保健福祉計画介護保険事業計画に関するアンケート調査でお話をさせていただきます。こちら一般高齢者1,000人を抽出しまして、そのうち在宅500人ということで、調査方法は郵送で行います。業務内容につきましては、この内容につきましては今回の計画に網羅すべき内容、それと裾野市独自の調査項目の検討の支援を予定しております。調査結果の報告書は100ページ程度のものを予定しております。  
以上です。

- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） それは、先ほどの説明のとおり32年度からの5年間の計画に結びつけるということでもいいわけですね。
- 委員長（杉山茂規） 社会福祉課係長。
- 社会福祉課係長 はい、そのとおりです。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 同ページの扶助費のほうに紙おむつの購入費の助成ありますけれども、先ほどの説明で補助制度そのものをやめるのではなくて、上限、上は圧縮するのだよということですが、これは利用者が必要として利用している額を圧縮するというのはいかなる意味はどういうことなのか。必要で、利用しないからやめるといふだとか……
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩いたします。

13時42分 休憩

13時44分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。  
社会福祉課長。
- 社会福祉課長 利用限度額を圧縮する内容となっております。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 2割圧縮することになって今までの実績からすると、幾らぐらいが予算的には必要なくなるということなのですか。
- 委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。
- 社会福祉課長 暫時休憩をお願いします。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩いたします。

13時45分 休憩

13時45分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。  
社会福祉課長。
- 社会福祉課長 150万円の減額となっております。
- 委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。  
岩井委員。
- 副委員長（岩井良枝） 済みません。今の関連のところでお伺います。介護度などの区分は変えないでというお話でした。もう少し細かくその金額についてお聞きしてよろしいでしょうか。収入のそれでもありますよね。限度額。その辺もうちょっと詳しく言ってください。

(「暫時休憩お願いします」の声あり)

○委員長(杉山茂規) 暫時休憩いたします。

13時46分 休憩

13時46分 再開

○委員長(杉山茂規) 再開いたします。

社会福祉課長。

○社会福祉課長 区分につきましては、介護度1、介護度2、介護度3、4、介護度5によって区分をしております。介護度3、4、5につきましては、生計中心者の前年までの所得税が課税の世帯であって、その税額が年額区分が次である世帯ということで、またそこで5段階に区分されております。

○委員長(杉山茂規) 暫時休憩します。

13時47分 休憩

13時51分 再開

○委員長(杉山茂規) 再開いたします。

三富委員。

○委員(三富美代子) 80ページの委託の中で、一番最後の市民後見人実施事業委託、これ2市2町で養成講座をというお話があったのですが、具体的にはどういう形で開かれる予定なのでしょうか。

○委員長(杉山茂規) 社会福祉課係長。

○社会福祉課係長 成年後見人の市民貢献制度の利用の促進についてですが、平成31年度より近隣の2市2町、沼津市、裾野市、長泉町、清水町と広域で養成講座を通じて市民貢献制度の利用環境を整備していく見込みであります。それで、主なスケジュールですが、講座を2市2町で実施をまずさせていただくつもりであります。当市のほうとしましては、募集要項6月ごろ、公報の掲載等、これは社会福祉協議会の社協だよりのことですが、も含めてですが、講座の受け付け、それから事前説明会を8月に予定しております。応募者の選定、選考を9月ごろ、10月から翌年の2月ごろに市民後見人の養成講座が開かれると、そんな形です。

以上です。

○委員長(杉山茂規) 三富委員。

○委員(三富美代子) そうしますと、2市2町で1カ所の開催という捉え方でよろしいですか。

○委員長(杉山茂規) 社会福祉課係長。

○社会福祉課係長 はい、1カ所です。

- 委員長（杉山茂規） 三富委員。
- 委員（三富美代子） 予定されているにはどちらになるのですか。
- 委員長（杉山茂規） 社会福祉課係長。
- 社会福祉課係長 沼津市です。
- 委員長（杉山茂規） 三富委員。
- 委員（三富美代子） 参加対象となる方というのは何かやはり既定と申しますか、ある程度のそういったものがあつての募集になるのですか。
- 委員長（杉山茂規） 社会福祉課係長。
- 社会福祉課係長 その点につきまして、今検討をしているところです。
- 委員長（杉山茂規） 三富委員。
- 委員（三富美代子） 裾野市としましては、新たにそういった養成講座を開催するに当たって、どういうふうにしては養成講座に向けて取り組もうというふうなお考えがあるのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 社会福祉課係長。
- 社会福祉課係長 専門職だけでなく困った人たちに対応できるような形をとりたいと思っています。
- 委員長（杉山茂規） 三富委員。
- 委員（三富美代子） 市としては、どのくらいの方にと申す、数字的な目標とかまだこれから考えるということですか。
- 委員長（杉山茂規） 社会福祉課係長。
- 社会福祉課係長 はい、これから検討してまいります。
- 委員長（杉山茂規） 三富委員。
- 委員（三富美代子） 78ページの19節の負補交のところ、社会福祉協議会の補助金ですけれども、これは行財政構造改革の関係で100万円の減額という捉え方でよろしいですか。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

13時55分 休憩

13時57分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。  
社会福祉課係長。
- 社会福祉課係長 事業見直しによる補助金の減額となっております。
- 委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。  
浅田委員。
- 委員（浅田基行） 81ページの老人措置費の20節扶助費ですけれども、こちらが31年度400万で上がっている中のご説明で、定員の変更というお話ありま

したけれども、これは何名分と云えばいいのですか、何名……

- 委員長（杉山茂規） 社会福祉課係長。
- 社会福祉課係長 長岡寮湯の家が90名定員から60名定員になることに伴い1人当たりの基準金額、これ法定決まっているのですが、それが上昇する見込みのためです。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） 60名に減っている単価と云いますか、1人当たりという単価とかいう計算方法ではないのですか。
- 委員長（杉山茂規） 社会福祉課係長。
- 社会福祉課係長 はい、単価です。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） 60名減った、措置費、何人分の単価という。
- 委員長（杉山茂規） 社会福祉課係長。
- 社会福祉課係長 90名は全ての市、町になるものですから、当市では数名がその対象です。

（「何人分」の声あり）

- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

13時59分 休憩

14時00分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開します。

社会福祉課係長。

- 社会福祉課係長 入所数は8人で変わっておりません。

- 委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

浅田委員。

- 委員（浅田基行） 93ページの生活保護費が8世帯上がった金額というご説明がありましたけれども、8世帯上がりましたけれども、質疑的にちょっと場所変わりました12の手数料というところというのは、ここのご説明をお願いいたします。

- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時01分 休憩

14時01分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。

社会福祉課係長。

- 社会福祉課係長 手数料につきましては、生活困窮者の就労支援員の派遣の

手数料です。

- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） それは何名ですか。
- 委員長（杉山茂規） 社会福祉課係長。
- 社会福祉課係長 1名を予定しております。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） 先ほど生活保護で世帯が上がったということで、その仕事的に1名で大丈夫というお考えですか。
- 委員長（杉山茂規） 社会福祉課係長。
- 社会福祉課係長 手数料のほうにつきましては、生活困窮者ということで、生活保護の手前の段階でいろんな支援につなげたりする手数料になりますので、先ほどの8世帯上がったというのはまた生活保護の需給者が上がったということになります。

（「休憩」の声あり）

- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩いたします。

14時03分 休憩

14時04分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。  
社会福祉課係長。
- 社会福祉課係長 1人で対応は可能です。
- 委員長（杉山茂規） 岩井委員。
- 副委員長（岩井良枝） 生活困窮者の方に対する支援の部分なのですが、社会福祉課のほうに相談に見えなくてもいろんな暮らしの中で、例えばこの間もありましたが、水道料金が払えずに水道止められた家庭が40件市内であったそうです。そういうときに本来ならばその方たちがどうして……休憩にしてください。ごめんなさい。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩いたします。

14時05分 休憩

14時06分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。  
岩井委員。
- 副委員長（岩井良枝） 質疑途中まではしているのですが、そういう方のところ、どんなふうに今までつないできていますか。
- 委員長（杉山茂規） 社会福祉課係長。

- 社会福祉課長 社会福祉協議会でっております生活何でも相談がありまして、そこから行政のほうに相談をしていただくような形もっております。
- 委員長（杉山茂規） 岩井委員。
- 副委員長（岩井良枝） 庁外の中でそういうことで社会福祉課のほうにお話があった例というのはたくさん来ていますか。ですので、そうしますと、先ほどの支援員さんが1人という部分で大丈夫なのかということなのですけれども、その辺のところ別に社会福祉の中で予算づけされるようなものというのはあるのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。
- 社会福祉課長 今相談に来られる方は、支援員1人で対応しておりますけれども、現時点では1人で十分賅っていると考えております。
- 委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。  
浅田委員。
- 委員（浅田基行） 敬老会で、これ確認で70歳以上の記念品の行事と申しますか、廃止にしまして、77歳と88歳と100歳には祝金というお話があったかと思うのですけれども、ちょっと私が調べたところで100歳、101歳以上もこれ祝金だったと思うのですけれども、101歳以上が廃止されてということと100歳の祝金というのが変更ない、ちょっといくらかも教えてほしいのですけれども。
- 委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。
- 社会福祉課長 100歳になられた方の祝金については、31年度継続してお渡しする予定です。金額は1人当たり10万円です。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） これまで101歳以上のときというのは祝金ですか。10万ではないですね。
- 委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。
- 社会福祉課長 101歳以上の方には3万円の祝金をお渡ししておりました。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） では、100歳以上は統一してもう10万円という。
- 委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。
- 社会福祉課長 100歳になられた方のみ10万円ということですよ。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） そうしますと、報償金というのが950、60万ほど減額されていまして、こちらが内訳と申しますと敬老会の今70歳以上で廃止、予算が減額で800万ほど残っていますけれども、この予算というのはどういふのに使われるのですか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時10分 休憩

14時10分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

社会福祉課長。

○社会福祉課長 77歳、喜寿の方の記念品と88歳の米寿になられた方の記念品が報償費になります。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 確認です。では、その下の予算というのは100歳ということですか。

○委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。

○社会福祉課長 はい、そのとおりでございます。

○委員（浅田基行） あと、済みません。111ページの高齢者の市シルバーの人材補助金が100万ほど初年度よりちょっと減額という形なのですけれども、この減額した理由を。

○委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。

○社会福祉課長 シルバー人材センターの補助金の減額につきましては、事業見直しによる減額でございます。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 具体的にどのような事業を見直したかというご説明ってできますか。

（「暫時休憩お願いします」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時11分 休憩

14時13分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

健康福祉部長。

○健康福祉部長 団体の補助ということで、その見直しの対象の中で金額を出しております。団体の努力を求めるという意味合いもございます。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） とりあえずわかりましたですけれども。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

勝又委員。

○委員（勝又 豊） 78ページにあります委託料の中で災害時用支援者避難支

援事業委託ということで上がっていますけれども、具体的にどんな内容なの  
でしょうか。

(「暫時休憩お願いします」の声あり)

○委員長(杉山茂規) 暫時休憩いたします。

14時14分 休憩

14時14分 再開

○委員長(杉山茂規) 再開いたします。

社会福祉課長。

○社会福祉課長 社会福祉協議会に委託しております、災害時における要援  
護者の方々の避難支援の計画の作成の内容でございます。

○委員長(杉山茂規) 勝又委員。

○委員(勝又 豊) 計画というのは今の段階では立てられていないというこ  
とで委託して立てるとのことなのではないでしょうか。

○委員長(杉山茂規) 社会福祉課長。

○社会福祉課長 既存のものが個別の方々にあります。それを、修正、変更、  
または訪問などして新規に作成するというので、個別の方々についての計  
画の作成でございます。

○委員長(杉山茂規) 勝又委員。

○委員(勝又 豊) そうですと、それは更新していくということで、毎年か  
かっているものなのではないでしょうか。

○委員長(杉山茂規) 社会福祉課長。

○社会福祉課長 この事業に関しましては、毎年個別の方々につきまして更新  
をしております。

○委員長(杉山茂規) 勝又委員。

○委員(勝又 豊) 80ページになります。扶助費、老人日常生活用具給付貸  
与とありますけれども、この辺はどういったいろいろを想定しているの  
でしょうか。

○委員長(杉山茂規) 社会福祉課長。

○社会福祉課長 暫時休憩願います。

○委員長(杉山茂規) 暫時休憩します。

14時16分 休憩

14時16分 再開

○委員長(杉山茂規) 再開いたします。

社会福祉課長。

- 社会福祉課長 日常生活用具ということで、具体的には火災報知機や電磁調理器、電話などを想定しております。
- 委員長（杉山茂規） 勝又委員。
- 委員（勝又 豊） 結構利用者はあるということでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。
- 社会福祉課長 29年度の実績ではゼロ件でございます。
- 委員長（杉山茂規） 勝又委員。
- 委員（勝又 豊） 先ほども委員のほうから出ています、紙おむつ2割削減ということ、この件に関して紙おむつって下着と一緒になのですけども、それを減らすことによって、ぬれているけれども長く使ってしまうとか、そういったことによって衛生面、そういったものとか、あと湿っているのを長時間になると褥瘡につながるとか、そういうふうな逆に今度は医療費のほうでかかってくる、そういうふうなことも検討したのでしょうかという。
- 委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。
- 社会福祉課長 暫時休憩願います。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時18分 休憩

14時19分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。  
社会福祉課長。
- 社会福祉課長 紙おむつの利用方法につきましてまでは検討しませんでした。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 78ページの今質疑で出ました社協へ委託している災害時の要援護者の関係ですけども、ここにある表記は計画の策定というような表記ではなくて、支援事業の委託ということになっていきますけれども、先ほどこちと計画の策定というような言葉が入っていたと思いますけれども、その辺の違いはどういうことなのか。
- 委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。
- 社会福祉課長 委託先が社会福祉協議会に委託を出しております、その計画というのは個別、一人一人この人はどういうふうな方でどういうふうな支援が必要だというふうな形での計画、一人一人に対する計画でございます。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩いたします。

14時20分 休憩

14時22分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。  
社会福祉課課長代理。
- 社会福祉課課長代理 実際委託は計画の作成とかは個別に社協に行ってもらっていますが、実際の災害が起きた場合はもちろんその区長をはじめ近所の方々が真っ先にその避難支援をしていただけたらと思っています。  
以上です。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） ありがとうございます。  
最後ですけれども、79ページの一番上段に高額療養費の貸付金50万円で、説明の中で利用実績がないからというような話で、そういう意味合いで減額をしているようですけれども、この貸し付けの対象者ってどういう条件で貸し付けるのですか。
- 委員長（杉山茂規） 社会福祉課係長。
- 社会福祉課係長 国保被保険者で限度額が使えない場合に対応を予定しております。  
以上です。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 国民健康保険の特別会計の中に高額療養費ありますけれども、それとは違うという種類でよろしいですか。
- 委員長（杉山茂規） 社会福祉課係長。
- 社会福祉課係長 限度額認定書が発行できない、滞納等の場合に適用する見込みです。  
以上です。
- 委員（土屋秀明） ちょっといやらしいですけれども、国民健康保険に加入していないほかの保険、例えば一般的な社会保険だとかいろんな保険の中でも、先ほどのように何か必要なものが納められないというようなケースでこれを対象にするということは当初からないのですか。
- 委員長（杉山茂規） 社会福祉課係長。
- 社会福祉課係長 要項上国保被保険者となっております。
- 委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。  
岩井委員。
- 副委員長（岩井良枝） 80ページ、扶助費で伺います。成年後見人の報酬というのが来年もう出ているのですけれども、昨年登録一人もないということだったので、これについては今の状況はどうでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 社会福祉課係長。

○社会福祉課係長 暫時休憩。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時24分 休憩

14時25分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） 成年後見報酬が出ていますが、その内訳を教えてください。

○委員長（杉山茂規） 社会福祉課係長。

○社会福祉課係長 成年後見人報酬については、在宅の方が2万8,000円、施設の方が1万8,000円となっています。30年度は1名が該当しております。

○委員長（杉山茂規） 三富委員。

○委員（三富美代子） 80ページの下のほうです。8節の報償費、こちらのシルバー生きがい教室の講師の方の謝礼だと思いますけれども、これ回数が減ということですが、開催回数を減らした理由は何でしょうか。

○委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。

○社会福祉課長 教室ごとの先生の日程により、予算を組んでおります。教室の回数を組んでおります。

○委員長（杉山茂規） 三富委員。

○委員（三富美代子） 今までの実績で参加者数が減ってきたという、そういう理由ではないということですか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩いたします。

14時27分 休憩

14時27分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

社会福祉課長。

○社会福祉課長 教室の中の竹細工につきましては定員を超えております。そのほかの教室につきましては、減少しているというお話は聞いておりません。

○委員長（杉山茂規） 三富委員。

○委員（三富美代子） 30年度当初250回分を計上されていたのですけれども、31年度は何回分になるのですか。

（「暫時休憩願います」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩いたします。

14時28分 休憩

14時28分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。  
社会福祉課長。
- 社会福祉課長 全教室で213回でございます。
- 委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。  
浅田委員。
- 委員（浅田基行） 確認です。ちょっと私が説明で捉えられなかったのですが、80ページの13節委託料のところでは一人暮らしの高齢者訪問事業委託、65歳から70歳に引き上げたという委託事業ってどれでしたっけ。
- 委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。
- 社会福祉課長 一人暮らし高齢者訪問事業委託、乳酸菌飲料の配付の事業でございます。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） これは引き上げたという理由は何でしょう。
- 委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。
- 社会福祉課長 現在65歳以上の方々にお配りしているのですけれども、65歳以上、今現在の65歳の方々の現実を捉えまして、65歳ではまだ配付するのに若いのではないかということで70歳以上ということにいたしました。
- 委員長（杉山茂規） ほかはやろしいでしょうか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（杉山茂規） 以上で委員の質疑を終わります。  
分科会外委員の質疑をお受けいたします。  
小林委員。
- 分科会外委員（小林 俊） 78ページの災害時要援護者避難支援事業委託ですけれども、これ社協に委託はしているのはいいのですけれども、社協はどうやってこれを調べているかはわかっているのですか。
- 委員長（杉山茂規） 社会福祉課係長。
- 社会福祉課係長 対象宅を訪問して間取り等の確認をしています。  
以上です。
- 委員長（杉山茂規） 小林委員。
- 分科会外委員（小林 俊） 民生委員がやるような仕事かなと思うのだけれども、社協はそれできるのですか。
- 委員長（杉山茂規） 社会福祉課係長。
- 社会福祉課係長 民生委員さんにも同行していただく場合もございます。
- 委員長（杉山茂規） 小林委員。

○分科会外委員（小林 俊） この計画ですけれども、地域の人がそれを知らなければどうにもできないので、それ地域の自主防だとか、そういうところに開示されて実際に役立つようにされているのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 社会福祉課係長。

○社会福祉課係長 区長等に名簿が回るようになっております。  
以上です。

（「暫時休憩願います」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時31分 休憩

14時32分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

ほかに質疑は。

中村委員。

○分科会外委員（中村純也） 78ページの第3次地域福祉計画策定アンケートですけれども、計画が障がい福祉計画ともかぶると思いますけれども、アンケートどのような形でやるのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時33分 休憩

14時33分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

社会福祉課係長。

○社会福祉課係長 高齢者保険、介護保険事業にかかわるアンケートということで、高齢者と介護に関するアンケートをとり行います。

以上です。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時33分 休憩

14時34分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

健康福祉部長。

○健康福祉部長 先ほど高齢者保健福祉計画のというようなことでお答えを始めたけれども、ご質疑の趣旨は各種計画で重複を避けながら効率的な調査をとということだと受けとめましたので、そのように内部で調整をさせていただきたいと思っています。

○委員長（杉山茂規） ほかは。

小田委員。

○分科会外委員（小田圭介） お願いします。社会福祉課の生活困窮者自立支援に関する業務の範囲をまず確認したいのですけれども、生活に困り事を抱えた住民が相談に来てからが業務なのか、それとも生活に課題を抱えた住民を見つければどこからが業務なのか、どこからが業務なのか教えてください。

○委員長（杉山茂規） 答弁を求めます。

社会福祉課係長。

○社会福祉課係長 基本的には生活困窮者自立支援窓口を設置しておりますので、相談に来る方を対象にしております。

○委員長（杉山茂規） 小田委員。

○分科会外委員（小田圭介） 法改正と、その法改正に伴う自治会事務マニュアルの改定の中で、最も重きを置かれているかなというのが支援のアウトリーチ機能の強化だと思うのです。新しいほうの第8条社会福祉事務所を置いている地方公共団体が福祉、教育、就労、税務、住宅等の関係部局においていわゆる困窮のきっかけ、困窮の可能性のある住民を見つけたら、それを支援につなげることが努力義務化されていると思うのですけれども、この改定の前後で何か対応が変わっているというのはあるのですか。

（「暫時休憩願います」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩いたします。

14時36分 休憩

14時38分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

健康福祉部長。

○健康福祉部長 各種連携の中で情報をキャッチするということはこれまでどおり考えています。しかしながら、この予算の中で直接執行する予算として訪問をするとかということは、そこまでは想定をしておりません。

○委員長（杉山茂規） 小田委員。

○分科会外委員（小田圭介） 3回目になります。この生活困窮者自立支援に関しましては、本当に横連携が必要だと国のほうも通知の中ではアウトリーチを積極的に行っている自治体とそうでない自治体で大きく差が出ていると。それがこの法改定にもつながっていると理解をしているのです。会派はやぶさのほうでは予算要望の中でとにかく横連携、思いを共有するとか、情報を共有する必要があるので、この案件に関してはともに受けれる研修の機会などを設けるような要望を出しているのですけれども、そういう勉強の機

会というのはこの新年度予算の中には含まれているのですか。

○委員長（杉山茂規） 健康福祉部長。

○健康福祉部長 当初予算の中では特段そういった予算は計上してございません。

○委員長（杉山茂規） ほかは。  
岡本委員。

○分科会外委員（岡本和枝） 先ほど生活保護の保護率が0.33%というお話でしたけれども、31年度のところでは見込みとして140世帯、見込み180人という数字が出ていますけれども、これ高齢者世帯、あと高齢者の割合というのはどのようになっているのでしょうか。

（「暫時休憩」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩いたします。

14時40分 休憩

14時41分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。  
社会福祉課係長。

○社会福祉課係長 高齢者世帯ですけれども、現在資料がないので、正確な数字のほうは答えできません。

以上です。

○委員長（杉山茂規） 岡本委員。

○分科会外委員（岡本和枝） 全国的な傾向では5割ぐらいが高齢者世帯なのかなという数字が出ているのですけれども、今回高齢者の医療費の助成カットされた中で高齢者を取り巻く方向、0.33%以上がこれからも伸びていくというようなこと、31年度の段階では何か、そのような推計みたいなものもやられたのでしょうか。今後の生活保護率みたいな中で。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩いたします。

14時42分 休憩

14時43分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。  
社会福祉課係長。

○社会福祉課係長 過去の実績から推計をして新年度予算の推測値を求めております。

以上です。

○委員長（杉山茂規） 岡本委員。

○分科会外委員（岡本和枝） 高齢者の方たちが年金は増えないし、またことしの10月から消費税が計画されているというような中で、この高齢者医療費助成制度というのは市長の言葉で言うと、市の持続的発展のための、本当に市民にとってとてもいい制度であったのではないかなと思うのですが、そういう観点での論議というのはこの31年度予算を立てるに当たっては部内の中ではなかったのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 健康福祉部長。

○健康福祉部長 今回の事業見直しに当たって、裁量で独自でやっているものというのがまず見直しの対象であるということで、今お話にあったいろんな意見はございますでしょうけれども、見直しの対象として廃止ということでございます。

○委員長（杉山茂規） ほかはよろしいですか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 分科会外委員の質疑を終わります。

以上で第1号議案のうちの関係部分に関する質疑を終わります。

これより第1号議案のうちの関係部分について意見を伺います。賛否に関する意見はありませんか。

○副委員長（岩井良枝） 事業見直しということで、余りにも多くの社会福祉の予算が削られているということについて反対の意見があります。

○委員長（杉山茂規） 分科会外委員の意見はありますか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 以上で第1号議案のうちの関係部分に関する意見を終わります。

以上で、社会福祉課の質疑を終わります。

暫時休憩いたします。

14時45分 休憩

14時54分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

## 障がい福祉課

- 委員長（杉山茂規） 説明は終わりました。質疑に入ります。  
質疑はありませんか。  
浅田委員。
- 委員（浅田基行） よろしくお願ひします。81ページの13節委託料、障がい福祉計画アンケート調査委託、これが31年度新たにどのようなアンケート調査を委託されるかご説明お願ひいたします。
- 委員長（杉山茂規） 障がい福祉課長。
- 障がい福祉課長 これは、再来年計画策定いたします障がい者計画につきましての基礎となるアンケートでございまして、1,000人の障がい者の方に障がい者が抱えている課題等についてアンケート調査を行い、取りまとめを委託するものでございます。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） 済みません。再来年というと32年度ということによろしいですか。
- 委員長（杉山茂規） 障がい福祉課長。
- 障がい福祉課長 32年度に作成作業をして、事業期間としては33年度からです。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） 先ほど社会福祉課からも同じような、同じ事業でアンケートをやるということお伺ひしたのですけれども、説明があったのですけれども、その辺で、もうこれ要望です。先ほどの課でありましたから、横の連携をうまくやってダブりのないアンケートというのをやっていただきたいなと思ひますので、よろしくお願ひします。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） 同じく13委託で、30年の、初年度の予算で障がい者相談委員委託というのがあったのが、31年度はこれは廃止になったのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 障がい福祉課長。
- 障がい福祉課長 事業見直しを行ひまして、相談支援事業所の相談に統合したものでございます。したがひまして、この予算については廃止ということになろうかと思ひます。
- （「暫時休憩お願ひします」の声あり）
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩いたします。

15時09分 休憩

15時10分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

浅田委員。

○委員（浅田基行） そうしますと83ページ、13の委託料、相談支援事業委託等の予算金額が30年度の当初と変化がないように感じるのですが。

○委員長（杉山茂規） 障がい福祉課長。

○障がい福祉課長 同額の予算の中でお願いするものでございます。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） それは何か改善されて、見直した何かあるということですか。

○委員長（杉山茂規） 障がい福祉課長。

○障がい福祉課長 休憩をお願いします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩いたします。

15時11分 休憩

15時12分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

障がい福祉課長。

○障がい福祉課長 専門の相談支援事業所の事業の中で行っていただくことにいたしました。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 82ページの扶助費でございます。同じような質疑になりますけれども、特別障がい者の介護者の見舞金というのが80万ほどだったのが、これは廃止という形でよろしいでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 障がい福祉課長。

○障がい福祉課長 廃止をいたす予定でございます。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 済みません。廃止をした理由というのは。

○委員長（杉山茂規） 障がい福祉課長。

○障がい福祉課長 当初の目的を達したというふうに考えているからでございます。休憩をお願いします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩いたします。

15時13分 休憩

15時14分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

浅田委員。

- 委員（浅田基行） 確認で。その見舞金というのは80万の予算の中で対象者というのはどのくらいだったのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 障がい福祉課長。
- 障がい福祉課長 本年度68名の方に1万円ずつ見舞金として給付させていただきました。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） 最後です。これはどのように伝えたというか、ご理解のもとというか、了解はもらっているということですか。
- 委員長（杉山茂規） 障がい福祉課長。
- 障がい福祉課長 本年度12月にお支払いしたのですが、その中で本年をもって終了の予定ですとお知らせをしましたが、それに関して特段のご意見はいただいております。ご了解いただけただけのものというふうに考えております。
- 委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。  
土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 82ページの役務費、手数料320万円ですけれども、重度障がい者とか随分審査手数料ということですが、この金額ですと何件ぐらいを想定しているのですか。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩いたします。  
15時15分 休憩
- 15時18分 再開
- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。  
障がい福祉課長。
- 障がい福祉課長 後ほどお答えいたします。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩いたします。  
15時18分 休憩
- 15時18分 再開
- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。  
障がい福祉課長。
- 障がい福祉課長 先ほどの事務手数料の件数でございますが、本年度の見込みで1万9,748件でございます。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩いたします。  
15時19分 休憩
- 15時19分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

勝又委員。

○委員（勝又 豊） 84ページ、扶助費の中で難病患者介護家族リフレッシュ事業費とありますけれども、家族に対する、その辺内容教えてください。

○委員長（杉山茂規） 障がい福祉課長。

○障がい福祉課長 これは難病を抱えているご家族が、例としては例えば妹さんの運動会に行くのにお姉ちゃんが難病だと、そういうときに一時預かりをしてもらったと、そういう事業でございます。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） 障がい者に対してのこの家族への支援というのはあるのでしょうか。今の場合は難病ですけれども。同じようなものというのは。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩いたします。

15時21分 休憩

15時21分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

障がい福祉課長。

○障がい福祉課長 例えばその上にあります日中一時支援事業、これらもそうでございますし、いわゆる放課後等デイサービスとかもございます。一時預かりの事業はございます。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） そうすると、難病患者の方がそちらのほうの事業を使うということはあるのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 障がい福祉課長。

○障がい福祉課長 重ならないです。基本的には。

○委員長（杉山茂規） 三富委員。

○委員（三富美代子） 84ページの扶助費の中の障がい児及び家族等の支援事業費、こちら30年当初予算にはなかったと思うのですけれども。

○委員長（杉山茂規） 障がい福祉課長。

○障がい福祉課長 これは、29年度までは職員がやっておりました。ペアレントプログラムといいまして、障がいをお持ちのお子さんの親御さんの指導と  
いうか、教育とかいうものでございます。休憩をお願いします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

15時22分 休憩

15時23分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。  
三富委員。
- 委員（三富美代子） そうしますと、今まで職員の方がされていたことを委託でというお話なのですけれども、委託先としてはどんなところをお考えなのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 障がい福祉課長。
- 障がい福祉課長 社会福祉協議会、もしくは手をつなぐ育成会への委託を考えております。
- 委員長（杉山茂規） 三富委員。
- 委員（三富美代子） そういったところだと、いろんなもう経験とか、そういったことが考えられるのでということで、そういう認識でよろしいですか。
- 委員長（杉山茂規） 障がい福祉課長。
- 障がい福祉課長 昨年、おとしと一緒にその教室をやってきておりますので、十分熟知はしております。
- 委員長（杉山茂規） 三富委員。
- 委員（三富美代子） 別です。82ページの19節負補交の一番最後の心身障害者扶養共済制度給付金なのですけれども、これ予算額が前年と比べて増額をされておられますが、これは件数の増を見込んでいるという考え方でよろしいですか。
- 委員長（杉山茂規） 障がい福祉課長。
- 障がい福祉課長 受給者の増も見込んでおりますが、本年度脱退者が3名ほどおまして、その分見込んでいなかったのが、流用等かけましたので、ことしは脱退のことも考え、1人、状況により違います。本年度は7万5,000円掛ける3名、脱退ございしますが、その分を追加しております。
- 委員長（杉山茂規） 三富委員。
- 委員（三富美代子） それは今のお話はわかったのですけれども、全体としては加入者といいますか、は何名になるのですか。おおむねで結構です。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩いたします。

15時25分 休憩

15時25分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。  
障がい福祉課長。
- 障がい福祉課長 加入者が約50名、それで、67名で年金を受給している方が29名でございます。

- 委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（杉山茂規） それでは、以上で委員の質疑を終わります。  
分科会外委員の質疑をお受けいたします。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（杉山茂規） 分科会外委員の質疑を終わります。  
以上で第1号議案のうちの関係部分に関する質疑を終わります。  
これより第1号議案のうちの関係部分について意見を伺います。賛否に関する意見はありませんか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（杉山茂規） 分科会外委員の意見はありませんか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（杉山茂規） 以上で第1号議案のうちの関係部分に関する意見を終わります。  
以上で障がい福祉課の質疑を終わります。  
暫時休憩いたします。

15時26分 休憩

15時53分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。  
以上で、予算決算委員会厚生文教分科会に割り振られました議案の質疑を終了いたします。

## 自由討議

○委員長（杉山茂規） それでは、委員の皆様申し上げます。発言は1人ずつマイクを使用し、委員長の指名により発言していただきますようお願いいたします。

今回、予算審査ということで本日審査のほうを終了いたしました。そうした中で、行財政構造改革という取り組みの中で非常に多くの事業、廃止であったり、統合、そしてまた新たに追加されるものはあるのですが、やはり一番危惧するところはその影響において市民サービスの低下、そういったものが非常に招いてはいけない、招かないようにするという、そんな視点がすごくあるかと思えます。今回のこの審査を通じまして、皆様方いろんなお考え等ありますので、そういったところを発言をしていただければと思います。

三富委員。

○委員（三富美代子） 今回、今委員長からお話がありましたように、行財政構造改革の取り組みということから、いろいろ、特に厚生文教分科会の担当している部署は、大変事業見直しが多く載っているところだなというふうに思っています。特に健康福祉部が非常に一番多いということ、そして福祉分野、医療分野ということで一番市民の方に身近な事業が多いところかなというふうに思っておりますが、今日予算審査の中でも高齢者の方々への医療費助成事業ですとか、またチャイルドシートのことでも出てまいりましたけれども、さまざまの廃止の事業も、敬老会事業のほうもかなり事業費が、要するに削減をされているということもありますので、ただ市がやっぱり行財政改革ということで今後の市の財政を考えた上での予算の提示ということで、いろんなことはさまざまありますが、全体的な予算に対しては私は可というような判断をしまして、ただし担当の分科会として市民に一番身近な事業が多いということもありますので、そういったことに対する委員長さんの報告の中にでも入れていただければというふうに思います。多分当局側の方々も対象となる団体の方ですとか、そういうところには説明なりはもう既にされておられると思いますけれども、例えば高齢者のこの医療費助成制度に対象となる方、シニアクラブの方々もそうなのですけれども、そういった団体に所属をされていない高齢者の方もかなり大勢いらっしゃると思いますので、そういったところの周知に努力をしていただきたい。あと理解を得られるような説明を市民に向けてしていただけるような、そういうことの努力を当局の方に求めていきたいというふうに感じています。

教育の部門のほうですと、やはり教育もかなり見直された事業数が多いのですけれども、今回2019年度に絞っていろいろ載せていただいておりますが、私の、質疑もいただいたのですけれども、西中学校の普通教室不足解消事業、

これが本来ですと31年度、32年度2年間使って準備をするということでスタートを切っていたのですけれども、31年度はそういったことはとにかくなくて32年度の状況を把握して対応するという、そういうお話もありましたので、教育の現場のほうもやはりすごく身近な問題でありますので、その辺影響が、悪影響ですね、影響が出ないようにしっかりと取り組みを推進していただきたいなというふうに、今回の予算審査では感じました。いろいろと担当部局の方々もこれだけの削減をやっぱり事業見直しでされてきたので、大変その辺は苦勞をされておられるだろうなということは、それはもちろん感じていますが、一応市民に一番身近な部門であるということもありまして、その辺意見を入れていただければありがたいです。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 3日間予算審査で委員会やりました。内容としてはそれぞれの中で可とすべきものだという判断をしたように、自分としては当局の提案したものについては認めるべきかなというふうに思います。今三富委員からも話がありましたように、リーマンショック直後では裾野市の基準、財政調整基金は80億台でした。その後中期財政計画を策定とかいろんな取り組みをする中で収入増と経費削減を図ってきたのはわかっているのですけれども、現実的には財政調整基金を取り崩しながら今までやってきています。今までの自分が議員になった以降の中でも各議員が一般質問等で行財政改革を早くしないと気がついたときでは本当にどうしようもなくなっているというようなことをいろいろ発言しましたし、私もしてきましたから、今回の取り組み、行財政改革の取り組みそのものについてはもっと本当は早くやるべきだったのだなということも含めてやることについては全く異論がありません。そうでなければ裾野市の将来がどうなるかというところがありますので、そういうような中で三富委員もおっしゃられましたけれども、当厚生文教委員会の属している健康福祉部と教育部の削減額が全体の4割を超えています。健康福祉部の事業というのは基本的には福祉の向上、福祉というのは要するに一般的な生活の福祉、あるいは高齢者等も含めましてですけれども、そういうような取り組みをしている中で弱い人たちを守るというのがどちらかというところ、この中にきているというふうに考えています。そういうような中で一番大きいものは、きょうも請願、これ6月には当然ながらそれもしなければならぬのですけれども、請願にありますように後期高齢者の医療費の削減の問題、あるいは先ほども細かに説明ありました敬老会の取り組み等、どちらかというところ高齢者に直接サービスの影響するような項目と額が多いのは今回の特徴だというふうに思います。全体の中ではこれやむを得ないと思いますけれども、そういうようなところからして、ここを担当する委員から

しまして、少なくとも当局側には市民の理解を十分に得るような広報活動をしっかりするというのと、あわせてサービスの直接の影響が具体的に出てくる話ですから、金額を伴わない、あるいは金額が少ないような中でもサービス補充をしっかり取るようにというようなことをぜひとも厚生文教委員会の委員長報告の中で取り上げてもらいたいというふうに私は思います。自分としては今の議長という立場のほうからしますと、そういうことを予算決算委員会の委員長報告の中に言葉としては入れて、最終日の当初予算の採決の際に委員長報告に文言を入れてもらうことによって議会として31年度予算については単なる当局側の提案だけではなくて、中身としてはしっかり審議をしてこういうような条件をつけたのだよということが市民にわかるような、そういうようなところに結びつけてほしいというふうに思います。終わります。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） 31年度予算、全体的な金額からすると、増額というような傾向の中で、消費税の絡みもあるので、建設関係が伸びがあるというのは今年度に関して、31年度に関してははしようがないかなという面もあるのですが、医療福祉の関係が大分削られているということに対して、学校関係もそうなので、一律に減らされているという、こういう理由で減らすというのではなくて、何か一律に減らされているという感が否めないということもありますし、あとそれを、福祉関係なんかでもそれを減らすことによってどういうふうな弊害が生じるか、それにそういうことは、ただ金額だけを減らすではなくて、その減らすことによって何か支障がどんな支障が出るかということまで考えていてくれるのかなということで、やはり医療費を削減するということは健康社会というか、老人にしても健康な老人を増やすことによって医療費が削減されるということがあるので、老人会とか、そういったところが生き生きと生活できるような予算立てというものが大事ではないかなという、そういう最終的には予算を減らせるという方向に行くような仕掛けですか、そういったものをしてほしいというのが要望であります。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 3日間予算という形で行ったのですが、昨年の12月に行財政改革ということで各課からご説明いただいて私のイメージは、それをもって原案可決が予算を組んだ後に審査というのは廃止にする、減額にするにしても、例えば廃止は今回廃止ではなくてこうしたらどうですかとか、半分の減額でもう一年延ばしたほうがいいと、減額もお互いなので、これぐらいの減額の要望に対してもっといける、逆に言うともっと減額

させてもいいのではないかというとか、そういうやりとりの場がちょっとこの予算の期間の中であると思っていまして、今回その予算という中にいろいろ行財政構造改革という答えを入れられてしまったものですから、非常にちょっとその辺で、私自身ですけれども、ちょっと困惑しながら進みました。今議長からほか委員とかもありましたけれども、とりあえずというわけではないのですが、やはり市民サービスという意味で非常に本当によかったのかということに関してはちょっと不安的要素があるように感じています。これを実行する、ただ私も裾野市の財政のこととすると、こういうこと、改革をやらなければいけないという全体的なことというのは絶対必要なので、やり始めというか、やるということには賛成なのですけれども、この先、初めてのことなので、やっとうまくサービスが低下する、もしくはというようなことがあるような事業がもしあるようでありましたら、直ちに見直しができるような形が取れるよう行政側にもいいながら進められたらなというように非常に感じました。前向いてやるしかないという部分は理解あるのですけれども、ただ本当の意味でよかったのというところに関しては今後進める中で、そこはしっかりスピードを持った対応というところが大事だと思いますので、そういうところを行政側に依頼していただければなと思います。

以上です。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） 私は、社会福祉課のところでは反対の意見を述べました。本来ならば個の厚生文教のところにかかっている、今回行財政改革の中でいろんな事業が減らされてきたことについては、全てのところでこういう形でいいのかというのは思っていました、特に社会福祉課の予算の削り方、これは余りにもひどいと思います。行財政改革を進めなければいけないというのはそれはもちろんたしかだと思いますが、こういう形で社会福祉とか子どもたちの教育の部分とか、私たちの委員会のところにかかる予算がこういう形で削られてくるというのは全くおかしいのではないかと思っています。今、もう細かいことはあれですけれども、高齢者の方たちの暮らしがどうなっているのかとか、それから介護をしている方たちの暮らしがどうなのかとか、いろんなこと一つずつ考えてみたら、一律に減額とか、これは廃止をしますという事業であってはいけないものがいっぱいあると思うのです。だけれども、結局きょうの説明の中でも事業の見直しでもう削りましたというような、そういう形で削ってくるということは、これからの裾野市が市民の皆さんがどうやってこの中で暮らしていくかというときに私はちょっと本当に信頼をされなくなってしまうのではないかという気もしてきて、もともとが行財政改革で出してきたもの自体に問題があるので、どこの課がどうとい

う一つ一つのことではないのですが、全体を通して私は今回のこの予算についてはやっぱりしっかりと見直しをしてもらうべきだと思って意見を述べさせてもらいました。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 事業見直しで廃止は把握しているのですけれども、よく考えてみるとこの事業というのはもともと30年度も含めて過去から行っている事業で、それは議員、あるいは議会としてはよしということの中で事業を行ってきている話なのです。その一つ一つの事業を捉えるとどの事業が重要だとか重さというのは非常にそれぞれ皆さん考え方が違うのが当然当たり前の話ですから、基本的にいい方悪いですけれども、これを議会側で事業選択というのは現実にはできない話ですよ。ですから、提案をしている市部局の考え方についていろんな考え方を言いながらということですから、ですから総額から、額からすると福祉関係のものは減額はしているのだけれども、全体からすると今度は事業の数とかしたときにどうかという考えたことは別の考え方があると思います。ですから、当局が言っているようにいわゆる近隣も含めて裾野市が特化していた、いわゆる上乘せをしていたような事業からというのが今回の福祉の事業見直しの一番の中心の大きいものはそういうことですから、思いが皆さんあるにしても、イエスかノーか、白か黒かをつけないければならない話ですから、先ほど言いましたように議会としてはここまで見た、あとは市民の皆さんがその後のことで判断をすることによってここで事業が消えたものが復活することもそれは当然不可能ではない話なものですから、そういうようなことを厚生文教の委員会としては十分に議論をして、これからのことについてももしっかり当局に取り組んでほしいよということを、ぜひとも、先ほどの話ですけれども、委員長からの中に入れてほしいと思います。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） 生活困窮者の支援のところなのですけれども、もうあれができて、私たちも視察なんかにも行ってきたのですけれども、3年か4年たっているのです。その中で小田議員がずっと言っていたことなのですけれども、横串を刺して各課でそういう生活困窮なのではないかというか、そういう人たちに対して社会福祉課と連携を取りながら生活保護に陥らないとか、そういう部分というのをしっかり連携を取ってほしいというのがずっと言ってきていて、できているのかといたらやっぱりちょっとそのところができていないというのも、これは全く予算の部分というか、今回のあれとは違うところなのですけれども、そういう施策のところではいろいろな協議をしながら見ていかなければいけないのではないかなという

ふうにまず1つはそれを今回思いました。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 小田議員は前からも言っていると、私も同じ会派だけれども、その当局の中はそういうような仕組みのようなもの、しっかりしたもの新しくつくったかつくっていないかというところまでいっていない話であって、でも現実には仕事の中で当然横の連絡というのはとっています、それは。例えば滞納整理に行って、行政に対してこういうようなことがある、ではこの滞納になったの何だいというようなところで出てきたときには当然その担当者というのは自分のところだけではなく、ほかのところと、それはあれです。だから言っているのをただ聞いているだけだと裾野の市役所の中身というのは求めているようなことは何も行ってないではないかというふうに聞こえてしまうようなところがあるかもしれないけれども、現実には仕事している中でそういうことやってる話ですから、ただその制度として横串のようなものしっかり、今までと違うような、こういう中身にしたというようなことはない話だけであって、言い方悪いですけども、職員はプロなのです。職員はこれで職業で本人も家族も養っている話ですから、ですから自分の仕事に誇りを持っている話だと思うから、それがうまくここについてはそうかもしれないけれども、さっき福祉のときに言ったときもそうかもしれないけれども、中身としては当然ながらやっています。私も昔現役のときにはそれは十分かどうかは別にしてもそれはやっている話ですから、だから今回の自由討議ですから言う話ですけども、この予算の賛否については直接の影響を及ぼさない話ですよ。

○委員長（杉山茂規） 市の取り組みというか、今回の行財政構造改革の中での話ということで、多くの委員からはしっかりと委員長報告の中に、予算以外のところでできること、市民サービス低下が伴わないような形でいろいろ取り組みができるようにすること、そのように同じようなことが多くの委員から出ていたと思います。まずその点に関してなのですが、現状として皆さん大体同じような意見、今後のところ、しっかりとそのところフォローしていくべきだという考えについては大方皆さん同じ意見かなと思うのですが、その点について委員長報告として発言を入れたいと思うのですけれども、その点についてはいかがでしょうか。新年度予算の執行に際して市民サービスの低下を伴わないような形で市の当局にしっかりと取り組んでほしいと、そういった内容です。よろしい……。

○委員（浅田基行） そのとおりなのですけれども、ちょっとうまく言えないのですけれども、改革なので、瞬間といいますか、市民サービスというのは少なからず低下するのです。低下の度合いといいますか、多少なりにと、

どこまでという線引きもないのですけれども、その表現というのが難しいところがあるので、その表現をうまく。ただ、低下はすると思うのです。ただ、その低下をするのであれば、その低下という深さがより、深過ぎないように、もし深過ぎるような事業になるのであれば、切りかえて、今議長がおっしゃったように復活もそうですし、かわった、そのかわりの事業というところ新たに設けるということをスピーディーにやるべきだと思いますので、その辺のところ、委員長、上手に。

- 委員長（杉山茂規） 市民サービスの低下という中で、当然のことでちょっとつけ加えというか、先ほど言わなかったのですが、当然のことなのですけれども、まずは市民に対する説明をしっかりとすること、現状がどのように変わっていくか、当然のことながら財政とかも含めてなのですけれども、同じ共有課題として捉えていただく、やっぱり認識のところ、理解をいただくことがスタートかなと、それは当然あると思います。を踏まえた中で、そうやっていただく中で、当局が当局としてできること、先ほどありました復活ということも当然視野に入っているかと思います。市民サービス、極度の低下があつて支障が来してしまうということであれば、当然復活することも必要となります。それがなだらかにうまくいくのであれば、それは理解をいただいて、行財政構造改革をしっかりと進めていく一助となると、多分そんなようなイメージかなと捉えております。ということでよろしいでしょうか。

勝又委員。

- 委員（勝又 豊） 今市のほうでデータ利活用ということで取り組んでいるかと思うのですけれども、やはり説明の段階でデータ、それをもってこういふことで廃止しますよ、減額しますよというような説明をしていただきたいということと、あと今後これが減らされたことによって、市民生活がどのようになっていくのかということの検証、それもまたデータ利活用、データをもって検証というか、していただいて、その次の方向性に持って行ってほしいなという。

- 委員長（杉山茂規） 昨今から市のほうもちゃんと根拠のある政策提案、政策立案ということを盛んに言われているかと思います。まさにデータに基づくということは根拠を示す中で数値であったり、そういったものでやっていくということは明らかにされております。いろいろ事業評価ということもあろうかと思うのですけれども、そんな中で我々サイドもしっかりそういったところも見ながらやっぱりやっていく必要があるのかと。我々自身がチェック、監視というか、そういうチェック機能をしっかりと高めることによって、その辺のところ、市の取り組みのところもおのずと高まってくるところはあろうかと思っておりますので、我々自身もやはりそういった意識を持ちながらやは

り取り組んでいくということが重要ではないかなと、そういった話だと思います。

先ほどの1点目につきましては、ちょっと繰り返しになりますけれども、行財政構造改革の中でサービス低下いろいろあるとは思いますが、市民に対してしっかりと説明責任を果たして、ご理解をいただいて進めていくこと、そしてまたもし何かある場合はまたそのときしっかり考えて今後について取り組んでいってほしいと、そういった内容で委員長報告に入れたいと思いますが……

(「サービス低下というの俺も言ったんだけどその言葉は……」の声あり)

- 委員長(杉山茂規) ちょっと外したほうがいいですか。
- 委員(土屋秀明) 変えて使ったほうがいいです。どっちみちその事業そのものやらなくなってしまうものから。だから要するに市民のそういう事業をやめることによって別の補足するようなものだとか、いうような。
- 委員(三富美代子) 私もそう思います。やっぱりこれだけ予算も減額で廃止するということはそれに通ずるわけというか、今までやってきたことができなくなるということにはかわりがないので、そういう言葉というよりも要するに今市が目指しているものを、全体とは市民の皆さんなのですけれども、特にこの厚生に関しては高齢者の方々の施策が一番影響を及ぼしているものですから、そこの説明を私は特に求めたいなというふうには、個人的には思います。
- 委員長(杉山茂規) わかりました。では、サービス低下という言葉を使わない中で、まずはPRというか、理解をいただくところ、そこ……
- 委員(三富美代子) 対象者の方。
- 委員長(杉山茂規) 対象者ですね。
- 委員(三富美代子) 対象になっている方々、この間婦人会の方々と意見交換させていただいたではないですか。そのときにも事業がやはり変更になっている場合があるのだけれども、そういうときに事業に該当する方々へ説明が欲しいという声が結構あったのです、そのとき。なので、そういった部分で説明をすることによってやはり理解をしてくださるというか、ご協力いただけることも増えていくと思いますので、せっかく取り組む行財政改革なので、市のためになる改革だと思いますので、ぜひ今後の財政運営に通ずる改革なので、その辺は十分なご理解を得られればというふうに思います。
- 委員長(杉山茂規) 土屋委員。
- 委員(土屋秀明) 高齢者福祉に関して、福祉事業について今回は影響がすごく大きいと考えられるから、十分に対象者に対して別の角度での高齢者福祉をさらに向上させるようにとか、なんかそういうような曖昧としたような

言葉を入れてほしいね。

- 委員長（杉山茂規） では、今言われたようなことを盛り込むような形で進めたいと思います。

これについては今議論の中でありました内容ということでよろしいでしょうか。

（「お願いします」の声あり）

- 委員長（杉山茂規） あと2点目なのですが、岩井委員のほうから生活困窮者支援ということで横串の話がございました。土屋委員のほうからは、横串自身はいろいろ通っていないかもしれないが、実際のところでは連携を取ってやっているよと、そんな話だったかと思います。こちらについて皆さんもしありましたら一言ずついただいてと思うのですけれども。あれば。

三富委員。

- 委員（三富美代子） 特に今回の予算審査に絡んでの分科会としての意見というところまでは至らないのかなというふうに私は思うのですけれども。委員長報告の中に入れるということでもいいのではないかなと思うのですけれども。

- 委員長（杉山茂規） 済みません。補足です。委員長報告に入れる、入れないというよりもこういうふうな課題が提起されたよという考え方の中で、もし今までの予算審査、もしくは決算審査等含めて意見があればということです。盛り込む、盛り込まないは別です。

- 委員（土屋秀明） 委員会の委員以外の傍聴している議員からの発言で、会期の開催の前はこの委員長で、そういう考え方はもちろんあるのだろうけれども、少なくともこの委員会の審議の中で同様のことではいろんな意見を言い合った話ではないですから入れなくてもいいと思います。

- 委員長（杉山茂規） 岩井委員。

- 副委員長（岩井良枝） 質疑の中で私はその話を聞いているのです。今日の社会福祉の生活困窮者のところで。これってもう国のほうからも生活困窮の連携を取ってどこのところでもそういう方がいたらばしっかり全体として援助ができるようなふうに情報を集めてやっていくというのも国のほうからも来ていることで、今日のお話を聞いている中ではちょっとその辺がまだ足りないのかなという部分があったものですから、それについてはもう一度私たちのほうでもみんなで学習をしながら今の状況というのを見ていったらいいのかな。私が驚いたのはこの間の水道なのですが、私は水道というのは止められないものだと思っていました。水道は止めないというふうに聞いていたような気がするのですが、どれぐらいの時間止めたかわからないですけれども、40件水道が止めましたという話が出たのです。それが、ですので、払え

るのに払わなかっただけではないと思うのです。そのときに生活保護にはならないけれども、生活困窮なりその部分があったのではないかということを担当課のほうでは今までそういうことでは社会福祉のほうにはしていなかったというお話もありましたし、委託業者のほうにもそういう話というのちゃんとしていなかったみたいだったのです。そういう意味ではどこでそれに気づくかという部分というのがすごくやっぱりこれから大事になってくるのかなと思っています。

○委員（三富美代子） いいですか。別にそういうものの必要性を否定するわけではなくて、ただ今回のこの3月議会の予算審査の中で特に分科会、分科会として委員長報告に入れたいという、特化して入れたいところを考えたときに今回は特に一番大きな課題としてこの事務事業の見直しというものがあるのです。だから、その部分を特化してそれに絡んでこちらの委員側、議員側とのこういうことを一応予算を通すのですけれどもこういうことを求めるという、そういう分科会としての意見を述べるということの内容を今話をしているというふうに私は思っていますので、その必要か、今後そういう連携の必要性はあるのはわかりますし、わかるのです。だけれども、今回のこの予算審査通して特化して分科会全員として当局に意見をとなつたときには今回それはどうなのかな。だから、もし入れるとしても、もし他課との連携というような、本当にそういうざっくりとした言い方は無理ではないかなというふうに思いますけれども。

○委員長（杉山茂規） 済みません。この前提として多分委員長報告に入れる、入れないは多分入れない方向の中で今後の今回感じた方での問題定義として皆さんこういうふうなことあったねということで共有しましょうという多分内容で岩井委員は言われたのかなと思っているのですけれども。そういうことで。

三富委員。

○委員（三富美代子） でも、結果的にここに出た意見を委員長はその意見をもとに委員長報告をまとめられるのかなというふうに思えるのですけれども、そういうことではないということですか。

○委員長（杉山茂規） この話が出ましたよということは触れなければならないことだと思うのですけれども、事実なので。しかしながら、委員会として取り組んでほしいという市に対しての委員長報告という形で要求するものというか、これはやってくださいというものに関してはどう考えても今のところ乗らないものというふうな認識でいます。

○委員（土屋秀明） ここで出たものを全部委員長報告に入れる必要は全然ないと思うから、その中でこれを目玉にしたいというのは今回の委員会として

そういう責任あるからということで、岩井さんが言っている意味はすごくわかるのですけれども、それはこれからの話であって、でも完全に最後のこのときに自由討議のときに話題に上ったことではなくて、委員会の審査をやっているときに共通のことは何回か幾つか出て、それぞれ多くの人間がどういような考え方を持ったというならばそう。私はそうではなくて、岩井さんの気持ちはすごくわかるし、それからそれはしなければならぬ。でも、今回のまとめに当局側に求める、求めないではなくて、そうではなくて、委員長報告の中に入れるほどの中で討議は全然なかったと思います。

○委員長（杉山茂規）　ちょっとほかの発言のない方も意見をちょっと、済みません。

勝又委員。

○委員（勝又 豊）　今回ちょっと感じたのは、生活困窮者をどう発見するかということだと思うのです。1つには水道が止められているという事案があって、では何が原因かということで生活が困窮している世帯だなということがわかれば市のほうでも対応してくれるという話は伺ったので、あと水道だけではないと思うのですけれども、本当は地域でもってそういった方がわかれば区長なり、そういったところからとか、民生委員さんのほうからとかというのが望ましいのですけれども、多分アパートとか団地とか、そういうところで把握しにくい方が生活困窮者にいるのかなという、一戸建てですと…

○委員長（杉山茂規）　続けてください。

○委員（勝又 豊）　一戸建てであれば家が荒れているとか、そういうことでわかるかなというようなことで、そういうことをやはり、そういう方が実際にいらっしゃるということで、それをどういうふうにして発見していくかということはまだいろいろと考えを出し合って対処していかれたらいいのではないのかなと思いました。

○委員長（杉山茂規）　浅田委員。

○委員（浅田基行）　非常に難しいと言いますか、言われていた岩井副委員長のおっしゃっているというのも物すごく話としては理解できるのですけれども、今回の予算というところで委員長のお話で入れ込むかどうかという話になると、三富委員がおっしゃっているという部分に、とめると言いますか、しておくという。ただ、岩井副委員長が言った横串というところは今後という、議長もおっしゃったように、これからも継続してやる中での業務、どちらかというとも効果という意味合いになるかもしれませんが、それは当然継続して我々も見ていくと言いますか、審査するというような形は必要だと思いますが、今回予算を決める上という部分、もし要望でもないな、要望

でもないですよ。そういうところが見受けられた、そういうような横串も見た、その連携という、効率化という程度に、もし委員長の中に入れるとするならば、その程度にするべきか、率直に言うと私はそれはなくてもいいのかなと思っております。

○委員長（杉山茂規） ちょっと時間も時間なものですから。

岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） 私が多分自由討論ということでしたので、気になったこと言いましたが、これが今回の、最初にも言ったと思うのですけれども、今回の予算の、委員長報告のところに入れ込んでほしいとかということでは全くなくて、ただ私たち委員会としてこれからやっていくわけで、そういうところで一つこんなことが気になりましたというお話をしたのです。それは、ごめんなさい。自由討論というものを全く間違えていたのかもしれない。ですので、今回の予算審査の中でそれを入れてくださいとかということでは全くなく、それはもう先ほど皆さんが、私も意見を述べました、それが全てだと思います。だから、それはもう全く切り離していただいて、入れる、入れないという問題ではなくしていただいていいと思います。

○委員長（杉山茂規） では、ということで皆さんから話のほうもまとまりまして、課題としては共有するけれども、委員長報告の中には含めない形で進めていくと、そういった形でよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○委員長（杉山茂規） ほかになければ、以上とさせていただきますが、いかがでしょうか。よろしいですか。

（「はい」の声あり）

○委員長（杉山茂規） それでは、以上で本委員会に付託され、本分科会に割り振られました議案の審査は全て終了いたしました。

来たる3月19日の予算決算委員会で分科会委員長報告をいたします。

審査にご協力賜りましたことに感謝申し上げます、予算決算委員会厚生文教分科会を閉会いたします。

16時40分 閉会